

蒲郡市公共交通に関する市民アンケート結果

I 調査概要

- (1) 調査対象 蒲郡市在住の満 16 歳以上の方
- (2) 調査方法 郵送調査
- (3) 調査期間 平成 25 年 9 月 9 日～10 月 11 日
- (4) 標本数 6,000 人
有効回答数 2,360 人 (39.3%)
- (5) 調査項目 問 1 : 回答者属性
問 2 : 外出頻度
問 3 : 公共交通に対する評価
問 4 : バスの利用実績とその満足度
問 5 : 「名鉄西尾・蒲郡線」の利用実態とその満足度
問 6 : 蒲郡市の将来的な公共交通のあり方
問 7 : バスを全く利用しない人の理由、利用可能性
問 8 : 60 歳以上の「寿楽荘」利用の状況
問 9 : 蒲郡市の「観光振興」における公共交通の利用可能性
- (6) 調査実施主体 蒲郡市地域公共交通会議

(参考) 居住地別分析に係る中学校区分について

校区	対象町名
大塚校区	相楽町、大塚町、海陽町
三谷校区	三谷町、三谷北通
蒲郡校区	平田町、豊岡町、五井町、府相町、新井形町、蒲郡町、堀込町、新井町、八百富町、神明町、本町、上本町、中央本町、元町、丸山町、竹島町、松原町、港町
中部校区	清田町、坂本町、神ノ郷町、宝町、御幸町、宮成町、緑町、旭町、栄町
塩津校区	柏原町、竹谷町、西迫町、拾石町、鹿島町、浜町
形原校区	一色町、金平町、形原町、形原町北浜、形原町春日浦
西浦校区	西浦町

※町内で校区が分かれている町については、集計上、どちらかの校区に含めている。

Ⅱ 調査結果（総括）

<アンケート結果概要>

- 全体を総括すると、自家用車を現在運転していて、今後も公共交通への転換意向は低く、公共交通の利用状況、利用意向は、決して高い状況には無い。また、税金を投入して民間路線バスを維持することについては、維持もしくは抑制すべきとの意向が強い。
- 特に、自家用車の運転に支障の無い年代（60歳代程度まで）については、利便性が高まった場合も利用する可能性が低く、利用者にはなりにくいという事が明確となった。
- 名鉄西尾・蒲郡線の沿線ではない「大塚校区」・「三谷校区」・「蒲郡校区」・「中部校区」「塩津校区」のエリアは、公共交通に対するサービス水準の満足度や税金を投入して維持することに対して評価は低く、一方で名鉄西尾・蒲郡線、路線バスを有する「形原校区」・「西浦校区」は、両方への維持の期待があり、地域間格差が明確に認められた。
- アンケート結果をふまえると、高校生の通学、移動困難者の移動手段、通院のニーズが大きいことから、これらを勘案した効率的なサービスへの転換が求められる。

1. 市民全体の意向

(1) 日常の移動に不便を感じているか（問3）

- ・「日常の移動に不便を感じているか」確認すると、「感じている」「やや感じている」があわせて35.3%存在した。3人に1人が移動に不便を感じている。【P26 図表 3-1-1 参照】
- ・「不便を感じている理由」を確認すると、「車の方が公共交通と比べて便利」が51.4%と最も選択されており、次いで「自宅から鉄道やバス停留所が遠い」（50.8%）、「利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない」（43.3%）が選択された。【P26 図表 3-1-3 参照】

(2) バスの利用頻度とサービス水準に対する満足度について（問4）

- ・「バスの利用状況」を確認すると、約9割の人が「ほとんど乗らない」と回答しており、利用している人の中でも「年に数回」利用する人が4.4%に留まる状況にある。【P29 図表 4-1-1 参照】
- ・「現状のバスのサービス水準」については、「満足」「おおむね満足」の小計が44.2%で、「不満」「やや不満」の小計45.2%となり、概ね半数に評価が分かれる結果となった。【P31 図表 4-2 参照】

(3) 名鉄西尾・蒲郡線の利用実態と利用促進に対する考え（問5）

- ・利用頻度は、「ほとんど乗らない」が最も高く90.5%を示している。【P33 図表 5-1-1 参照】
- ・利用促進活動に関する考え方は、「廃線の危機にあることを、もっと地域で共有するようにPRすべき」が最も高く33.1%、次いで「利用が拡大しないのなら、これ以上の税金投入をやめ、代替の交通手段に切り替えるべき」30.5%、「路線を存続させるために、今以上に利用促進を図るべき」28.8%と続く。【P39 図表 5-3-1 参照】

(4) 税金を投入して優先にて維持すべきもの（問6）

- ・「高校生・大学生が「通学」できるようにするため」が最も高く54.8%を示し、次いで「高齢者や身体

障害者などの移動が困難な方の生活の足を確保するため」51.4%、「病院に通院」できるようにするため」50.3%と続く。【P43 図表 6-1-1 参照】

(5) 鉄道や路線バスを維持するための年間約1億1,400万円の税金投入について（問6）

- ・「やや多すぎる」が33.3%で最も高く、次いで「妥当」26.4%、「多すぎる」25.5%と続く。

(6) 今後の税金投入とサービス水準のあり方（問6）

- ・「今後の税金投入とサービス水準のあり方」について確認すると、「わからない」が25.6%と最も多かった。【P49 図表 6-4-1 参照】
- ・明確な意思表示をした意見を確認すると、「税金投入を抑制するために、現在行われている民間のサービス内容を絞り込み、代わりに住民がボランティアで運転手になり困っている人を送迎するなど、別の方法で対応する」17.1%、「現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である」15.4%、「利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい（サービス水準は現状維持）」10.1%と続く。【P51 図表 6-6-1 参照】
- ・市民の意向は、税金を抑制するための工夫を求める声と、現状維持を求める声で意向が分かれている。

(7) バスを全く利用しない人の意見（問7）

- ・「自分で運転が出来るから」が76.9%で最も高く、次いで「家族の人が来るまで送迎してくれるから」「運行本数が少ない」と続く。また、自宅近くにバスが運行された際も、「利用しない」と答える人が半数以上である。利用するための条件については、運行本数は「30分毎に1本程度運行するなら利用」が最も高い。【P58 図表 7-2-1 参照】

(8) 寿楽荘の利用について（問8）

- ・60歳以上に聞いたところ、「利用しない」が最も高く84.8%を示している。【P72 図表 8-1-1 参照】

(9) 観光客向けの公共交通の充実について（問9）

- ・「観光客に対してお得なパスポートを配布するなどして、現状の名鉄西尾・蒲郡線や路線バス等の公共交通の利用を促すべき」が37.3%で最も高く、次いで「観光客よりも市民の移動の足の強化を優先させるべき」、「ラグーナなどに路線バスが運行しており、現状のまま、民間の交通事業者にゆだねておけばよい」と続く。【P77 図表 9-1 参照】

2. 居住地別にみた意向の違い

(1) 日常の移動に不便を感じているか（問3）

- ・「日常の移動に不便を感じているか」確認すると、「感じている」「やや感じている」について、「形原校区」、「西浦校区」が比較的高い値を示している。【P27 図表 3-1-1 参照】
- ・「不便を感じている理由」を居住地別に見ると、三谷校区、西浦校区については、「利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない」が、全体では最も多い「自宅から鉄道やバス停留所までが遠い」より高い値を示し、バス停までの距離よりも運行本数に不便を感じている傾向にある。【P27 図表 3-1-3 参照】

(2) バスの利用頻度とサービス水準に対する満足度について（問 4）

- ・「バスの利用状況」を確認すると、塩津校区、形原校区、西浦校区の利用頻度は比較的高い。
- ・満足度を居住地別に見ると「満足」「おおむね満足」が多いのは大塚校区、塩津校区、西浦校区、「やや不満」「不満」が多いのは三谷校区、蒲郡校区、中部校区、形原校区となった。【P29 図表 4-1-1 参照】

(3) 名鉄西尾・蒲郡線の利用実態と利用促進に対する考え（問 5）

- ・全体では「ほとんど乗らない」が最も高い値を示している中、「週に 3 日以上」が西浦校区で 10.5%、形原校区で 3.6%を示し、名鉄西尾・蒲郡線の沿線であるため、他校区に比べ利用されていることがわかる。【P33 図表 5-1-1 参照】
- ・「廃線の危機にあることを、もっと地域で共有するように PR すべき」が最も多かったのは塩津校区、形原校区、「路線を存続させるために、今以上に利用促進を図るべき」が最も多かったのは西浦校区。一方、「利用が拡大しないのなら、これ以上の税金投入をやめ、代替の交通手段に切り替えるべき」は、大塚校区、三谷校区、蒲郡校区、中部校区であり、居住地により考えが異なる。【P40 図表 5-3-2 参照】

(4) 税金を投入して優先にて維持すべきもの（問 6）

- ・形原校区、西浦校区は「高校生・大学生が「通学」できるようにするため」が最も高く、それぞれ 66.7%、80.3%を示しており、名鉄西尾・蒲郡線を通学に利用する高校生が多い地域状況を明確に示している。その他地域では、大塚校区は「「病院に通院」できるようにするため」が最も高く、三谷校区、蒲郡校区、中部校区、塩津校区は「高齢者や身体障害者などの移動が困難な方の生活の足を確保するため」が最も高い値を示しており、高校生の通学、移動困難者の移動手段、通院のニーズの優先度が高い。【P44 図表 6-1-2 参照】

(5) 鉄道や路線バスを維持するための年間約 1 億 1,400 万円の税金投入について（問 6）

- ・大塚校区では「多すぎる」、三谷校区、蒲郡校区、中部校区、塩津校区では「やや多すぎる」、形原校区、西浦校区では「妥当」がそれぞれ最も高い値を示している。名鉄西尾・蒲郡線が生活に密接に影響する地域では現状維持、ほとんど生活に影響を及ぼさない地域では、税金の使い方の見直しを求める声が多く、地域による考え方の差異が見られる。【P49 図表 6-4-1 参照】

(6) 今後の税金投入とサービス水準のあり方（問 6）

- ・全体では、「わからない」以外では、「税金投入を抑制するために、現在行われている民間のサービス内容を絞り込み、代わりに住民がボランティアで運転手になり困っている人を送迎するなど、別の方法で対応する」が高い値を示している。【P51 図表 6-6-1 参照】
- ・居住地別で見ると、塩津校区、形原校区、西浦校区において「現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である」が比較的高い値を示していることから、名鉄西尾・蒲郡線沿線の地域については、現状のサービス水準と税金投入のバランスについては妥当であると判断する声が多く見られる。【P52 図表 6-6-2 参照】
- ・市民の意向は、税金を抑制するための工夫を求める声と、現状維持を求める声で意向が分かれている。

(7) バスを全く利用しない人の意見（問 7）

- ・いずれの校区も、「自分で車を運転できるから」が最も高い値を示している中、大塚校区では「運行本数が少ない」が 30.7%、中部校区では「時刻表やルートがよくわからない」が 22.2%を示していることが特徴的である。【P58 図表 7-2-2 参照】

(8) 寿楽荘の利用について（問 8）

- ・地域別には大きな差異は見られない。【P72 図表 8-1-1 参照】

(9) 観光客向けの公共交通の充実について（問 9）

- ・地域別には大きな差異は見られない。【P78 図表 9-2 参照】

3. 年齢別にみた意向の違い

(1) 日常の移動に不便を感じているか（問 3）

- ・「感じている」について年齢別に見ると「80 歳代以上」が最も高い値を示している。【P26 図表 3-1-1 参照】

(2) バスの利用頻度とサービス水準に対する満足度について（問 4）

- ・「バスの利用状況」を確認すると、年齢別では、高齢になるほど利用頻度は増えるが、最も利用が多い 80 歳代以上でも、「週に 1~2 日」「1 ヶ月に数日」「年に数日」を併せて 17.2%を示すに留まっている。【P29 図表 4-4-1 参照】
- ・満足度は、80 歳代以上は「満足」「おおむね満足」の合計値が 75%を占めており、全体の 44.2%に比べ大きく上回っており、高齢者にはある程度満足されている。【P31 図表 4-1-2 参照】

(3) 名鉄西尾・蒲郡線の利用実態と利用促進に対する考え（問 5）

- ・利用頻度は、全体では「ほとんど乗らない」が最も高く、年齢別でも同様の傾向が見られるが、30 歳未満では「週に 3 日以上」が 7.6%を占め、同年齢層には学生が含まれる事から、比較的高い値を示している事が推測される。また、80 歳代以上は「1 ヶ月に数日」が 7.4%と、他の年齢層よりは比較的高い値を占めている。【P33 図表 5-1-1 参照】

(4) 税金を投入して優先にて維持すべきもの（問 6）

- ・年齢別に見ると、50 歳代までは「高校生・大学生が「通学」できるようにするため」が最も高い値を示すが、60 歳代以上は、「「病院に通院」できるようにするため」の値が比較的高い。【P55 図表 6-1-2 参照】
- ・通学の交通手段として公共交通を利用する高校生や大学生が身近にいる年齢層と、自身の利用ニーズを考える高齢層とで考えの違いが見られる。

(5) 鉄道や路線バスを維持するための年間約 1 億 1,400 万円の税金投入について（問 6）

- ・年齢別に見ると、ほとんどの年代で、「やや多すぎる」が最も高く、次いで「妥当」、「多すぎる」と、全体とほぼ同様の傾向が見られる。【P49 図表 6-4-1 参照】

(6) 今後の税金投入とサービス水準のあり方（問 6）

- ・年齢別では、30 歳未満、80 歳代以上で「現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である」が比較的高い値を示しており、現状で利用頻度が多い層（自家用車が運転できない層）は現状の税金投入とサービス水準のバランスは妥当であると判断している。【P52 図表 6-6-2 参照】

(7) バスを全く利用しない人の意見（問 7）

- ・30～70 歳代は「自分で運転が出来るから」、それ以外は「家族の人が車で送迎してくれるから」が最も高い値を示し、いずれも自家用車の利便性を選択している。【P58 図表 7-2-1 参照】
- ・また、自宅近くにバスが運行された際も、30 歳～50 歳代は、「利用しない」が特に割合が高い。【P73 図表 7-3-1 参照】
- ・利用するための条件については、30～60 歳代は「運行本数は関係ない（判断条件にはならない）」の割合が比較的高く、自家用車を運転する層については、運行本数はバスを利用するための判断材料にはなっていない。【P62 図表 7-4-1-2 参照】

(8) 寿楽荘の利用について（問 8）

- ・60 歳以上に聞いたところ、「利用しない」が最も高く 84.8%を示している。
- ・年齢別に見ると、75～79 歳で 15.6%、80 歳以上で 15.3%の人が「利用する」を示している。

(9) 観光客向けの公共交通の充実について（問 9）

- ・高齢になるほど、「観光客よりも市民の移動の足の強化を優先させるべき（市民の利便性が向上すれば、観光客の利便性も高まる可能性がある）」の割合が高くなる。【P78 図表 9-2 参照】



○日常の移動に不便を感じているかについては、「感じている」「やや感じている」があわせて 35.3%存在した。3 人に 1 人が移動に不便を感じている。

○「バスの利用状況」は、約 9 割の人が「ほとんど乗らない」と回答しており、利用している人の中でも「年に数回」利用する人が 4.4%に留まる状況にある。居住地別では、塩津校区、形原校区、西浦校区の利用頻度は比較的高い。「満足度」は、満足と不満がほぼ同等。高年齢層ほど満足度は高い。

○名鉄西尾・蒲郡線の利用実態については、「ほとんど乗らない」が 90.5%を示している。利用促進策については、塩津校区、形原校区で、「廃線の危機にあることを、もっと地域で共有するように PR すべき」、西浦校区「路線を存続させるために、今以上に利用促進を図るべき」が最も多い一方で、大塚校区、三谷校区、蒲郡校区、中部校区では「利用が拡大しないのなら、これ以上の税金投入をやめ、代替の交通手段に切り替えるべき」が最も多く、日常の公共交通と密接した地域特性が回答結果に表れているといえる。

○税金を投入して優先にて維持すべきものとしては、「高校生・大学生が「通学」できるようにするため」が最も高く、次いで「高齢者や身体障害者などの移動が困難な方の生活の足を確保するため」、「病院に通院」できるようにするため」と続く。

○鉄道や路線バスを維持するための現状の税金投入について、「多すぎる」「やや多すぎる」を合わせると5割を越える。大塚校区では「多すぎる」、三谷校区、蒲郡校区、中部校区、塩津校区では「やや多すぎる」、形原校区、西浦校区では「妥当」が最も高く、名鉄西尾・蒲郡線が生活に密接に影響する地域では現状維持、ほとんど生活に影響を及ぼさない地域では、税金の使い方の見直しを求める声が多く、地域による考え方の差異が見られる。

○今後の税金投入とサービス水準のあり方については、「税金投入を抑制するために、現在行われている民間のサービス内容を絞り込み、別の方法で対応する」が最も多い中、塩津校区、形原校区、西浦校区では、「現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である」という意見が比較的多く、居住地により、意向が分かれる結果となっている。

○バスを全く利用しない人の理由は、「自分で車を運転が出来るから」が最も高く、次いで「家族の人が車で送迎してくれるから」となり、自家用車への依存度が非常に高いことがわかる。仮に自宅近くにバスが運行された際も、「利用しない」と答える人が半数以上を占め、特に30～70歳代の、自家用車を運転できる層については、運行本数等の条件はバスへの利用転換を図る判断基準にはなっていない。

○寿楽荘の利用について、60歳以上に聞いたところ、「利用しない」が最も高く84.8%を示している。

○観光客向けの公共交通の充実について、「観光客に対してお得なパスポートを配布するなどして、現状の名鉄西尾・蒲郡線や路線バス等の公共交通の利用を促すべき」が最も高いが、高齢になるほど、「観光客よりも市民の移動の足の強化を優先させるべき」への意見の割合が高くなる。

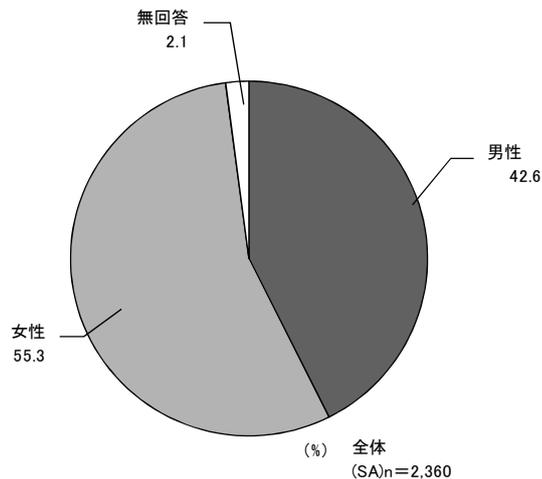
Ⅲ 調査結果

問 1. アンケート対象の属性

(1) 性別

○回答者の属性として、「男性」が42.6%、「女性」が55.3%となり、若干女性の回答が多い。

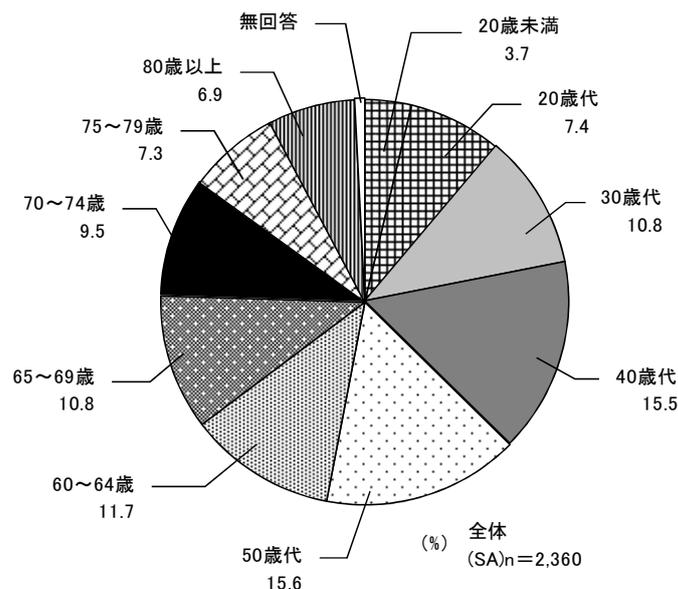
図表 1-1 性別



(2) 年齢

○回答者の年齢構成は、「60歳代」の回答が22.5%と最も多く、次いで「70歳代」が16.8%、「50歳代」15.6%、「40歳代」15.5%となっている。

図表 1-2 年齢



(3) 住まい

○居住地については、中学校区で「蒲郡」が22.1%、「形原」が21.4%、「三谷」が15.2%となっている。

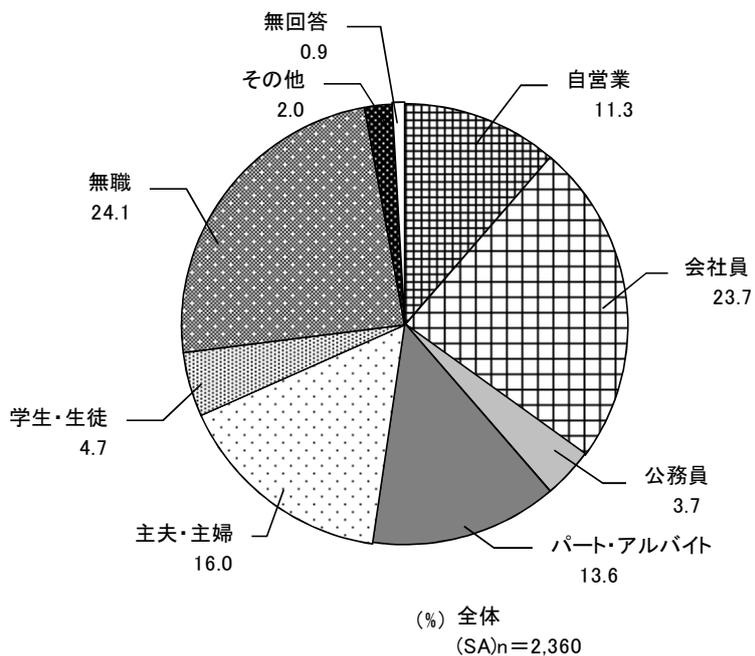
図表 1-3 居住地

中学校区	回収数	%
大塚	159	6.7%
三谷	350	14.8%
蒲郡	521	22.1%
中部	359	15.2%
塩津	298	12.6%
形原	505	21.4%
西浦	152	6.4%
無回答	16	0.7%
計	2360	100.0%

(4) 職業

○職業については、高齢者層の回答が多いことが影響してか、「無職」が24.1%と最も高く、次いで、「会社員」23.7%、「主夫・主婦」が16.0%となっている。

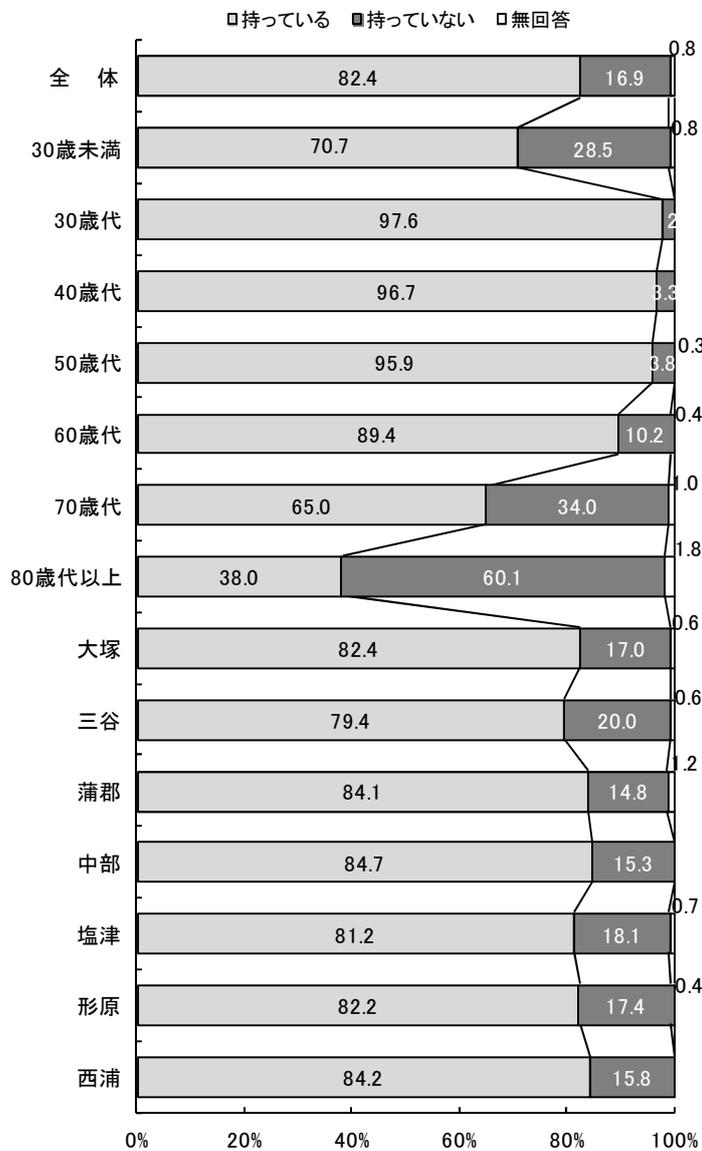
図表 1-4 職業



(5) 自動車免許の保有

○回答者の「自動車免許保有状況」を確認すると、全体で82.4%が「所有している」との回答を得た。居住地別に見ると、中部校区が84.7%、西浦校区が84.2%、蒲郡校区が84.1%を示している。

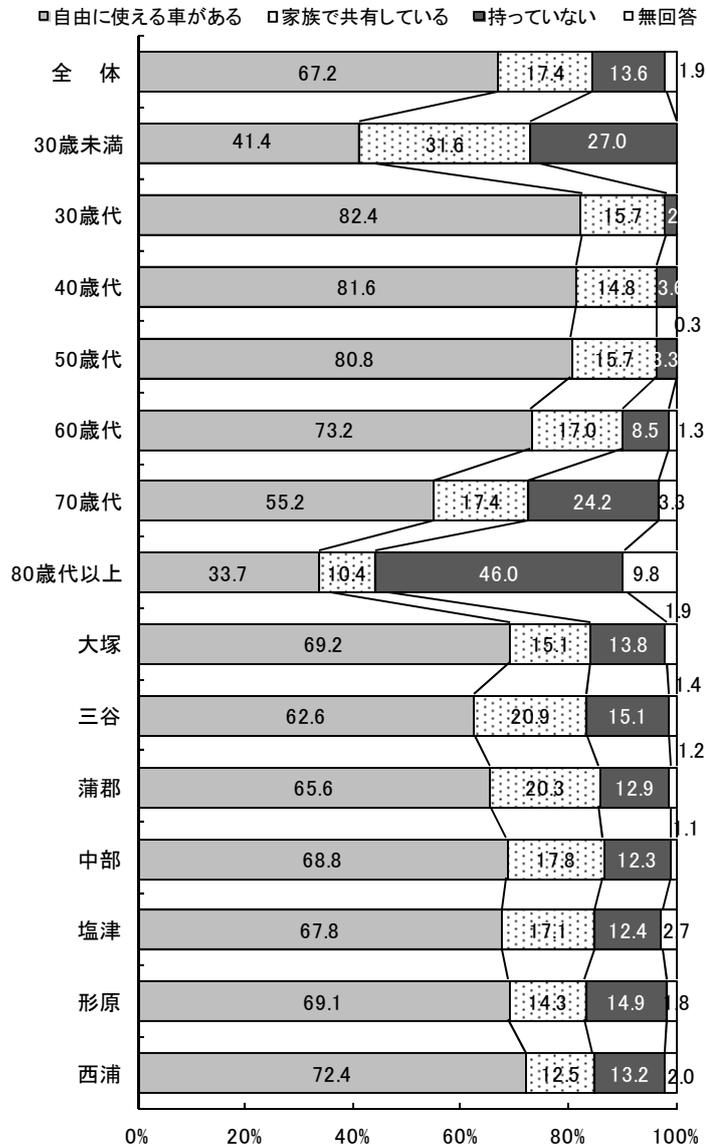
図表 1-5 免許の保有状況



(6) 自家用車の保有

○「自家用車の保有状況」は、「持っていない」人は、全体の13.6%であった。居住地別では、三谷校区が15.1%、形原校区が14.9%、大塚校区が13.8%を示している。

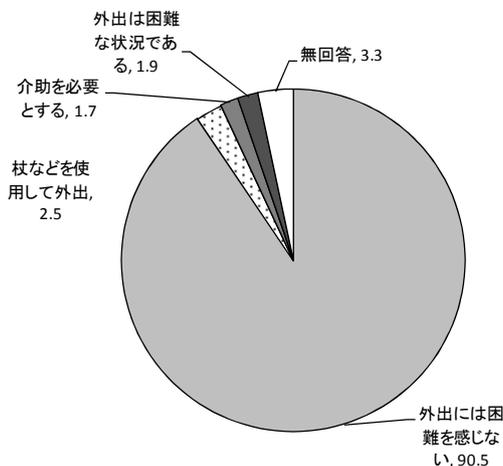
図表 1-6 自動車の保有状況



(7) 外出における困難状況

○回答者の外出状況については、90.5%が「外出には困難を感じない」と回答しているものの、「外出は困難な状況である」1.9%、「介助を必要とする」1.7%、「杖などを使用して外出」2.5%という回答となり、約6%が外出に対して困難を感じている。
 ○年齢別では、80歳以上になると約4割の人が何らかの理由により外出が困難と感じている。

図表 1-7 外出における困難状況



図表 1-7 外出における困難状況 (年齢別・居住地別)

		外出には困難を感じない	杖などを使用して外出	介助を必要とする	外出は困難な状況である	無回答	件数
全 体		90.5	2.5	1.7	1.9	3.3	2360
年 齢 別	30歳未満	97.0	0.0	1.5	0.4	1.1	263
	30歳代	99.2	0.0	0.4	0.4	0.0	255
	40歳代	96.7	0.3	0.8	0.8	1.4	365
	50歳代	95.9	1.1	0.3	0.3	2.4	369
	60歳代	94.9	1.5	0.4	1.1	2.1	530
	70歳代	82.9	2.5	2.3	4.8	7.6	397
	80歳代以上	49.1	22.1	12.3	8.6	8.0	163
	無回答	44.4	0.0	5.6	5.6	44.4	18
中 学 校 区 別	大塚	92.5	1.9	1.9	1.3	2.5	159
	三谷	92.0	1.7	2.0	1.4	2.9	350
	蒲郡	91.2	3.5	1.3	1.5	2.5	521
	中部	90.0	2.2	1.9	2.8	3.1	359
	塩津	89.6	2.7	1.3	2.3	4.0	298
	形原	89.7	2.8	1.8	2.2	3.6	505
	西浦	92.1	1.3	2.6	1.3	2.6	152
	無回答	50.0	0.0	0.0	6.3	43.8	16

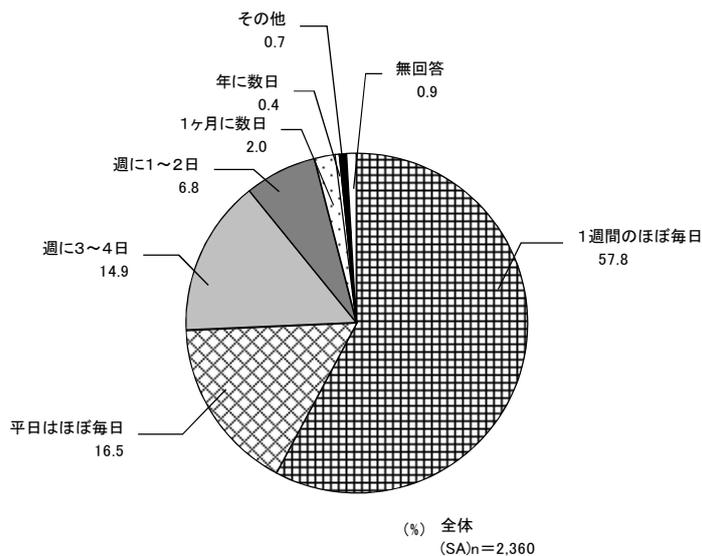
(SA) 単位 = %

問2. 外出の頻度や目的について

問2-1. 外出する頻度（通勤・通学含む）

○外出頻度は、過半数が「1週間のほぼ毎日」と回答している。年齢別には、「30歳代」が最も高く76.5%、一方で「80歳代」は17.8%に留まり、「週に1～2日」が26.4%と、最も高い値を示しているのが特徴的である。また、居住地別では、中部校区が最も高く65.5%となっている一方で、西浦校区は52.6%と最も低い。

図表2-1-1-1 外出する頻度



図表2-1-1-2 外出する頻度（年齢別・居住地別）

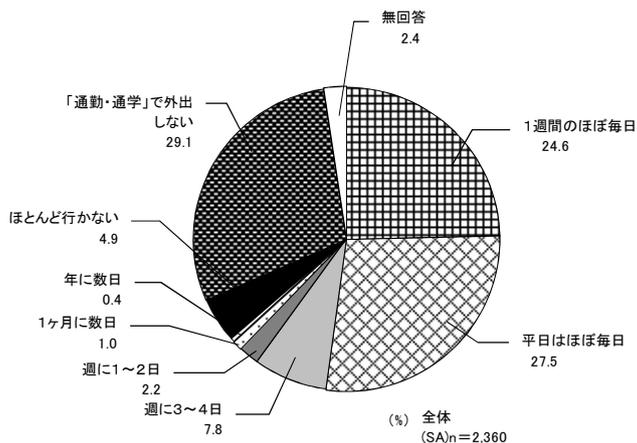
		日1週間のほぼ毎日	平日はほぼ毎日	週に3～4日	週に1～2日	1ヶ月に数日	年に数日	その他	無回答	件数
全体		57.8	16.5	14.9	6.8	2.0	0.4	0.7	0.9	2,360
年齢別	30歳未満	70.0	20.9	6.5	1.1	0.4	0.4	0.8	0.0	263
	30歳代	76.5	9.4	9.0	3.9	0.4	0.0	0.4	0.4	255
	40歳代	72.6	14.8	8.5	2.2	1.1	0.3	0.3	0.3	365
	50歳代	71.0	18.2	7.9	2.2	0.3	0.0	0.3	0.3	369
	60歳代	53.4	18.5	19.4	7.0	0.6	0.0	0.6	0.6	530
	70歳代	34.8	17.9	28.0	12.8	4.3	0.3	0.3	1.8	397
	80歳代以上	17.8	12.9	22.7	26.4	11.7	3.7	4.3	0.6	163
	無回答	44.4	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	5.6	38.9	18
中学校区別	大塚	57.2	12.6	19.5	7.5	1.3	0.0	1.3	0.6	263
	三谷	58.0	15.4	17.7	6.3	1.7	0.0	0.3	0.6	255
	蒲郡	57.6	19.2	12.5	7.1	2.5	0.0	0.4	0.8	365
	中部	65.5	11.7	14.5	5.3	2.2	0.6	0.0	0.3	369
	塩津	58.1	17.1	14.4	7.0	1.3	0.7	0.3	1.0	530
	形原	54.9	18.0	14.3	8.1	1.8	1.0	1.6	0.4	397
	西浦	52.6	19.7	16.4	5.3	3.3	0.0	1.3	1.3	163
	無回答	31.3	12.5	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3	37.5	18

(SA) 単位=%

問2-2. (1) 外出頻度、交通手段、目的地、時間帯（「通勤・通学」の場合）

- 外出頻度は、通勤・通学対象者では「平日ほぼ毎日」が27.5%で最も高い。
- 交通手段は、「自家用車」が最も高く69.8%、次いで「自転車」18.2%、「鉄道（JRなど）」が14.1%を示している。居住地別でも、いずれも「自家用車」が最も高いが、そのうち形原校区が75.3%で最も高く、一方で蒲郡校区が62.6%と最も低い値を示している。
- 目的地は、「市外」が最も高く30.9%、市内では蒲郡校区が21.8%と最も高い。
- 時間帯は、出発時は「7時台」が31.8%と最も高く、帰宅時は「18時台」が16.6%と最も高い。

図表2-2-1-1 外出頻度（通勤・通学）

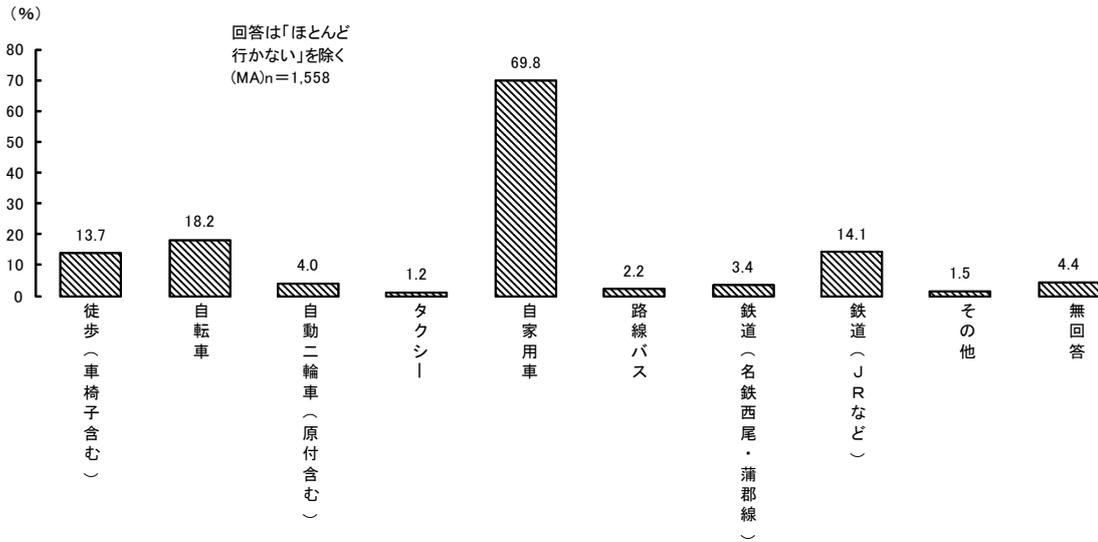


図表2-2-1-2 外出頻度（通勤・通学）（年齢別・居住地別）

		1週間のほぼ毎日	平日はほぼ毎日	週に3~4日	週に1~2日	1ヶ月に数日	年に数日	ほとんど行かない	「通勤・通学」で外出しない	無回答	件数
全体		24.6	27.5	7.8	2.2	1.0	0.4	4.9	29.1	2.4	2,360
年齢別	30歳未満	43.7	41.8	3.4	0.4	1.1	0.0	5.7	3.0	0.8	263
	30歳代	27.1	38.8	6.7	0.4	0.0	0.4	11.4	12.5	2.7	255
	40歳代	26.0	43.8	7.1	1.6	0.8	0.5	7.9	11.5	0.5	365
	50歳代	29.3	38.5	7.6	0.5	0.3	0.3	3.8	17.6	2.2	369
	60歳代	23.8	17.9	9.2	2.8	0.9	0.8	3.2	38.9	2.5	530
	70歳代	12.8	8.6	9.3	5.8	2.5	0.3	1.5	55.4	3.8	397
	80歳代以上	7.4	3.7	11.7	2.5	1.2	0.6	3.1	65.6	4.3	163
	無回答	27.8	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	33.3	11.1	18
中学校区別	大塚	25.2	23.3	11.9	3.8	1.3	0.6	3.8	28.3	1.9	159
	三谷	23.1	27.4	10.0	2.6	1.1	0.6	6.0	27.1	2.0	350
	蒲郡	22.3	29.9	7.1	2.1	0.8	0.2	5.6	30.3	1.7	521
	中部	28.4	27.6	7.5	1.4	1.4	0.6	5.0	26.5	1.7	359
	塩津	26.8	28.9	7.7	1.3	1.3	0.7	3.4	27.5	2.3	298
	形原	24.6	25.0	7.3	2.4	0.6	0.4	4.6	32.1	3.2	505
	西浦	21.7	31.6	4.6	3.3	1.3	0.0	5.3	28.3	3.9	152
	無回答	31.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	37.5	12.5	16

(SA)単位=%

図表 2-2-1-3 交通手段（通勤・通学）



図表 2-2-1-4 交通手段（通勤・通学）（年齢別・居住地別）

		徒歩 (車椅子含む)	自転車	自動二輪車 (原付含む)	タクシー	自家用車	路線バス	鉄道 (名鉄西尾・蒲郡線)	鉄道 (JRなど)	その他	無回答	件数
全体		13.7	18.2	4.0	1.2	69.8	2.2	3.4	14.1	1.5	4.4	1,558
年齢別	30歳未満	22.1	41.3	2.5	0.0	47.9	3.8	8.8	40.8	2.1	2.5	240
	30歳代	10.3	13.4	5.2	1.0	78.9	2.1	3.6	12.9	0.5	3.6	194
	40歳代	12.2	12.2	4.4	1.4	80.6	2.0	2.7	10.9	0.3	1.4	294
	50歳代	12.8	12.8	4.5	0.7	77.6	1.4	3.1	8.3	1.4	3.1	290
	60歳代	11.4	13.4	2.0	0.3	72.3	2.3	1.6	7.5	2.0	6.2	307
	70歳代	12.3	19.9	5.3	4.1	63.2	1.8	0.6	7.6	2.3	8.2	171
	80歳代以上	19.6	19.6	7.8	3.9	37.3	3.9	3.9	5.9	5.9	13.7	51
	無回答	9.1	9.1	18.2	0.0	72.7	0.0	0.0	9.1	0.0	18.2	11
中学校区別	大塚	10.2	8.3	3.7	0.9	69.4	0.9	0.0	18.5	0.9	4.6	108
	三谷	17.5	19.7	3.4	0.4	65.8	2.1	0.0	16.2	1.3	4.3	234
	蒲郡	16.8	28.7	4.2	2.7	62.6	2.4	1.8	15.6	3.0	3.3	334
	中部	11.4	21.5	5.7	0.8	72.4	0.4	0.0	12.6	0.8	3.3	246
	塩津	8.3	14.1	4.4	1.5	74.3	1.9	2.4	12.1	1.5	4.9	206
	形原	13.4	13.1	3.1	0.3	75.3	3.1	7.8	11.9	1.3	5.3	320
	西浦	15.8	7.9	3.0	1.0	71.3	5.9	16.8	12.9	1.0	5.0	101
	無回答	11.1	11.1	11.1	0.0	55.6	0.0	0.0	22.2	0.0	22.2	9

(MA) 単位=%

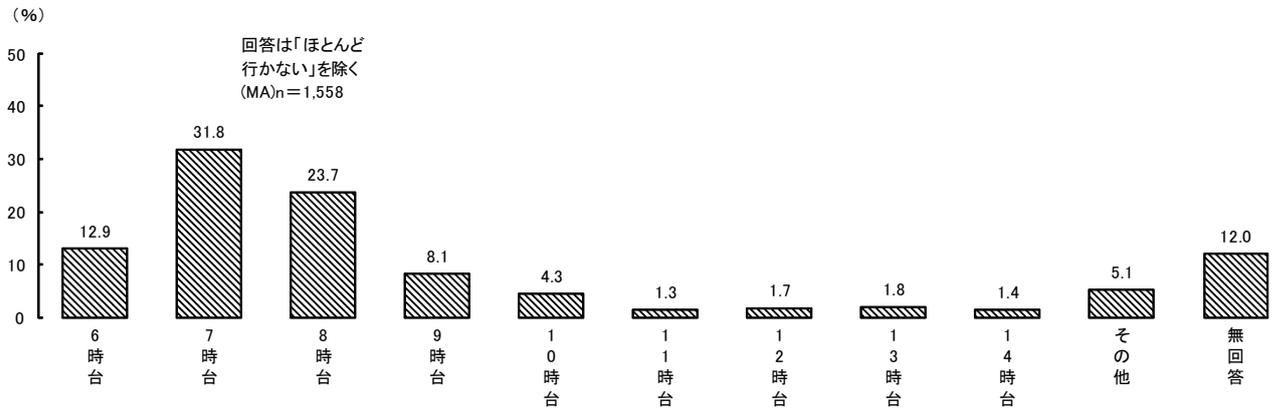
図表 2-2-1-5 目的地（通勤・通学）（年齢別・居住地別）

	大塚	三谷	蒲郡	中部	塩津	形原	西浦	市外	無回答	件数	
全体	3.6	9.6	21.8	5.0	6.8	7.8	2.3	30.9	15.3	1,558	
年齢別	30歳未満	5.4	6.3	10.8	2.1	3.3	5.0	1.3	58.8	8.3	240
	30歳代	2.1	8.2	20.6	4.6	9.8	10.8	2.1	33.0	10.3	194
	40歳代	2.0	9.9	18.4	8.8	7.1	8.5	1.4	38.1	7.1	294
	50歳代	2.4	11.4	24.5	4.5	10.0	5.5	2.8	31.0	10.0	290
	60歳代	4.9	9.8	28.3	5.2	6.2	9.8	3.9	19.5	18.6	307
	70歳代	2.9	11.7	26.3	2.3	4.7	7.0	2.3	4.7	42.7	171
	80歳代以上	11.8	11.8	29.4	7.8	3.9	7.8	0.0	3.9	31.4	51
	無回答	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	9.1	9.1	45.5	18.2	11
中学校区別	大塚	19.4	12.0	13.9	1.9	4.6	4.6	0.0	33.3	12.0	108
	三谷	4.7	27.4	18.4	1.7	4.7	1.7	0.4	29.5	14.5	234
	蒲郡	1.5	9.6	35.3	4.5	3.0	3.3	0.9	30.5	12.9	334
	中部	2.8	7.7	24.4	16.3	6.5	1.2	0.4	29.3	15.4	246
	塩津	2.9	3.4	14.1	2.9	16.5	7.3	1.5	34.0	20.4	206
	形原	1.3	3.4	19.4	3.4	7.2	21.6	3.8	30.9	14.1	320
	西浦	1.0	2.0	11.9	0.0	6.9	12.9	15.8	30.7	20.8	101
	無回答	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	33.3	22.2	9

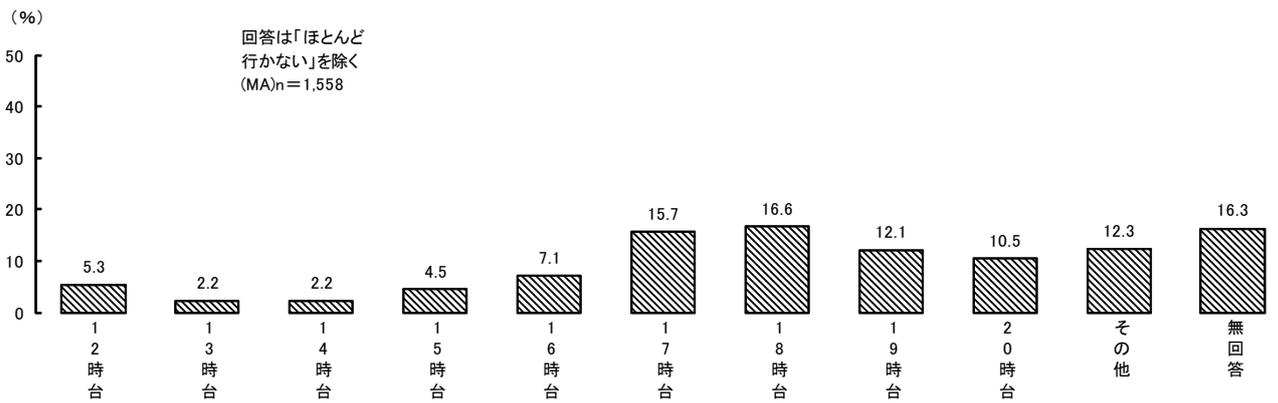
(MA) 単位 = %

図表 2-2-1-6 時間帯（通勤・通学）

【出発】



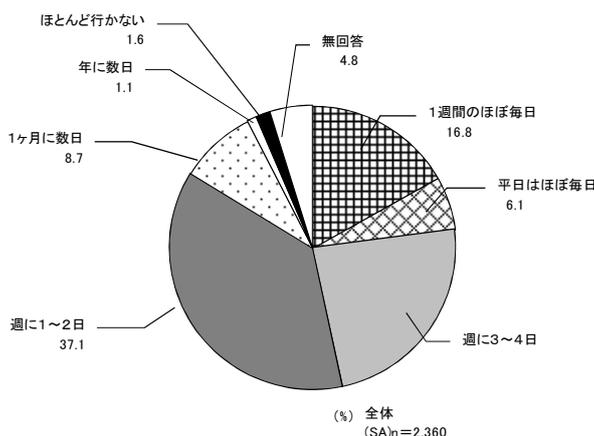
【帰宅】



問2-2. (2) 外出頻度、交通手段、目的地、時間帯（「買い物や娯楽」の場合）

- 外出頻度は、「週に1~2日」が37.1%で最も高い。年齢別に見ると、70歳代、80歳代は「週に3~4日」が最も高い値を示している。
- 交通手段は、「自家用車」が最も高く78.3%、次いで「自転車」17.4%、「徒歩（車椅子含む）」が12.0%を示している。年齢別、居住地別でも同様の傾向がみられる。
- 目的地は、中学校区で「蒲郡」が最も高く44.6%、次いで「市外」が16.8%を示している。年齢別では、30歳未満で「市外」が最も高く45.8%となっており、居住地別では、大塚校区、西浦校区の「市外」の比率が比較的高い。
- 時間帯は、出発時は「10時台」が25.8%と最も高く、帰宅時は「11時台」「12時台」がともに11.2%で最も高い。

図表2-2-2-1 外出頻度（買い物や娯楽）

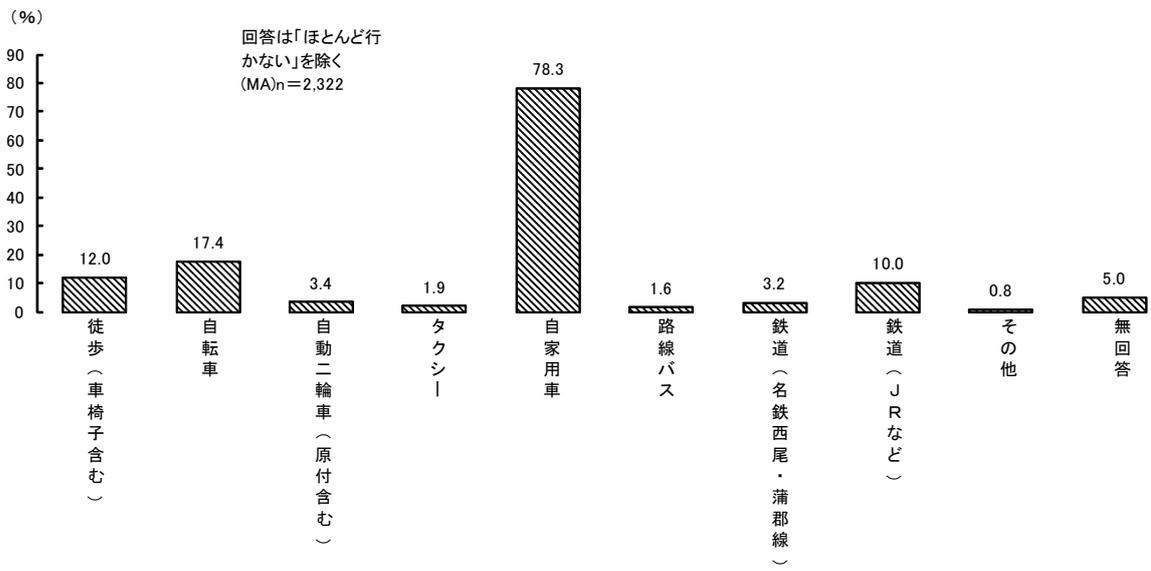


図表2-2-2-2 外出頻度（買い物や娯楽）（年齢別・居住地別）

	1週間のほぼ毎日	平日はほぼ毎日	週に3~4日	週に1~2日	1ヶ月に数日	年に数日	ほとんど行かない	無回答	件数	
全体	16.8	6.1	23.7	37.1	8.7	1.1	1.6	4.8	2,360	
年齢別	30歳未満	3.4	1.1	9.5	51.7	23.2	2.7	3.8	4.6	263
	30歳代	12.5	1.6	21.2	51.4	9.4	1.2	0.0	2.7	255
	40歳代	17.0	2.2	24.7	44.7	6.8	0.8	1.6	2.2	365
	50歳代	21.1	4.6	22.2	41.7	5.1	0.8	1.1	3.3	369
	60歳代	23.0	8.1	28.3	29.2	7.2	0.4	0.0	3.8	530
	70歳代	20.2	14.1	29.0	23.7	4.8	0.8	2.8	4.8	397
	80歳代以上	7.4	8.0	25.2	24.5	10.4	2.5	4.3	17.8	163
	無回答	11.1	0.0	16.7	16.7	16.7	5.6	0.0	33.3	18
	中学校区別	大塚	17.6	3.8	21.4	38.4	10.1	1.9	3.1	3.8
三谷		16.9	6.6	26.0	36.6	7.7	0.6	0.9	4.9	350
蒲郡		16.7	7.9	23.6	36.5	8.6	0.8	2.1	3.8	521
中部		17.0	4.2	22.3	39.6	8.6	1.4	1.4	5.6	359
塩津		17.1	5.4	27.5	34.9	8.1	1.7	1.3	4.0	298
形原		16.8	6.3	23.4	36.4	9.3	1.4	1.4	5.0	505
西浦		15.8	5.9	19.1	40.1	10.5	0.0	2.0	6.6	152
無回答		12.5	12.5	18.8	37.5	0.0	0.0	0.0	18.8	16

(SA) 単位=%

図表 2-2-2-3 交通手段（買い物や娯楽）



図表 2-2-2-4 交通手段（買い物や娯楽）（年齢別・居住地別）

		徒歩（車椅子含む）	自転車	自動二輪車（原付含む）	タクシー	自家用車	路線バス	鉄道（名鉄西尾・蒲郡線）	鉄道（JRなど）	その他	無回答	件数
全体		12.0	17.4	3.4	1.9	78.3	1.6	3.2	10.0	0.8	5.0	2,322
年齢別	30歳未満	14.2	31.2	3.2	0.4	65.2	2.4	6.7	37.2	0.8	5.1	253
	30歳代	12.2	9.0	3.5	2.4	89.4	0.8	3.9	12.2	0.0	3.5	255
	40歳代	10.3	12.3	4.5	2.5	90.5	1.1	2.5	8.1	0.3	2.2	359
	50歳代	9.3	11.0	2.5	0.3	87.9	1.1	2.2	4.9	0.3	3.6	365
	60歳代	10.6	18.9	3.2	0.9	84.7	0.9	2.1	7.4	0.6	3.8	530
	70歳代	16.1	22.8	3.9	2.6	67.1	3.1	3.1	4.7	0.5	4.4	386
	80歳代以上	14.1	18.6	3.2	6.4	39.7	3.2	5.1	2.6	5.8	18.6	156
	無回答	0.0	11.1	0.0	5.6	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	18
中学校区別	大塚	6.5	6.5	1.9	1.9	82.5	1.9	0.6	15.6	0.6	5.2	154
	三谷	13.8	23.6	2.3	2.0	74.9	0.6	0.0	11.5	1.4	5.2	347
	蒲郡	15.7	23.7	4.9	2.4	77.3	1.4	1.0	12.4	0.6	3.1	510
	中部	11.0	18.1	3.7	1.4	77.7	0.3	0.0	7.9	0.8	6.5	354
	塩津	10.2	13.3	3.4	1.4	78.6	2.0	2.7	7.5	1.0	4.8	294
	形原	12.4	14.5	3.0	1.6	80.1	2.2	8.0	8.0	0.6	5.0	498
	西浦	4.7	10.1	3.4	2.0	81.9	5.4	14.1	10.1	0.0	5.4	149
	無回答	12.5	12.5	0.0	6.3	62.5	0.0	0.0	6.3	0.0	18.8	16

(MA) 単位=%

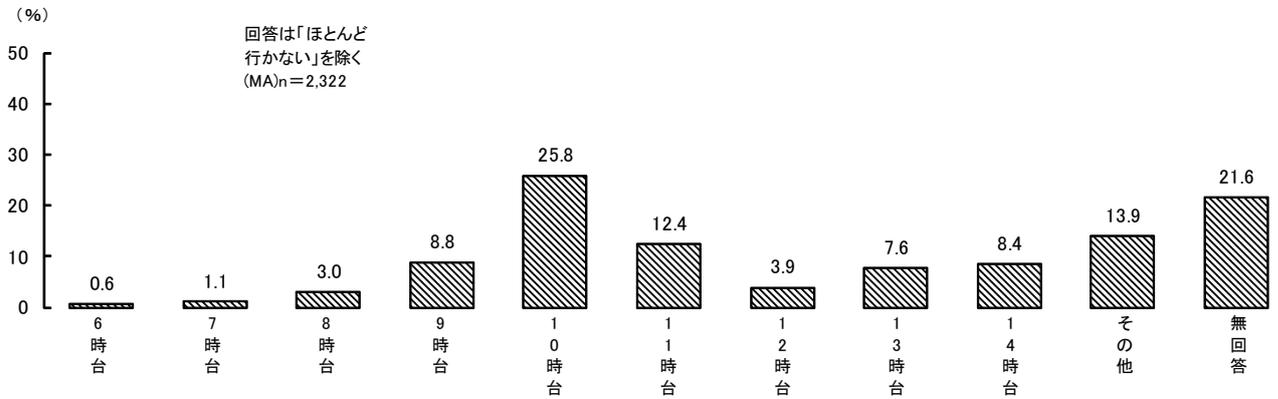
図表 2-2-2-5 目的地（買い物や娯楽）（年齢別・居住地別）

		大塚	三谷	蒲郡	中部	塩津	形原	西浦	市外	無回答	件数
全体		1.6	6.8	44.6	6.2	7.1	13.2	1.2	16.8	18.3	2,322
年齢別	30歳未満	2.8	6.7	22.5	2.4	5.5	5.5	0.0	45.8	19.4	253
	30歳代	0.8	2.0	39.2	8.6	9.0	11.4	0.8	24.7	16.5	255
	40歳代	1.4	3.9	52.6	10.0	10.3	12.3	1.1	16.4	9.7	359
	50歳代	0.5	9.0	49.6	5.5	9.6	14.0	1.1	15.9	11.8	365
	60歳代	1.5	7.0	53.4	6.0	6.2	17.5	1.5	12.1	14.2	530
	70歳代	1.3	10.4	45.6	4.4	4.1	14.5	2.1	5.4	27.7	386
	80歳代以上	4.5	7.1	31.4	6.4	4.5	11.5	0.6	1.9	41.7	156
	無回答	0.0	5.6	5.6	5.6	0.0	11.1	0.0	33.3	44.4	18
中学校区別	大塚	12.3	13.6	46.1	1.3	1.9	0.0	0.0	32.5	12.3	154
	三谷	1.7	26.8	50.7	2.9	1.2	2.0	0.3	14.4	18.2	347
	蒲郡	0.6	5.3	61.4	6.3	3.1	1.8	0.4	17.6	16.1	510
	中部	1.4	1.7	45.8	22.0	4.2	3.4	0.3	13.8	20.9	354
	塩津	0.0	1.0	34.4	5.1	31.0	9.9	0.7	10.5	21.4	294
	形原	0.4	1.2	34.5	1.0	4.8	39.8	1.0	16.7	17.9	498
	西浦	0.7	0.0	26.2	0.0	7.4	32.9	10.7	22.1	19.5	149
	無回答	0.0	12.5	12.5	12.5	6.3	18.8	0.0	25.0	31.3	16

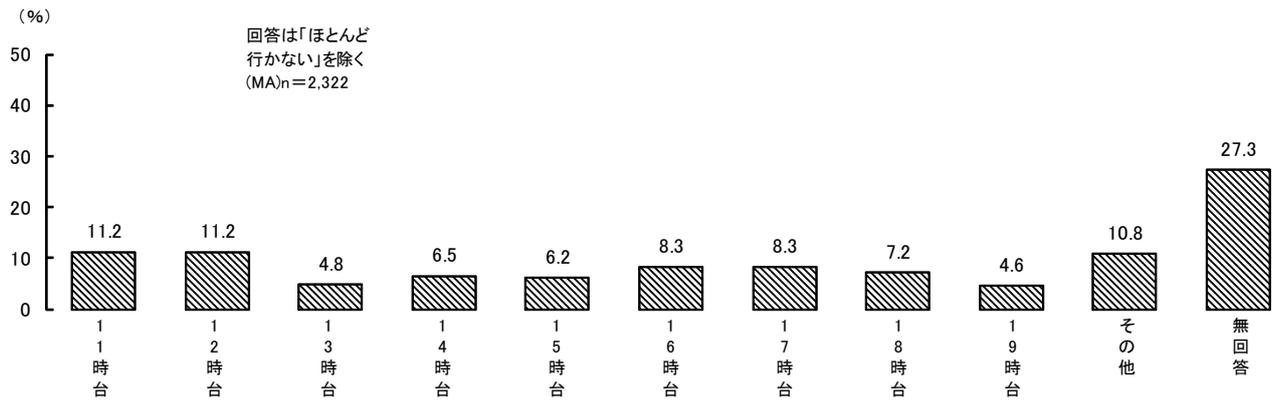
(MA) 単位=%

図表 2-2-2-6 時間帯（買い物や娯楽）

【出発】



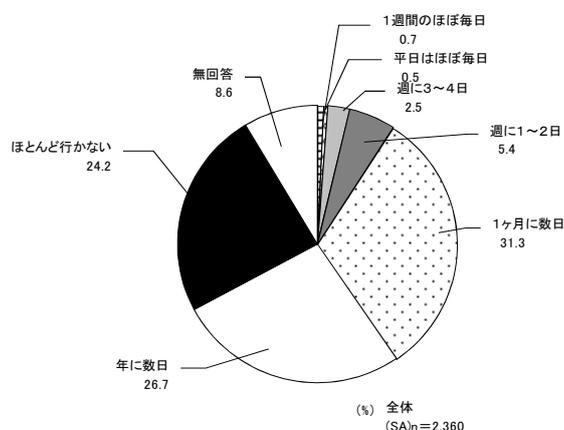
【帰宅】



問2-2.(3) 外出頻度、交通手段、目的地、時間帯（「病院や福祉施設」の場合）

- 外出頻度は、「1ヶ月に数回」が31.3%で最も高い。年齢別に見ると、40歳代までは「ほとんど行かない」、60歳代以上は「1ヶ月に数日」が最も高い値を占めている。
- 交通手段は、「自家用車」が最も高く71.3%、次いで「自転車」11.0%、「徒歩（車椅子含む）」が6.9%を示している。中学校区別でも、いずれも「自家用車」が最も高い値を示しているが、西浦校区は、「鉄道（名鉄西尾・蒲郡線）」が10.9%、「路線バス」が9.2%を示し、他校区に対し、比較的高い値を示している。
- 目的地は、中学校区で「蒲郡」が最も高く42.9%を示している。いずれの居住地でも、行き先は「蒲郡」が最も高いが、三谷校区、形原校区の居住者は、自校区を選択している割合も比較的高い。
- 時間帯は、出発時は「9時台」が25.2%と最も高く、帰宅時は「11時台」が18.3%と最も高い。

図表2-2-3-1 外出頻度（病院や福祉施設）

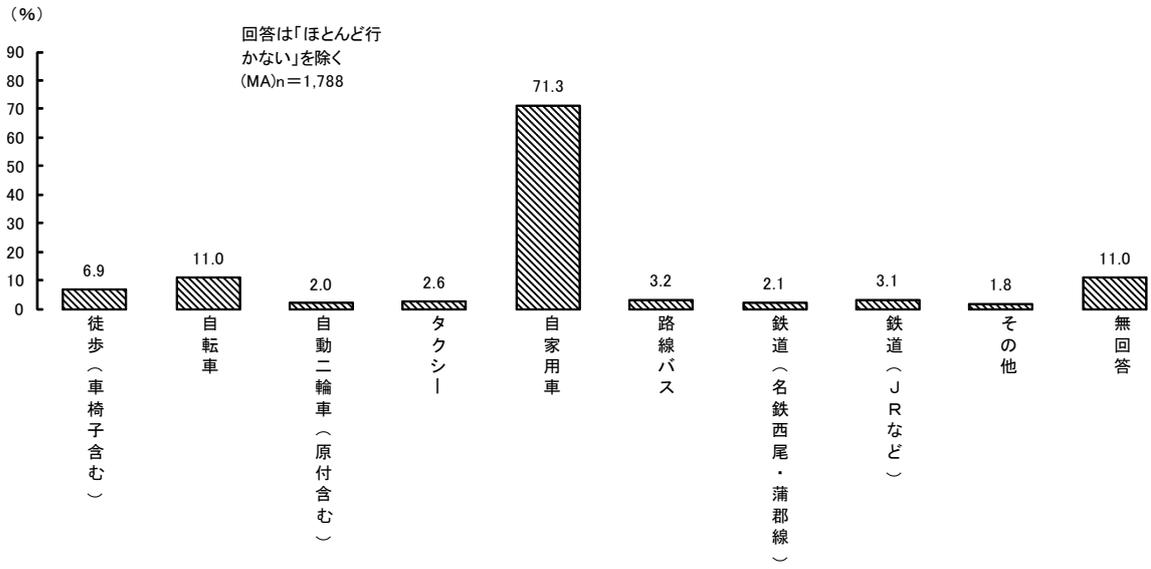


図表2-2-3-2 外出頻度（病院や福祉施設）（年齢別・居住地別）

		1週間のほぼ毎日	平日はほぼ毎日	週に3~4日	週に1~2日	1ヶ月に数日	年に数日	ほとんど行かない	無回答	件数
全 体		0.7	0.5	2.5	5.4	31.3	26.7	24.2	8.6	2,360
年 齢 別	30歳未満	0.0	0.0	0.4	1.1	11.0	33.5	46.0	8.0	263
	30歳代	0.0	0.4	1.6	1.6	24.7	32.2	32.9	6.7	255
	40歳代	0.5	0.3	0.5	3.0	21.1	31.8	35.3	7.4	365
	50歳代	0.5	0.3	1.4	2.7	28.2	29.8	29.3	7.9	369
	60歳代	0.6	0.0	2.3	5.8	39.1	26.6	16.0	9.6	530
	70歳代	1.8	1.3	5.3	9.8	46.9	17.6	8.1	9.3	397
	80歳代以上	1.8	1.8	9.2	17.8	39.9	12.3	4.9	12.3	163
	無回答	0.0	0.0	0.0	5.6	44.4	16.7	27.8	5.6	18
	中 学 校 区 別	大塚	0.6	0.0	3.1	4.4	26.4	32.1	25.8	7.5
三谷		0.3	0.3	2.6	3.7	34.9	27.7	21.4	9.1	350
蒲郡		0.4	1.0	3.1	5.2	31.5	25.9	26.1	6.9	521
中部		1.4	0.3	2.2	4.7	31.5	25.9	25.6	8.4	359
塩津		1.3	0.7	3.4	4.4	33.6	26.5	22.8	7.4	298
形原		0.6	0.2	2.2	7.3	29.7	25.1	24.6	10.3	505
西浦		0.7	0.7	0.7	8.6	27.0	28.3	21.7	12.5	152
無回答		0.0	0.0	0.0	6.3	43.8	31.3	18.8	0.0	16

(SA) 単位 = %

図表 2-2-3-3 交通手段 (病院や福祉施設)



図表 2-2-3-4 交通手段（病院や福祉施設）（年齢別・居住地別）

		徒歩（車椅子含む）	自転車	自動二輪車（原付含む）	タクシー	自家用車	路線バス	鉄道（名鉄西尾・蒲郡線）	鉄道（JRなど）	その他	無回答	件数
全体		6.9	11.0	2.0	2.6	71.3	3.2	2.1	3.1	1.8	11.0	1,788
年齢別	30歳未満	9.2	11.3	0.7	1.4	76.1	0.7	1.4	4.9	0.0	14.1	142
	30歳代	2.3	4.1	2.3	1.2	84.2	1.2	1.8	2.9	0.0	10.5	171
	40歳代	6.8	7.2	2.5	0.8	78.8	2.5	0.8	2.5	0.4	11.0	236
	50歳代	5.4	6.5	1.1	0.8	79.7	1.5	1.5	1.1	0.8	12.6	261
	60歳代	5.8	12.6	2.2	0.9	75.1	2.2	1.6	3.6	1.1	10.8	445
	70歳代	9.3	17.5	2.7	4.4	61.1	4.9	2.5	4.1	1.9	8.2	365
	80歳代以上	10.3	11.6	1.3	11.0	41.9	10.3	5.2	1.9	11.0	13.5	155
	無回答	0.0	15.4	0.0	15.4	53.8	0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	13
中学校区別	大塚	4.2	4.2	0.8	1.7	75.4	5.9	0.0	9.3	0.8	11.0	118
	三谷	9.1	18.2	2.2	2.5	69.1	1.1	0.0	2.9	1.8	10.5	275
	蒲郡	10.4	15.3	2.6	3.4	68.3	2.6	0.5	2.9	2.9	9.6	385
	中部	5.2	12.7	2.6	3.0	71.5	0.4	0.0	3.0	1.5	11.6	267
	塩津	3.5	9.1	1.3	2.2	74.3	4.8	2.2	2.6	2.2	10.4	230
	形原	6.0	6.0	1.8	2.1	73.5	3.4	3.7	1.0	1.3	11.8	381
	西浦	5.9	3.4	1.7	2.5	69.7	9.2	10.9	5.9	0.8	15.1	119
	無回答	7.7	7.7	0.0	7.7	61.5	7.7	23.1	0.0	0.0	0.0	13

(MA) 単位=%

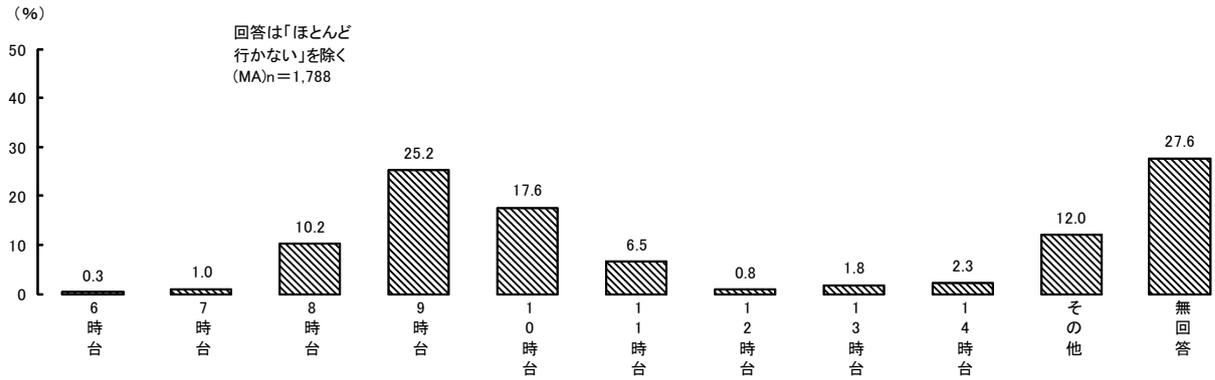
図表 2-2-3-5 目的地（病院や福祉施設）（年齢別・居住地別）

		大塚	三谷	蒲郡	中部	塩津	形原	西浦	市外	無回答	件数
全体		2.8	11.1	42.9	4.4	4.3	9.9	1.5	10.2	23.6	1,788
年齢別	30歳未満	2.8	10.6	38.0	4.9	2.1	7.0	2.1	6.3	30.3	142
	30歳代	3.5	9.4	38.0	7.6	7.6	9.9	0.0	16.4	22.2	171
	40歳代	4.2	8.9	42.8	6.4	7.6	8.5	1.3	12.7	20.3	236
	50歳代	1.9	13.0	47.1	5.0	3.8	8.0	0.4	12.6	19.2	261
	60歳代	2.9	12.8	44.3	2.9	3.4	12.8	1.6	11.2	18.9	445
	70歳代	2.2	9.9	42.5	3.0	2.7	11.5	1.9	5.8	30.4	365
	80歳代以上	2.6	12.3	44.5	4.5	5.2	5.8	2.6	4.5	28.4	155
	無回答	0.0	7.7	23.1	0.0	0.0	7.7	7.7	30.8	30.8	13
中学校区別	大塚	16.9	16.9	34.7	1.7	0.0	0.0	0.0	16.1	25.4	118
	三谷	3.3	33.5	38.2	0.7	0.4	0.4	0.0	9.1	24.7	275
	蒲郡	2.1	9.4	60.8	3.1	2.3	0.8	0.0	8.8	20.5	385
	中部	1.5	3.4	50.6	14.2	2.2	1.5	0.4	7.5	27.0	267
	塩津	2.2	9.1	33.9	6.1	16.5	7.0	0.4	12.2	23.0	230
	形原	1.0	3.9	35.4	1.6	4.2	33.6	1.0	9.7	22.8	381
	西浦	0.0	4.2	29.4	2.5	5.9	19.3	16.0	14.3	26.1	119
	無回答	0.0	7.7	30.8	15.4	0.0	15.4	7.7	15.4	15.4	13

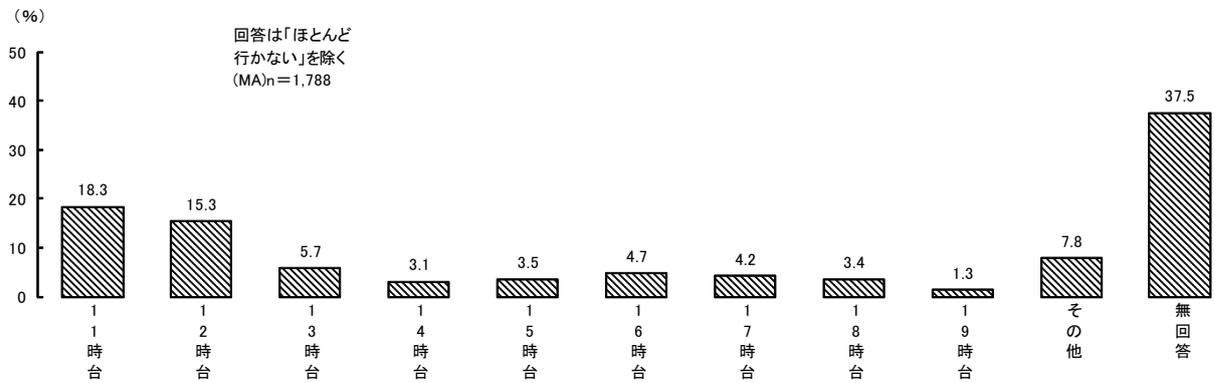
(MA) 単位=%

図表 2-2-3-6 時間帯（病院や福祉施設）

【出発】



【帰宅】

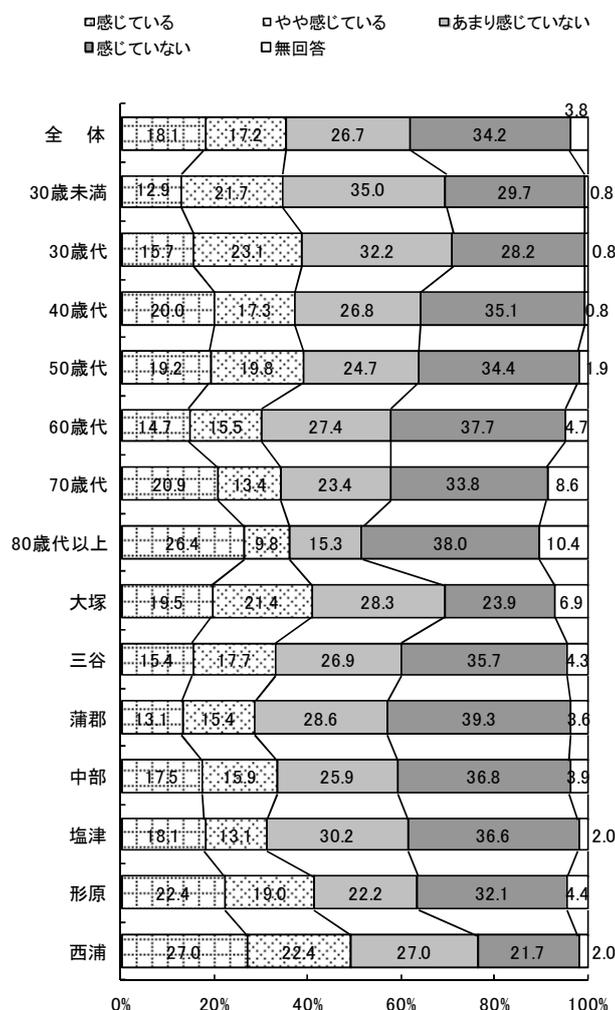


問3. 公共交通に対する評価について

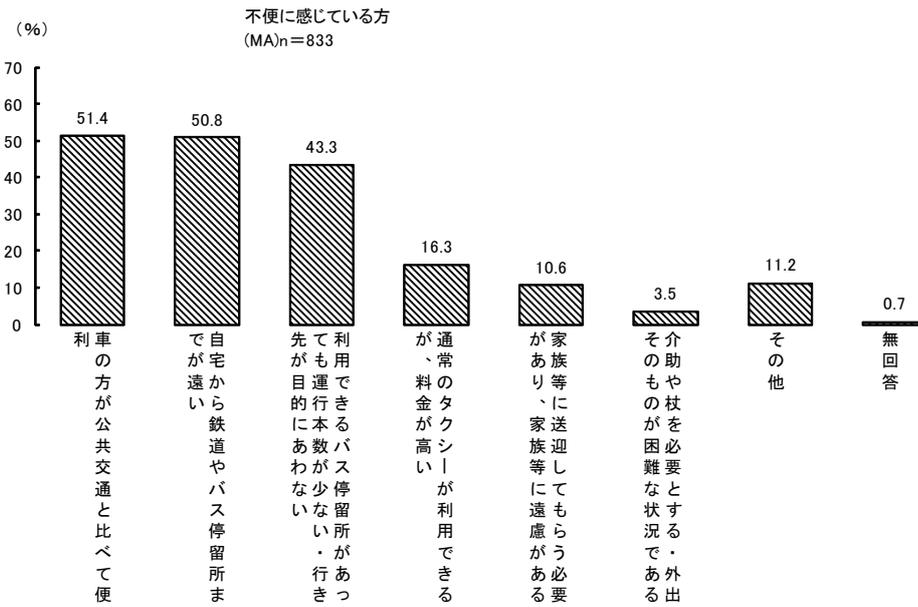
問3-1. 日常の公共交通での移動に不便を感じているか

- 「日常の移動に不便を感じているか」確認すると、「感じている」「やや感じている」をあわせて35.3%存在した。3人に1人が移動に不便を感じている。年齢別に見ると「80歳代」が不便を感じている割合が最も高く、中学校区別に見ると、「大塚」「西浦」「形原」が比較的高い値を示している。
- 「不便を感じている理由」を確認すると、「車の方が公共交通と比べて便利」が51.4%と最も選択されており、次いで「自宅から鉄道やバス停留所が遠い」50.8%、「利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない」43.3%となっている。年齢別に見ても同様の結果が得られた。一方、居住地別に見ると、三谷校区、西浦校区については、「利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない」が、全体では最も多い「自宅から鉄道やバス停留所が遠い」より高い値を示し、バス停までの距離よりも運行本数に不便を感じている傾向にある。

図表3-1-1 日常の移動に不便を感じているか（年齢別・居住地別）



図表 3-1-2 不便に感じる理由



図表 3-1-3 不便に感じる理由 (年齢別・居住地別)

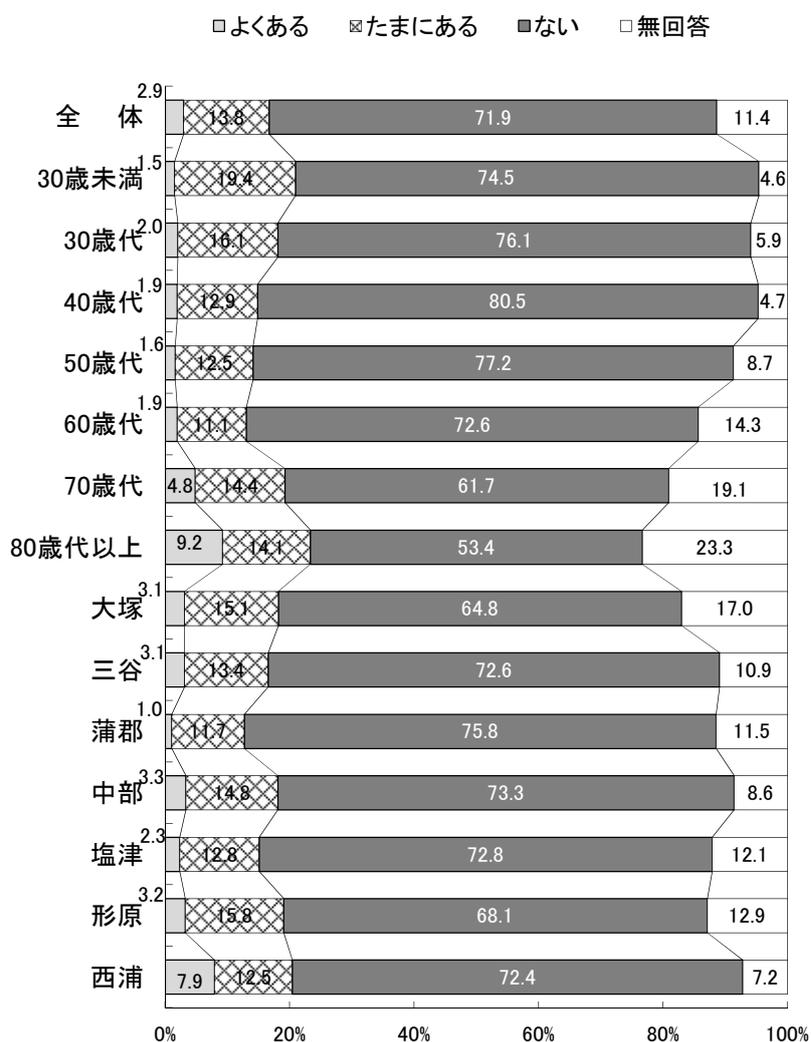
	自宅から鉄道やバス停留所までが遠い	先でも利用できるバス停留所があつても本数が少ない・行き先が目的にあわない	が通常のタクシーが利用できるが、料金が安い	が家族等に送迎してもらつた必要があり、家族等に遠慮がある	が介助や杖を必要とする・外出が困難な状況である	車の方が公共交通と比べて便利	その他	無回答	件数	
全体	50.8	43.3	16.3	10.6	3.5	51.4	11.2	0.7	833	
年齢別	30歳未満	37.4	29.7	7.7	16.5	1.1	49.5	26.4	0.0	91
	30歳代	45.5	38.4	18.2	5.1	0.0	53.5	18.2	1.0	99
	40歳代	56.6	47.8	12.5	8.8	0.0	64.0	13.2	0.0	136
	50歳代	54.9	48.6	15.3	4.9	3.5	52.8	10.4	0.7	144
	60歳代	55.0	48.1	13.8	8.1	1.9	53.8	6.3	1.3	160
	70歳代	50.0	44.1	25.7	14.0	5.1	44.1	1.5	0.7	136
	80歳代以上	47.5	35.6	18.6	28.8	20.3	28.8	10.2	1.7	59
	無回答	50.0	37.5	50.0	0.0	12.5	50.0	0.0	0.0	8
中学校区別	大塚	55.4	50.8	9.2	6.2	4.6	49.2	13.8	0.0	65
	三谷	40.5	42.2	15.5	12.1	4.3	60.3	11.2	0.9	116
	蒲郡	48.6	43.2	14.2	10.8	4.1	51.4	11.5	0.7	148
	中部	68.3	30.0	22.5	16.7	2.5	40.8	12.5	0.0	120
	塩津	52.7	47.3	16.1	9.7	6.5	48.4	4.3	1.1	93
	形原	51.2	47.4	16.7	8.1	1.4	56.0	10.0	1.4	209
	西浦	36.0	44.0	16.0	10.7	2.7	48.0	17.3	0.0	75
	無回答	42.9	42.9	28.6	0.0	14.3	42.9	14.3	0.0	7

(MA) 単位=%

問3-2. 公共交通が「ない」あるいは「利用しづらい」ために、外出を控えたことがあるか

- 「公共交通がない・あるいは利用しづらいために外出を控えたことがあるか」を確認すると、「よくある」「たまにある」が16.7%となっており、6人に1人が外出を控えた経験があることが分かる。
- 年齢別に見ると、高齢になるほどその傾向が強い。居住地別では、「よくある」「たまにある」が、大塚校区では18.2%、居住地別では18.1%、形原校区では19.0%、西浦校区では20.4%を示し、全体（16.7%）に比べ高い傾向を示している。

図表3-2 外出を控えることの有無（年齢別・居住地別）



問4. バス等の利用実態と満足度

問4-1. (1) 市内のバスの利用頻度

- 「バスの利用状況」を確認すると、約9割の人が「ほとんど乗らない」と回答しており、利用している人の中でも「年に数回」利用する人が4.4%に留まる状況にある。
- 年齢別では、高齢になるほど利用頻度は増えるが、最も利用が多い80歳代以上でも、「週に1～2日」「1ヶ月に数日」「年に数日」を併せて17.2%を示すに留まっている。
- 居住地別では、塩津校区、形原校区、西浦校区の利用頻度は比較的高い値を示している。

図表4-1-1 利用頻度（年齢別・居住地別）

		週に3日以上	週に1～2日	1ヶ月に数日	年に数日	いほとんど乗らない	無回答	件数
全 体		0.3	0.8	2.8	4.4	90.8	0.7	2,360
年 齢 別	30歳未満	0.4	1.1	0.4	2.3	95.4	0.4	263
	30歳代	0.4	0.0	2.0	2.0	95.3	0.4	255
	40歳代	0.5	0.0	2.5	3.0	93.7	0.3	365
	50歳代	0.3	0.5	1.4	2.4	94.9	0.5	369
	60歳代	0.2	0.8	1.7	7.0	89.4	0.9	530
	70歳代	0.5	1.5	5.8	6.5	84.6	1.0	397
	80歳代以上	0.0	3.1	8.6	5.5	81.0	1.8	163
	無回答	0.0	0.0	5.6	5.6	88.9	0.0	18
中 学 校 区 別	大塚	0.0	0.6	3.1	4.4	91.2	0.6	159
	三谷	0.0	0.6	1.1	2.9	94.9	0.6	350
	蒲郡	0.4	1.0	1.3	2.7	94.2	0.4	521
	中部	0.0	0.0	0.8	3.1	95.8	0.3	359
	塩津	1.0	0.3	3.7	5.0	88.6	1.3	298
	形原	0.4	1.2	4.0	7.9	85.1	1.4	505
	西浦	0.7	2.6	10.5	3.3	82.9	0.0	152
	無回答	0.0	6.3	6.3	12.5	75.0	0.0	16

(SA) 単位=%

(2) バスの利用目的

- バス利用者の「利用目的」は、「通院」が最も高く 43.7%、次いで「買い物」33.7%、「趣味・娯楽」が 23.1%と続く
- 年齢別に見ると、80 歳以上では「通院」が 71.4%を占める。居住地別では、中部校区のみ、「趣味・娯楽」で最も高い値が示されていることが特徴的である。

図表 4-1-2 利用目的（年齢別・居住地別）

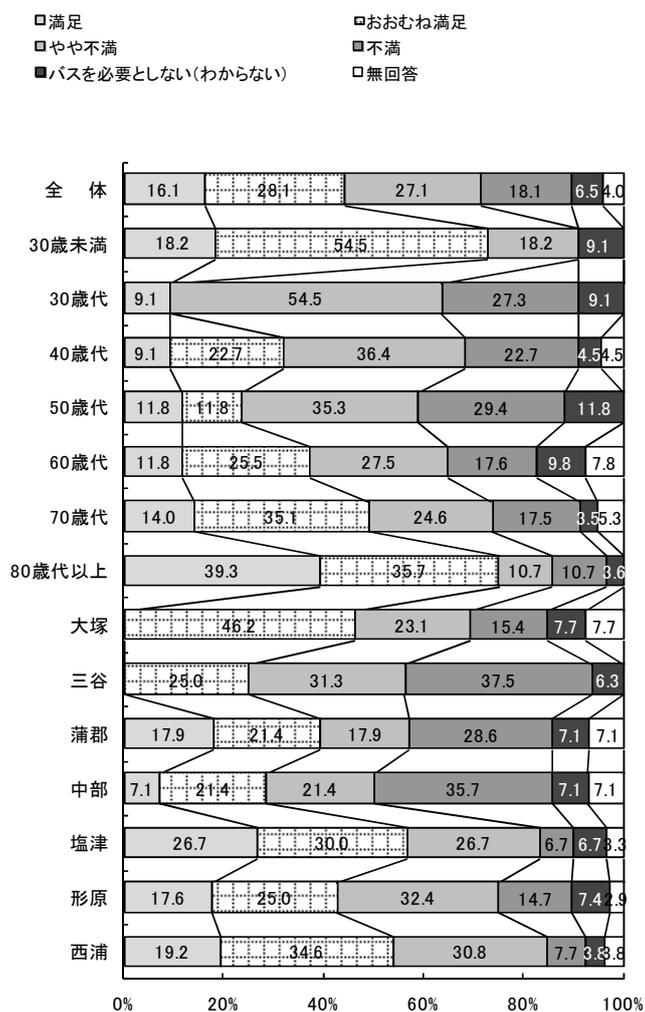
		通院	買い物	趣味・娯楽	通勤	その他公共施設の利用	福祉施設の利用	通学	塾・習い事	その他	無回答	件数
全 体		43.7	33.7	23.1	7.5	6.0	3.0	0.5	0.5	8.0	4.0	199
年 齢 別	30歳未満	18.2	45.5	9.1	18.2	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	11
	30歳代	36.4	9.1	36.4	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	11
	40歳代	27.3	31.8	36.4	13.6	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	22
	50歳代	5.9	29.4	35.3	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5	5.9	17
	60歳代	39.2	19.6	25.5	5.9	7.8	3.9	0.0	2.0	7.8	5.9	51
	70歳代	56.1	52.6	17.5	1.8	1.8	3.5	0.0	0.0	5.3	3.5	57
	80歳代以上	71.4	28.6	14.3	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	3.6	28
	無回答	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
中 学 校 区 別	大塚	61.5	38.5	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	15.4	13
	三谷	56.3	37.5	25.0	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16
	蒲郡	32.1	32.1	21.4	10.7	7.1	3.6	0.0	3.6	14.3	3.6	28
	中部	21.4	21.4	57.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	14
	塩津	56.7	43.3	13.3	6.7	3.3	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	30
	形原	36.8	29.4	26.5	11.8	2.9	2.9	1.5	0.0	10.3	2.9	68
	西浦	50.0	38.5	19.2	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	11.5	7.7	26
	無回答	75.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4

バスを利用されている方(MA)単位=%

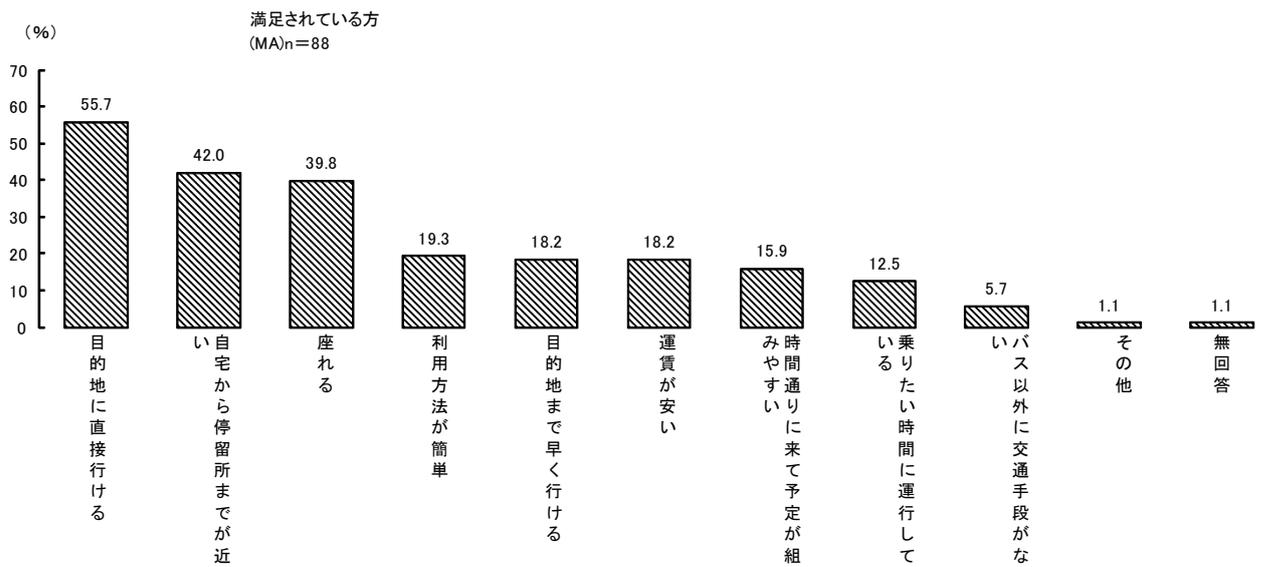
問4-2. バスのサービス水準に対する満足度

- バスに対する「現状のサービス水準の満足度」を確認すると、「満足」「おおむね満足」の合計は44.2%、「やや不満」「不満」の合計値は45.2%を示した。年齢別に見ると、80歳代は「満足」「おおむね満足」の合計値が75%を占めている。居住地別に見ると「満足」「おおむね満足」が多いのは大塚校区、塩津校区、西浦校区、「やや不満」「不満」が多いのは三谷校区、蒲郡校区、中部校区、形原校区となった。
- 「満足」の理由は、「目的地に直接行ける」が55.7%と最も高く、次いで「自宅から停留所までが近い」42.0%、「座れる」が39.8%を示している。
- 「不満」の理由は、「乗りたい時間に運行していない」が65.6%と最も高く、次いで「目的地に直接行けない」35.6%、「自宅から停留所までが遠い」が25.6%と続く。

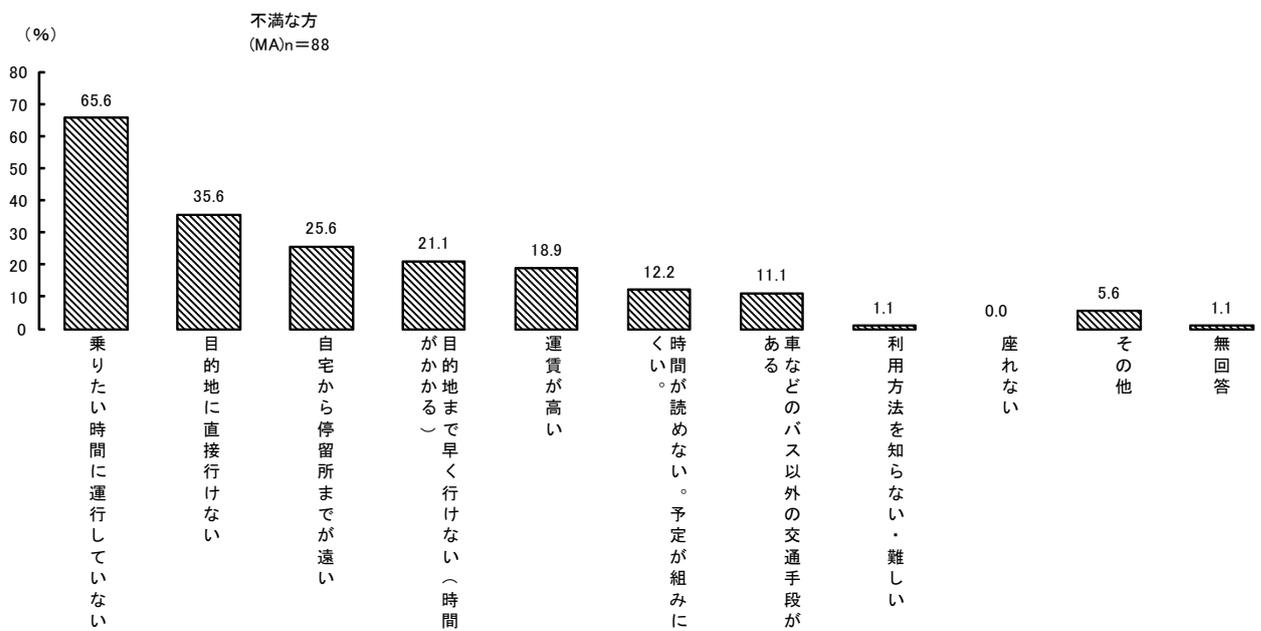
図表4-2 バスのサービス水準に対する満足度（年齢別・居住地別）



【満足な理由】



【不満な理由】



問5. 「名鉄西尾・蒲郡線」の利用実態と満足度

問5-1. (1) 名鉄西尾・蒲郡線の利用頻度

- 「ほとんど乗らない」が最も高く 90.5%を示している。年齢別でも同様の傾向が見られるが、30歳未満では「週に3日以上」が 7.6%を占め、同年齢層には学生が含まれる事から、比較的高い値を示している事が推測される。
- また、80歳代以上は「1ヶ月に数日」が 7.4%と、他の年齢層よりは比較的高い値を占めている事がわかる。
- 居住地別では、「週に3日以上」が西浦校区で 10.5%、形原校区で 3.6%を示し、名鉄西尾・蒲郡線の沿線であり、他校区に比べ利用頻度が高い。

図表5-1-1 名鉄西尾・蒲郡線の利用頻度（年齢別・居住地別）

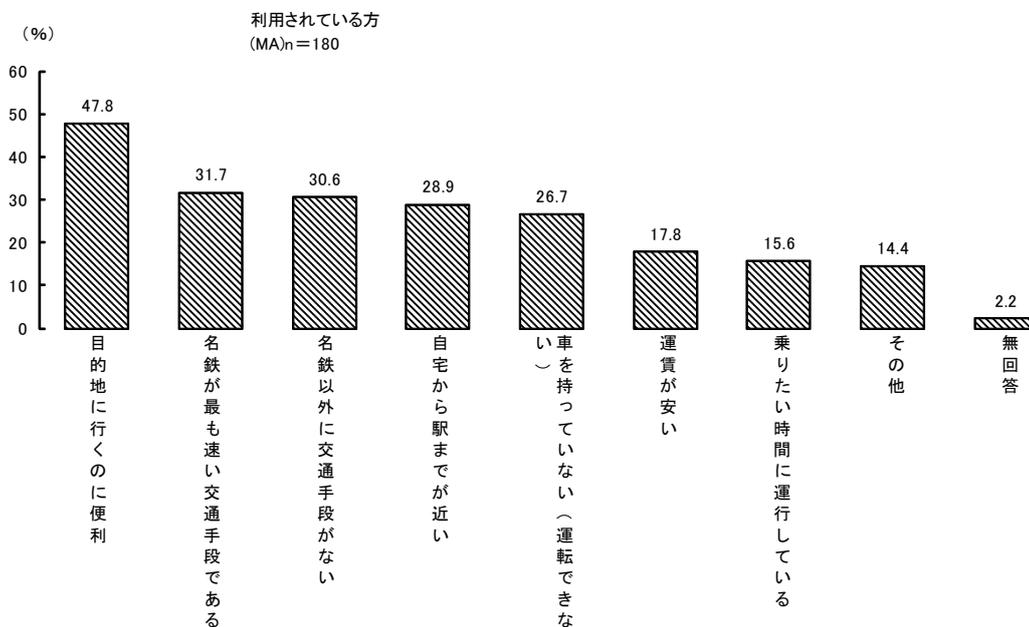
		週に3日以上	週に1～2日	1ヶ月に数日	ほとんど乗らない	無回答	件数
全体		1.7	0.9	5.0	90.5	1.9	2360
年齢別	30歳未満	7.6	1.1	3.0	87.8	0.4	263
	30歳代	1.6	0.8	4.7	92.2	0.8	255
	40歳代	1.1	0.3	5.8	92.3	0.5	365
	50歳代	2.2	0.3	3.8	93.5	0.3	369
	60歳代	0.4	1.1	4.5	91.9	2.1	530
	70歳代	0.5	1.3	6.0	88.4	3.8	397
	80歳代以上	0.6	1.8	7.4	83.4	6.7	163
	無回答	0.0	0.0	16.7	72.2	11.1	18
中学校区別	大塚	0.0	0.0	1.3	93.7	5.0	159
	三谷	0.3	0.0	1.1	95.7	2.9	350
	蒲郡	0.4	0.2	1.3	96.0	2.1	521
	中部	0.0	0.3	1.4	97.8	0.6	359
	塩津	1.3	0.3	4.4	93.0	1.0	298
	形原	3.6	2.2	11.7	80.4	2.2	505
	西浦	10.5	4.6	15.8	69.1	0.0	152
	無回答	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	16

(SA) 単位=%

問5-1.(2) 名鉄西尾・蒲郡線を利用する理由

○「目的地に行くのに便利」が最も高く47.8%、次いで「名鉄が最も速い交通手段である」31.7%、「名鉄以外に交通手段がない」30.6%と続く。

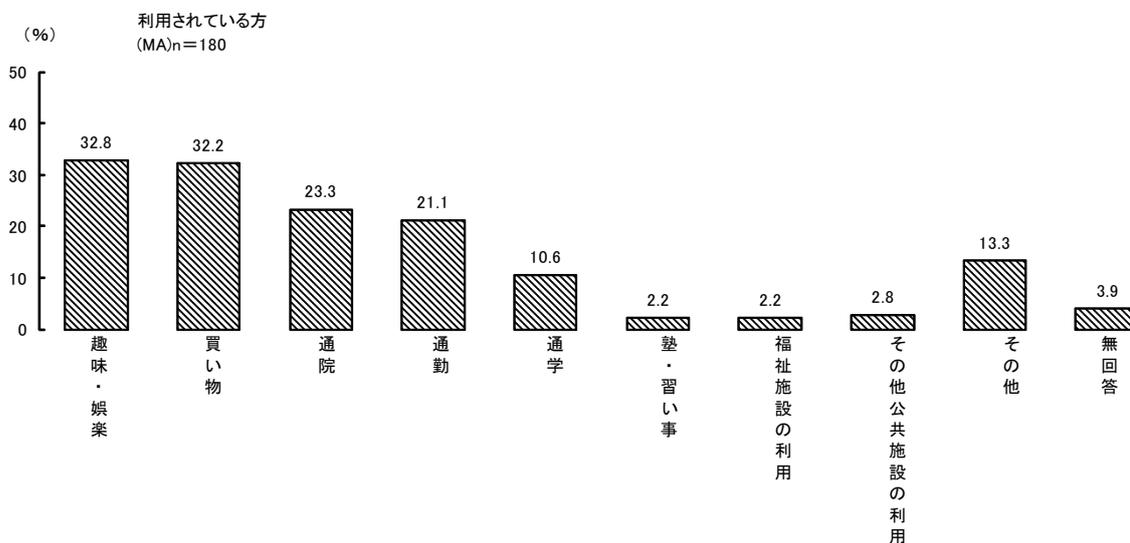
図表5-1-2 名鉄西尾・蒲郡線を利用する理由



問5-1.(3) 名鉄西尾・蒲郡線の利用目的

- 「趣味・娯楽」が最も高く32.8%、次いで「買い物」32.2%、「通院」23.3%と続く。
 ○年齢別では傾向に違いが見られ、30歳未満は「通学」が最も高く54.8%、70歳代、80歳代以上は「通院」が最も高く、それぞれ61.3%、50.0%を示している。居住地別では、形原校区、西浦校区における「通学」の値が比較的高い。

図表5-1-3-1 名鉄西尾・蒲郡線の利用目的



図表5-1-3-2 名鉄西尾・蒲郡線の利用目的（年齢別・居住地別）

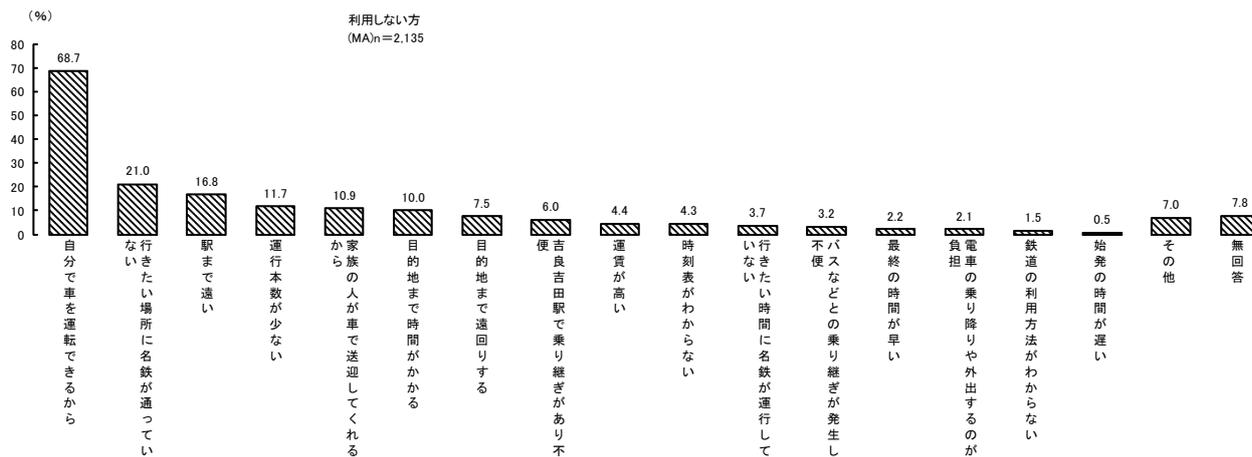
	趣味・娯楽	買い物	通院	通勤	通学	その他公共施設の利用	塾・習い事	福祉施設の利用	その他	無回答	件数	
全体	32.8	32.2	23.3	21.1	10.6	2.8	2.2	2.2	13.3	3.9	180	
年齢別	30歳未満	22.6	32.3	0.0	19.4	54.8	0.0	3.2	0.0	6.5	3.2	31
	30歳代	50.0	22.2	11.1	38.9	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7	5.6	18
	40歳代	42.3	23.1	11.5	30.8	3.8	7.7	0.0	0.0	30.8	0.0	26
	50歳代	43.5	8.7	0.0	56.5	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	4.3	23
	60歳代	34.4	46.9	21.9	12.5	0.0	6.3	3.1	6.3	12.5	0.0	32
	70歳代	25.8	45.2	61.3	0.0	0.0	3.2	3.2	3.2	12.9	3.2	31
	80歳代以上	18.8	31.3	50.0	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	6.3	18.8	16
	無回答	0.0	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3
中学校区別	大塚	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	2	
	三谷	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	5	
	蒲郡	30.0	10.0	20.0	30.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10
	中部	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0	6	
	塩津	38.9	22.2	33.3	11.1	5.6	5.6	5.6	0.0	11.1	5.6	18
	形原	31.8	36.4	23.9	21.6	12.5	1.1	2.3	4.5	12.5	3.4	88
	西浦	27.7	38.3	17.0	29.8	14.9	2.1	0.0	0.0	8.5	4.3	47
	無回答	25.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4

利用されている方 (MA) 単位=%

問5-2.(1) 名鉄西尾・蒲郡線を利用しない理由

- 「自分で車を運転できるから」が最も高く 68.7%、次いで「行きたい場所に名鉄が通っていない」21.0%、「駅まで遠い」16.8%と続く。
- 年齢別では、同様の傾向が見られるが、80歳代以上、70歳代、30歳未満の「家族の人が来るまで送迎してくれるから」が比較的高い値を示している事がわかる。
- 居住地別では、沿線である形原校区、西浦校区について、「運行本数が少ない」の割合が比較的高い。

図表5-2-1-1 名鉄西尾・蒲郡線を利用しない理由



図表5-2-1-2 名鉄西尾・蒲郡線を利用しない理由 (年齢別・居住地別)

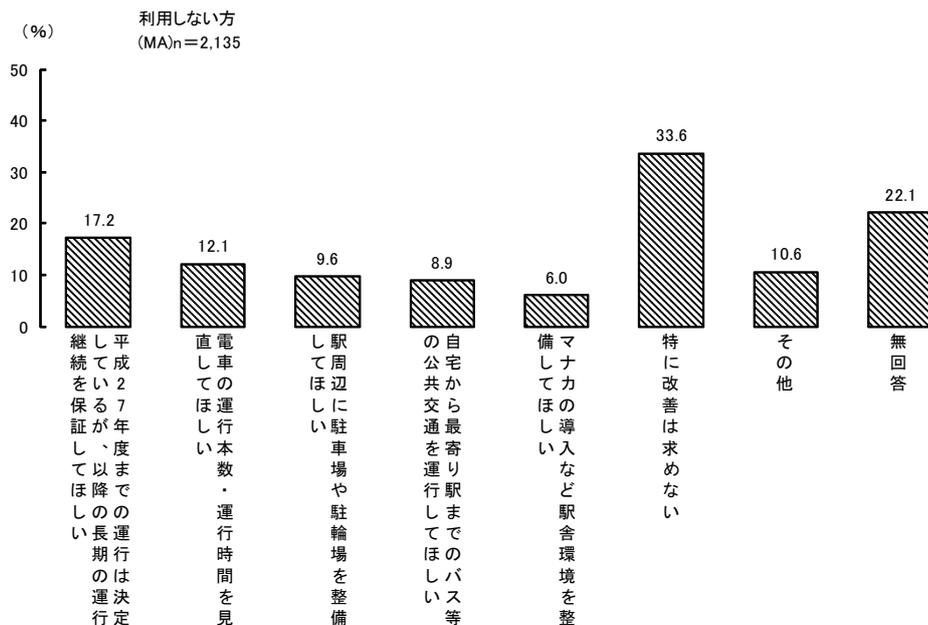
	自分で車を運転できるから	行きたい場所に名鉄が通っていない	駅まで遠い	運行本数が少ない	家族の人が車で送迎してくれるから	目的地まで時間がかかる	目的地まで遠回りする	吉良吉田駅で乗り継ぎが不便	運賃が高い	時刻表がわからない	行きたい時間に名鉄が運行していない	バスなどの乗り継ぎが発生し不便	最終の時間が早い	電車の乗り降りや外出するのが負担	鉄道の利用方法がわからない	始発の時間が遅い	その他	無回答	件数	
全体	68.7	21.0	16.8	11.7	10.9	10.0	7.5	6.0	4.4	4.3	3.7	3.2	2.2	2.1	1.5	0.5	7.0	7.8	2,135	
年齢別	30歳未満	48.9	40.7	10.0	18.2	15.6	12.6	11.7	6.1	8.2	4.3	5.2	3.5	4.8	0.4	2.2	1.3	11.3	3.0	231
	30歳代	86.4	27.7	20.4	18.3	5.5	14.5	10.6	6.8	4.7	5.1	3.8	1.7	3.4	1.3	0.4	0.4	5.5	3.0	235
	40歳代	82.5	27.6	18.7	15.4	4.7	13.4	10.7	8.6	8.0	4.5	5.3	2.7	3.9	1.5	1.5	1.2	8.0	2.1	337
	50歳代	81.2	20.6	16.8	14.5	7.5	13.6	8.1	6.4	2.9	3.2	4.1	2.3	2.6	2.0	2.3	0.6	4.3	3.5	345
	60歳代	73.9	13.6	18.5	7.8	10.9	7.2	4.9	5.7	3.1	5.1	3.1	4.1	1.0	1.0	1.0	0.2	6.2	7.4	487
	70歳代	54.4	12.3	16.5	6.3	17.4	6.3	4.6	4.8	3.4	3.4	2.3	4.3	0.6	2.8	1.7	0.0	4.3	13.7	351
	80歳代以上	25.0	11.0	13.2	2.2	19.9	0.7	2.2	2.2	0.7	4.4	1.5	2.9	0.0	9.6	0.7	0.0	16.2	32.4	136
	無回答	61.5	15.4	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	38.5	13
中学校区別	大塚	67.8	18.8	22.8	8.1	4.0	12.8	4.7	1.3	2.0	6.7	4.0	3.4	1.3	0.7	1.3	0.7	8.7	9.4	149
	三谷	63.0	26.6	15.5	7.8	9.0	9.9	9.9	5.7	1.8	4.8	1.8	3.9	1.5	1.8	2.4	0.6	7.8	8.4	335
	蒲郡	68.4	24.6	10.6	10.0	9.0	10.8	7.2	5.8	4.0	3.8	2.6	2.8	1.8	1.8	1.6	0.2	7.8	7.2	500
	中部	66.4	23.9	17.7	8.8	10.5	9.4	8.3	5.7	2.6	2.6	3.1	2.3	1.4	2.0	0.9	0.0	10.0	6.3	351
	塩津	71.1	26.4	16.6	11.6	11.2	11.2	7.9	8.3	6.5	7.6	4.0	3.2	1.4	4.0	2.2	0.0	4.7	5.4	277
	形原	74.6	9.6	21.4	19.0	16.7	7.9	6.7	6.2	7.6	3.4	5.9	4.2	3.0	2.0	0.7	0.7	4.9	8.1	406
	西浦	72.4	10.5	20.0	20.0	13.3	11.4	5.7	9.5	7.6	1.9	5.7	1.9	9.5	1.9	1.0	3.8	1.9	12.4	105
	無回答	33.3	16.7	25.0	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	41.7	12

利用しない方(MA)単位=%

問5-2.(2) 名鉄西尾・蒲郡線を利用するために改善を望むこと

○「特に改善は求めない」が最も高く 33.6%を示す。次いで「平成 27 年度までの運行は決定しているが、以降の長期の運行継続を保証してほしい」17.2%、「電車の運行本数・運行時間を見直してほしい」12.1%と続く。
 ○居住地別に見ると、沿線の形原校区、西浦校区では、「平成 27 年度までの運行は決定しているが、以降の長期の運行継続を保証してほしい」の値が最も高く、それぞれ 31.3%、32.4%を示している。

図表 5-2-2-1 名鉄西尾・蒲郡線を利用するために改善を望むこと



図表5-2-2-2 名鉄西尾・蒲郡線を利用するために改善を望むこと（年齢別・居住地別）

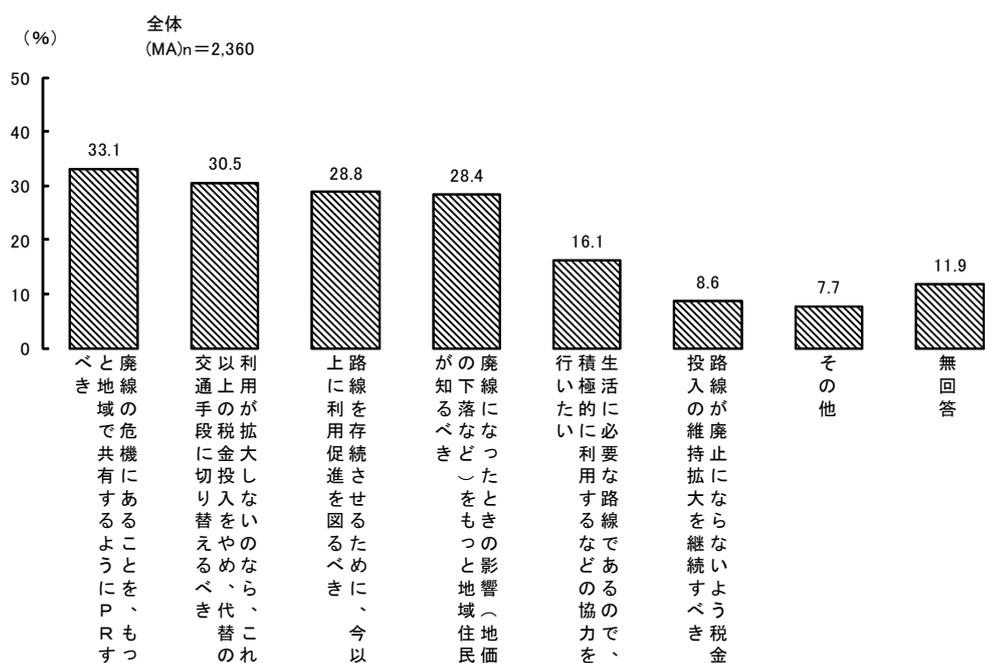
		運行継続を保証してほしい	平成27年度までの運行は決	見直してほしい	電車の運行本数・運行時間を	備駅周辺に駐車場や駐輪場を整	い等の公共交通を運行してほしい	自宅から最寄り駅までのバス	整備してほしい	マナカの導入など駅舎環境を	特に改善は求めない	その他	無回答	件数
	全 体	17.2	12.1	9.6	8.9	6.0	33.6	10.6	22.1	2,135				
年 齢 別	30歳未満	16.5	19.0	6.5	5.6	12.1	46.3	10.0	7.8	231				
	30歳代	15.7	17.9	12.3	7.2	7.2	44.3	10.2	9.8	235				
	40歳代	19.9	14.8	11.9	8.6	11.0	40.7	11.3	8.9	337				
	50歳代	17.7	13.3	11.3	10.1	6.7	36.5	11.3	16.2	345				
	60歳代	18.3	11.1	10.5	9.9	3.1	30.0	12.1	23.0	487				
	70歳代	15.7	5.4	8.3	11.1	1.7	20.5	7.7	43.3	351				
	80歳代以上	13.2	1.5	1.5	5.9	0.7	16.2	11.8	55.9	136				
	無回答	15.4	7.7	0.0	0.0	7.7	30.8	7.7	38.5	13				
中 学 校 区 別	大塚	6.7	8.1	4.7	7.4	2.7	32.9	14.1	30.9	149				
	三谷	9.6	8.4	6.0	5.7	5.1	41.2	13.4	24.8	335				
	蒲郡	13.2	10.8	4.4	7.0	7.6	37.2	12.0	23.4	500				
	中部	14.8	9.4	6.6	17.4	4.6	33.9	10.5	22.2	351				
	塩津	16.2	11.9	13.7	6.1	5.4	36.8	7.2	20.2	277				
	形原	31.3	19.2	20.0	9.4	8.4	24.6	7.9	14.8	406				
	西浦	32.4	18.1	12.4	5.7	3.8	19.0	11.4	26.7	105				
	無回答	8.3	8.3	8.3	16.7	0.0	33.3	0.0	33.3	12				

利用しない方(MA)単位=%

問5-3. 名鉄西尾・蒲郡線の利用促進活動に対する考え

- 「廃線の危機にあることを、もっと地域で共有するようにPRすべき」が最も高く 33.1%、次いで「利用が拡大しないのなら、これ以上の税金投入をやめ、代替の交通手段に切り替えるべき」30.5%、「路線を存続させるために、今以上に利用促進を図るべき」28.8%と続く。
- 居住地別に見ると、「廃線の危機にあることを、もっと地域で共有するようにPRすべき」が最も多かったのは塩津校区、形原校区、「路線を存続させるために、今以上に利用促進を図るべき」が最も多かったのは西浦校区。一方、「利用が拡大しないのなら、これ以上の税金投入をやめ、代替の交通手段に切り替えるべき」は、大塚校区、三谷校区、蒲郡校区、中部校区であり、居住地により考えが異なる。

図表5-3-1 名鉄西尾・蒲郡線の利用促進活動に対する考え



図表5-3-2 名鉄西尾・蒲郡線の利用促進活動に対する考え（年齢別・居住地別）

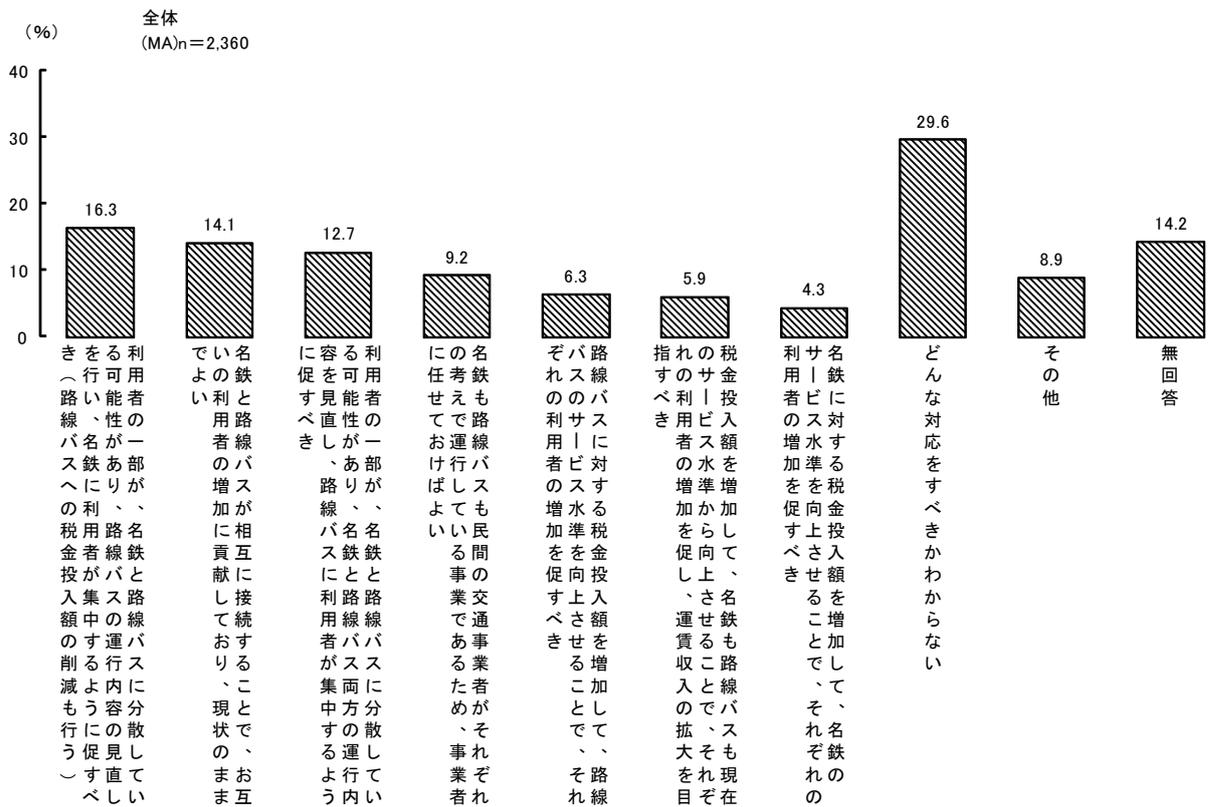
		地域線の共有するにPRすべき	手続に切り替えるべき	利用が拡大しないのなら、これを、もつと	路線を促進を図るために、今以上	路線を存続させるために、今以上	るべき	廃線になったときの影響（地価の	極端に利用するなどの協力を、積	生活に必要な路線であるので、積	入線の維持拡大を継続すべき	その他	無回答	件数
全 体		33.1	30.5	28.8	28.4	16.1	8.6	7.7	11.9	2,360				
年 齢 別	30歳未満	35.7	24.0	28.9	35.7	12.2	8.4	8.7	5.7	263				
	30歳代	33.7	32.9	29.4	38.0	11.8	5.9	5.9	5.9	255				
	40歳代	33.2	29.6	34.2	33.7	15.9	7.4	9.6	2.2	365				
	50歳代	34.4	35.0	28.5	32.8	15.4	9.2	7.9	5.7	369				
	60歳代	37.0	36.8	30.6	26.8	16.6	8.9	9.4	9.8	530				
	70歳代	27.0	28.2	23.4	16.1	21.2	9.1	3.5	24.7	397				
	80歳代以上	27.6	16.0	24.5	16.0	16.6	10.4	8.6	40.5	163				
	無回答	22.2	16.7	22.2	16.7	16.7	22.2	5.6	27.8	18				
中 学 校 区 別	大塚	23.9	30.8	24.5	21.4	5.7	6.3	6.9	18.2	159				
	三谷	30.9	33.1	25.7	24.0	10.9	4.0	7.4	12.9	350				
	蒲郡	32.2	33.0	23.4	28.2	9.8	6.9	7.5	12.9	521				
	中部	32.9	34.8	24.8	27.9	11.4	7.8	7.8	12.3	359				
	塩津	30.9	29.9	28.5	28.9	16.4	8.4	7.7	10.7	298				
	形原	39.2	25.5	37.8	32.5	26.9	13.1	7.7	9.3	505				
	西浦	36.2	22.4	39.5	34.9	34.9	14.5	9.2	8.6	152				
	無回答	18.8	37.5	25.0	12.5	12.5	6.3	6.3	18.8	16				

全体(MA)単位=%

問5-4. 名鉄西尾・蒲郡線と路線バスの並行運行について

- 「どんな対応をすべきかわからない」が最も高く 29.6%を示し、次いで「利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、路線バスの運行内容の見直しを行い、名鉄に利用者が集中するように促すべき（路線バスへの税金投入額の削減も行う）」16.3%、「名鉄と路線バスが相互に接続することで、お互いの利用者の増加に貢献しており、現状のままでよい」14.1%と続く。
- 居住地別に見ると、西浦校区のみ「名鉄と路線バスが相互に接続することで、お互いの利用者の増加に貢献しており、現状のままでよい」が最も高く、27.6%を示している。

図表5-4-1 名鉄西尾・蒲郡線と路線バスの並行運行について



図表5-4-2 名鉄西尾・蒲郡線と路線バスの並行運行について（年齢別・居住地別）

	金投入額の削減も行う)	利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、路線バスの運行内容の見直しを行い、名鉄への税鉄能	名鉄と路線バスが相互に接続すること、お互いの利	利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、名鉄と路線バス両方の運行内容を見直し、能	名鉄も路線バスも民間の交通事業者がそれぞれを考	路線バスに対する税金投入額を増加して、路線バスの	税金投入額を増加して、名鉄も路線バスも現在のサ	名鉄に対する税金投入額を増加して、名鉄のサービスの	どんな対応をすべきかわからない	その他	無回答	件数
全 体	16.3	14.1	12.7	9.2	6.3	5.9	4.3	29.6	8.9	14.2	2,360	
年 齢 別	30歳未満	18.6	19.4	11.0	8.4	4.2	5.7	3.8	32.7	7.6	5.7	263
	30歳代	17.6	14.1	12.5	7.8	5.5	4.7	4.7	30.6	12.2	5.5	255
	40歳代	24.4	13.2	9.9	7.4	6.3	4.9	4.4	34.2	10.4	3.0	365
	50歳代	17.9	13.3	14.4	7.9	6.5	6.8	3.3	30.6	11.4	7.6	369
	60歳代	13.2	13.8	15.7	11.3	6.8	6.0	4.7	33.2	7.5	13.4	530
	70歳代	12.8	13.4	12.6	11.3	8.1	7.1	4.5	22.2	6.0	31.7	397
	80歳代以上	8.6	10.4	9.2	7.4	4.9	3.7	3.1	19.0	8.0	39.3	163
	無回答	5.6	27.8	11.1	5.6	5.6	16.7	16.7	11.1	5.6	33.3	18
中 学 校 区 別	大塚	12.6	14.5	6.9	10.1	3.8	5.7	3.1	34.6	9.4	18.2	159
	三谷	13.4	10.0	14.6	10.9	4.3	4.3	1.7	32.0	10.6	15.7	350
	蒲郡	15.5	11.5	14.0	8.1	6.9	4.8	2.7	30.5	8.3	13.6	521
	中部	15.6	12.3	15.0	10.9	6.4	4.7	3.1	28.7	11.4	12.5	359
	塩津	13.4	12.8	10.1	12.1	6.0	6.7	5.0	34.2	6.4	14.4	298
	形原	21.0	17.0	13.9	7.1	8.9	7.3	7.1	25.0	8.1	14.1	505
	西浦	22.4	27.6	6.6	5.9	3.9	7.9	8.6	26.3	7.9	11.2	152
	無回答	6.3	25.0	6.3	0.0	0.0	25.0	6.3	12.5	6.3	25.0	16

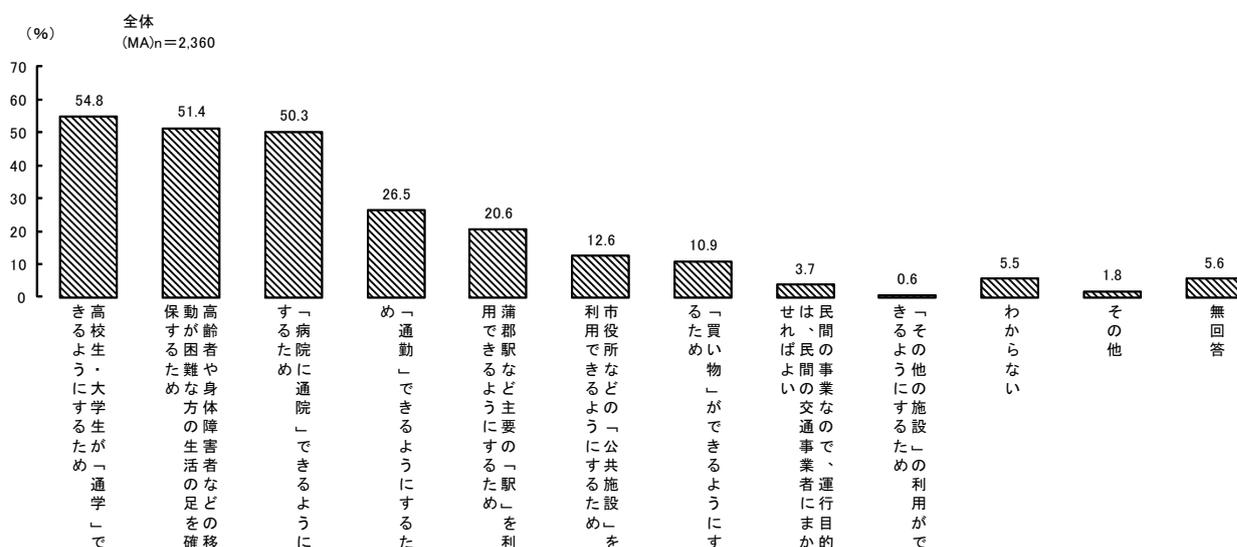
全体(MA)単位=%

問6. 蒲郡市の将来的な公共交通のあり方について

問6-1. 税金を投入して優先して維持すべきもの

- 「高校生・大学生が「通学」できるようにするため」が最も高く 54.8%を示し、次いで「高齢者や身体障害者などの移動が困難な方の生活の足を確保するため」51.4%、「病院に通院」できるようにするため」50.3%と続く。
- 年齢別に見ると、50歳代までは「高校生・大学生が「通学」できるようにするため」が最も高い値を示すが、60歳代以上は、「病院に通院」できるようにするため」の値が高い。
- 居住地別に見ると、形原校区、西浦校区は「高校生・大学生が「通学」できるようにするため」が最も高く、それぞれ 66.7%、80.3%を示す。大塚校区は「病院に通院」できるようにするため」が最も高く、三谷校区、蒲郡校区、中部校区、塩津校区は「高齢者や身体障害者などの移動が困難な方の生活の足を確保するため」が最も高い値を示している。

図表6-1-1 税金を投入して優先して維持すべきもの



図表6-1-2 税金を投入して優先して維持すべきもの（年齢別・居住地別）

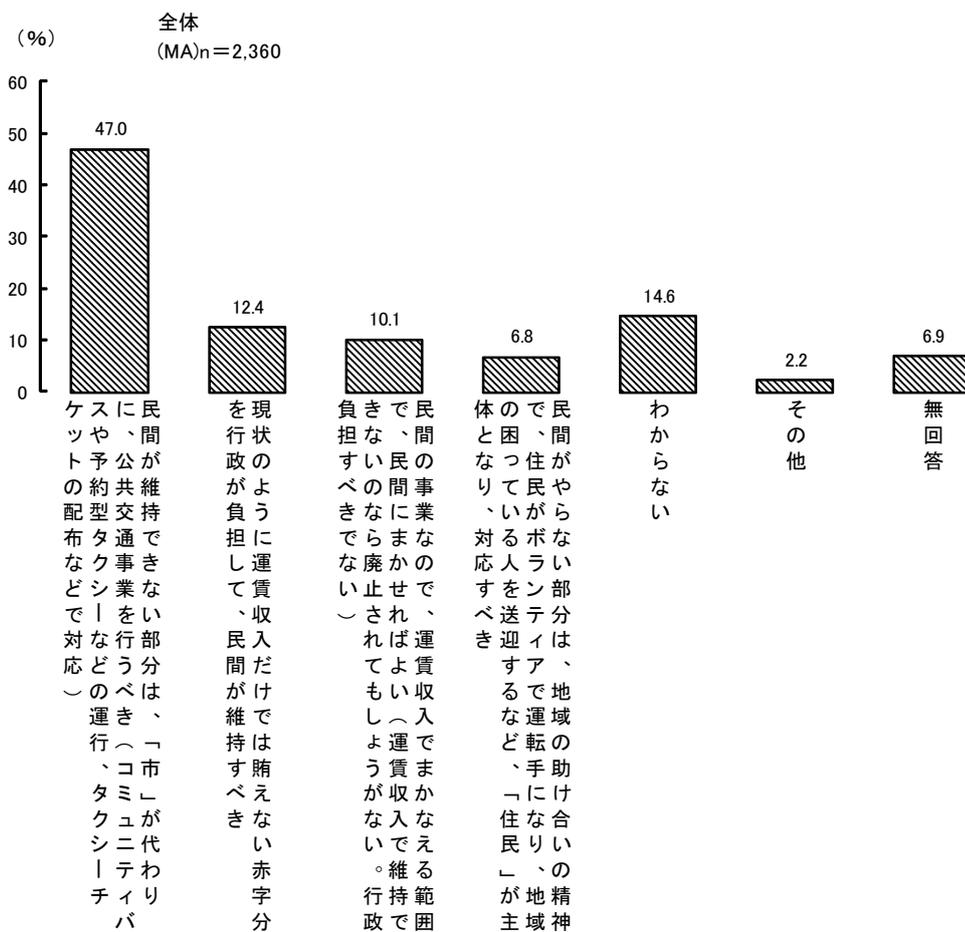
	高校生・大学生が「通学」できるようにするため	高齢者や身体障害者などの移動が困難な方の生活の足を確保するため	「病院に入院」できるようにするため	「通勤」できるようにするため	蒲郡駅など主要な「駅」を利用できるようにするため	市役所などの「公共施設」を利用できるようにするため	「買い物」ができるようにするため	民間の交通事業者にまかせればよい	民間の事業なので、運行目的は、	「その他の施設」の利用ができるようにするため	わからない	その他	無回答	件数
全体	54.8	51.4	50.3	26.5	20.6	12.6	10.9	3.7	0.6	5.5	1.8	5.6	2,360	
年齢別	30歳未満	60.5	57.0	46.8	36.5	20.2	12.9	8.4	1.9	0.4	6.1	1.5	1.5	263
	30歳代	61.6	59.2	51.4	30.6	27.1	12.9	7.1	2.0	0.4	2.7	2.4	0.8	255
	40歳代	63.3	56.2	46.6	29.3	22.5	11.5	10.1	1.6	1.1	3.8	2.7	0.8	365
	50歳代	57.2	55.6	51.5	30.4	22.2	11.7	8.4	3.5	0.5	4.1	1.6	3.3	369
	60歳代	55.5	47.9	56.0	25.8	21.5	12.8	11.5	6.2	0.6	4.5	1.7	4.5	530
	70歳代	44.3	46.3	48.9	18.1	14.6	13.1	16.6	4.3	0.5	8.3	0.8	13.6	397
	80歳代以上	35.0	35.0	46.0	11.0	15.3	14.1	14.1	4.3	0.6	12.3	1.2	18.4	163
	無回答	44.4	38.9	38.9	33.3	11.1	11.1	0.0	5.6	0.0	0.0	11.1	11.1	18
中学校区別	大塚	44.7	49.1	54.1	17.6	18.2	13.8	13.2	3.1	0.6	9.4	2.5	7.5	159
	三谷	48.6	54.6	54.0	23.7	16.0	14.9	11.7	2.9	0.9	6.6	2.6	6.0	350
	蒲郡	48.9	53.2	52.4	22.6	25.5	12.7	12.5	3.8	0.6	6.0	1.9	4.8	521
	中部	47.1	54.9	48.2	22.6	17.8	13.4	10.6	5.3	1.4	7.2	1.4	5.6	359
	塩津	54.7	58.1	51.3	25.8	18.5	11.7	9.7	4.4	0.3	6.4	1.3	3.7	298
	形原	66.7	45.7	45.9	33.1	22.8	11.7	10.3	2.8	0.2	2.6	1.4	6.9	505
	西浦	80.3	40.8	48.7	43.4	17.8	7.9	7.9	3.3	0.0	0.7	0.7	3.9	152
	無回答	37.5	25.0	43.8	37.5	37.5	18.8	0.0	6.3	0.0	6.3	12.5	6.3	16

全体(MA)単位=%

問6-2. 今後の公共交通は、誰がどのように維持すべきか

- 「民間が維持できない部分は、「市」が代わりに、公共交通事業を行うべき（コミュニティバスや予約型タクシーなどの運行、タクシーチケットの配布などで対応）」が最も高く 47.0% を示し、次いで「わからない」14.6%、「現状のように運賃収入だけでは賄えない赤字分を行政が負担して、民間が維持すべき」12.4%と続く。
- 年齢別、居住地別でもほぼ同様の結果となった。

図表6-2-1 今後の公共交通は、誰がどのように維持すべきか



図表6-2-2 今後の公共交通は、誰がどのように維持すべきか（年齢別・居住地別）

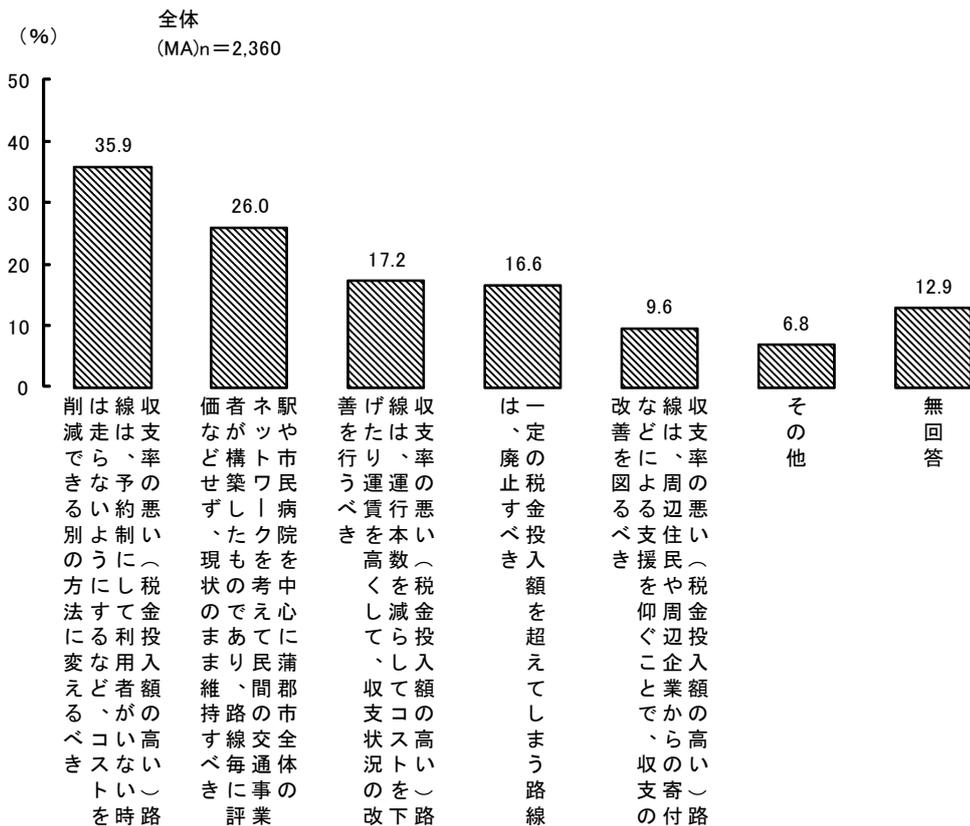
		バスや予約型の配布などで対応)	民間が維持できない部分は、「市」が代わり	現状のように運賃収入だけでは賄えない赤字	民間の事業なので、運賃収入でまかなえる範囲で、民間にまかせればよい（運賃収入で維持できないのなら廃止されてもしょうがない。行政負担すべきでない）	民間の事業なので、運賃収入でまかなえる範囲で、民間にまかせればよい（運賃収入で維持できないのなら廃止されてもしょうがない）	民間が主体となり、対応すべき	民間がやらない部分は、地域の助け合いの精神で、住民がボランティアで運転するなどの、「住地域」が困っている人を送迎するなど、「住	わからない	その他	無回答	件数
全 体		47.0	12.4	10.1	6.8	14.6	2.2	6.9	2,360			
年 齢 別	30歳未満	41.8	19.4	9.9	4.2	20.5	1.5	2.7	263			
	30歳代	45.9	15.3	11.8	8.6	13.7	2.7	2.0	255			
	40歳代	51.2	12.1	11.2	6.0	15.3	2.7	1.4	365			
	50歳代	55.6	11.9	9.8	5.4	10.8	2.2	4.3	369			
	60歳代	49.4	10.8	10.4	7.5	13.2	3.4	5.3	530			
	70歳代	42.8	9.6	9.8	7.1	14.1	1.3	15.4	397			
	80歳代以上	33.1	9.2	6.1	9.2	19.6	0.6	22.1	163			
	無回答	27.8	27.8	5.6	11.1	5.6	0.0	22.2	18			
中 学 校 区	大塚	48.4	8.8	8.8	5.7	16.4	3.1	8.8	159			
	三谷	44.0	13.1	10.9	6.6	14.9	2.9	7.7	350			
	蒲郡	46.3	12.3	12.3	7.5	12.7	2.7	6.3	521			
	中部	47.6	10.0	11.1	8.1	14.8	1.7	6.7	359			
	塩津	45.0	10.4	12.8	6.0	19.1	1.7	5.0	298			
	形原	50.1	13.9	6.3	6.5	13.5	1.6	8.1	505			
	西浦	48.7	17.8	7.2	5.3	14.5	2.6	3.9	152			
	無回答	37.5	31.3	6.3	6.3	0.0	6.3	12.5	16			

全体(MA)単位=%

問6-3. 路線ごとに投入する税金の額の違いについて

- 「収支率の悪い（税金投入額の高い）路線は、予約制にして利用者がいない時は走らないようにするなど、コストを削減できる別の方法に変えるべき」が最も高く 35.9%を示し、次いで「駅や市民病院を中心に蒲郡市全体のネットワークを考えて民間の交通事業者が構築したものであり、路線毎に評価などせず、現状のまま維持すべき」26.0%、「収支率の悪い（税金投入額の高い）路線は、運行本数を減らしてコストを下げたり運賃を高くして、収支状況の改善を行うべき」17.2%と続く。
- 年齢別では、60歳代までは「収支率の悪い（税金投入額の高い）路線は、予約制にして利用者がいない時は走らないようにするなど、コストを削減できる別の方法に変えるべき」が最も高い値を示すのに対し、70歳代以上は、「駅や市民病院を中心に蒲郡市全体のネットワークを考えて民間の交通事業者が構築したものであり、路線毎に評価などせず、現状のまま維持すべき」が最も高い値を示している。
- 居住地別では、大塚校区、三谷校区、蒲郡校区、中部校区、塩津校区は「収支率の悪い（税金投入額の高い）路線は、予約制にして利用者がいない時は走らないようにするなど、コストを削減できる別の方法に変えるべき」が最も高い値を示すのに対し、形原校区、西浦校区は「駅や市民病院を中心に蒲郡市全体のネットワークを考えて民間の交通事業者が構築したものであり、路線毎に評価などせず、現状のまま維持すべき」が最も高い値を示している。
- 高齢になるほど、また形原校区、西浦校区では現状維持を求める声が多い傾向にある。

図表6-3-1 路線ごとに投入する税金の額の違いについて



図表6-3-2 路線ごとに投入する税金の額の違いについて（年齢別・居住地別）

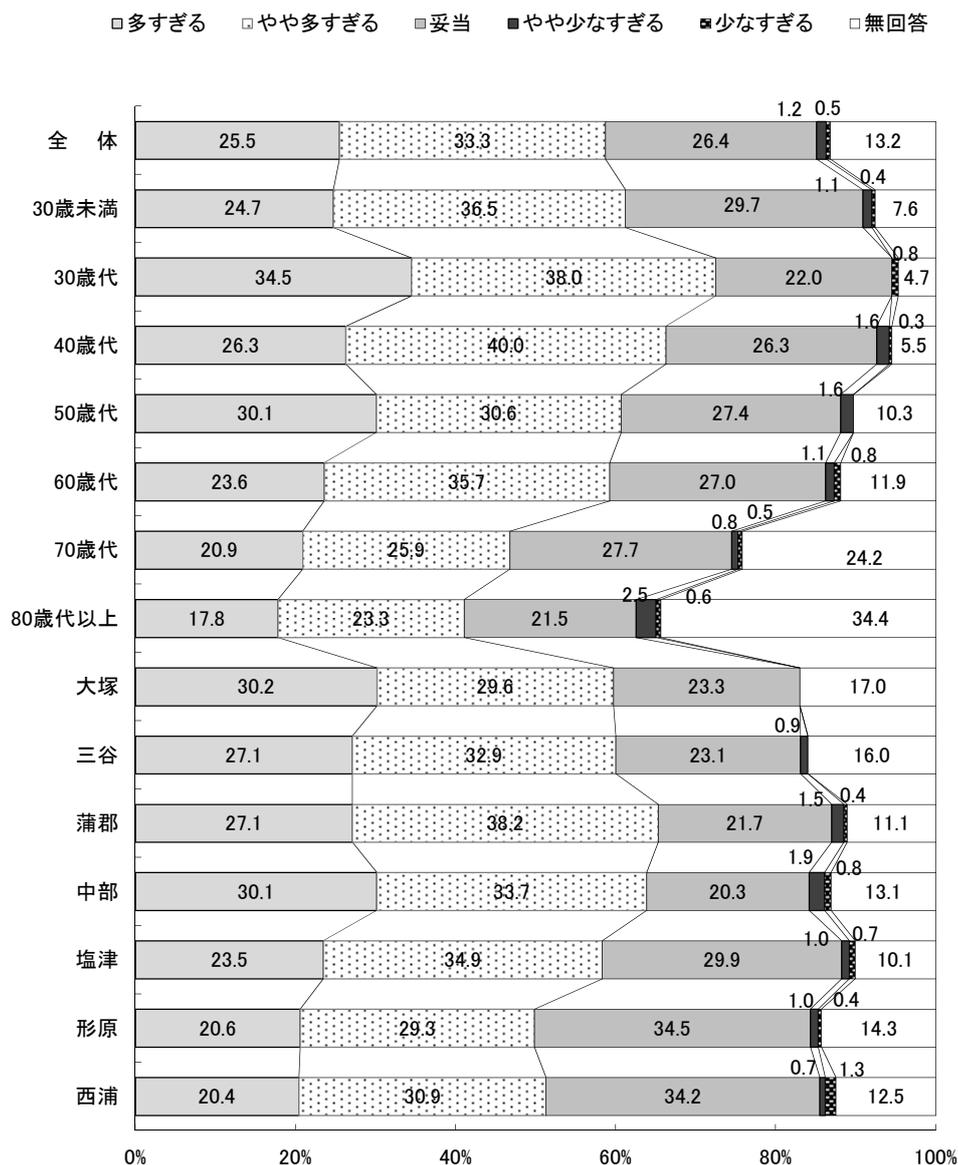
	に 変 え る べ き	予 約 制 に し て 利 用 者 が い な い 時 は 走 ら な い 方 法 よ	収 支 率 の 悪 い （ 税 金 投 入 額 の 高 い ） 路 線 は、	ま ま 維 持 す べ き	も の で あ り、 路 線 毎 に 評 価 な ど せ ず、 現 状 の	駅 や 市 民 病 院 を 中 心 に 蒲 郡 市 全 体 の ネ ッ ト	高 く し て、 収 支 状 況 の 改 善 を 行 う べ き	運 行 本 数 を 減 ら し て コ ス ト を 下 げ た り 運 賃 を	止 す べ き	一 定 の 税 金 投 入 額 を 超 え て し ま う 路 線 は、 廃	支 援 を 仰 ぐ こ と で、 収 支 の 改 善 を 図 る べ き	周 辺 住 民 や 周 辺 企 業 か ら の 寄 付 な ど に よ る 支	収 支 率 の 悪 い （ 税 金 投 入 額 の 高 い ） 路 線 は、	そ の 他	無 回 答	件 数
全 体	35.9	26.0	17.2	16.6	9.6	6.8	12.9	2,360								
年 齢 別	30歳未満	41.1	20.5	22.4	15.2	11.8	4.6	263								
	30歳代	40.8	18.8	23.1	23.5	7.8	4.7	255								
	40歳代	42.7	22.7	17.5	17.5	11.8	4.4	365								
	50歳代	37.7	21.4	18.4	13.6	9.5	8.9	369								
	60歳代	38.7	28.9	15.7	17.0	10.0	6.8	530								
	70歳代	23.9	35.3	12.6	16.4	8.3	4.0	397								
	80歳代以上	20.9	30.1	12.3	12.3	7.4	8.6	163								
	無回答	38.9	38.9	11.1	16.7	0.0	5.6	18								
中 学 校 区 別	大塚	32.7	22.6	13.2	17.6	6.9	15.7	159								
	三谷	37.7	23.4	18.3	18.9	9.1	15.7	350								
	蒲郡	41.1	19.6	18.0	16.7	9.8	6.9	521								
	中部	39.0	25.1	15.3	18.7	9.2	7.5	359								
	塩津	35.9	28.2	17.4	16.8	12.1	6.0	298								
	形原	30.5	30.7	18.6	14.1	10.5	7.7	505								
	西浦	29.6	38.8	13.8	13.2	7.2	4.6	152								
	無回答	25.0	31.3	25.0	18.8	0.0	0.0	16								

全体 (MA) 単位 = %

問6-4. 鉄道や路線バスを維持するための年間約1億1,400万円の税金投入について

○「やや多すぎる」が33.3%で最も高く、次いで「妥当」26.4%、「多すぎる」25.5%と続く。
 ○年齢別でも、ほぼ同様の傾向が見られる。
 ○居住地別では、大塚校区では「多すぎる」、三谷校区、蒲郡校区、中部校区、塩津校区では「やや多すぎる」、形原校区、西浦校区では「妥当」がそれぞれ最も高い値を示している。

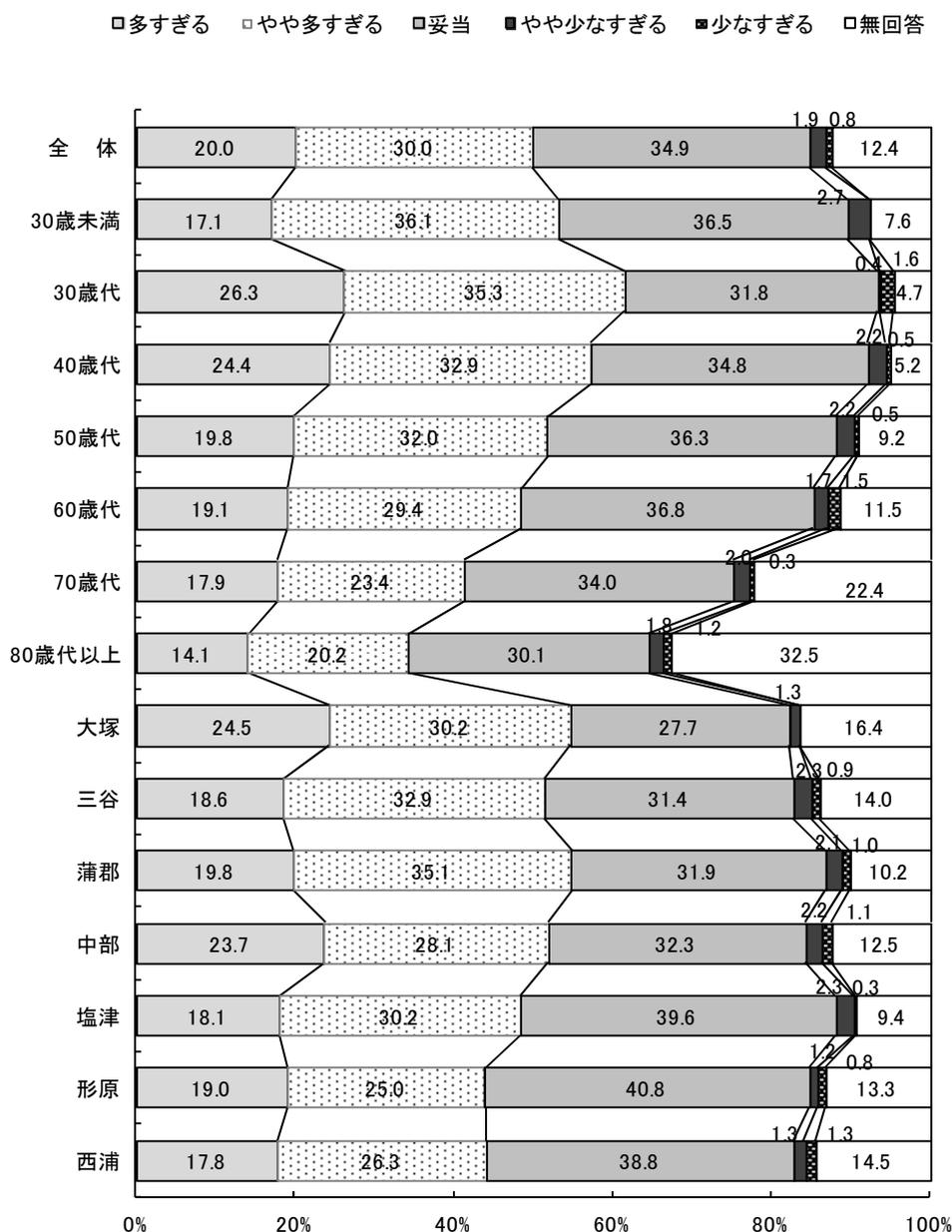
図表6-4-1 鉄道や路線バスを維持するための税金投入について（年齢別・居住地）



問6-5. 路線バスを維持するための年間約3,500万円の税金投入について

○「妥当」が34.9%で最も高く、次いで「やや多すぎる」30.0%、「多すぎる」20.0%と続く。
 ○年齢別でも、ほぼ同様の傾向が見られる。
 ○居住地別では、大塚校区、三谷校区、蒲郡校区では「やや多すぎる」、中部校区、塩津校区、形原校区、西浦校区では「妥当」が、それぞれ最も高い値を示している。

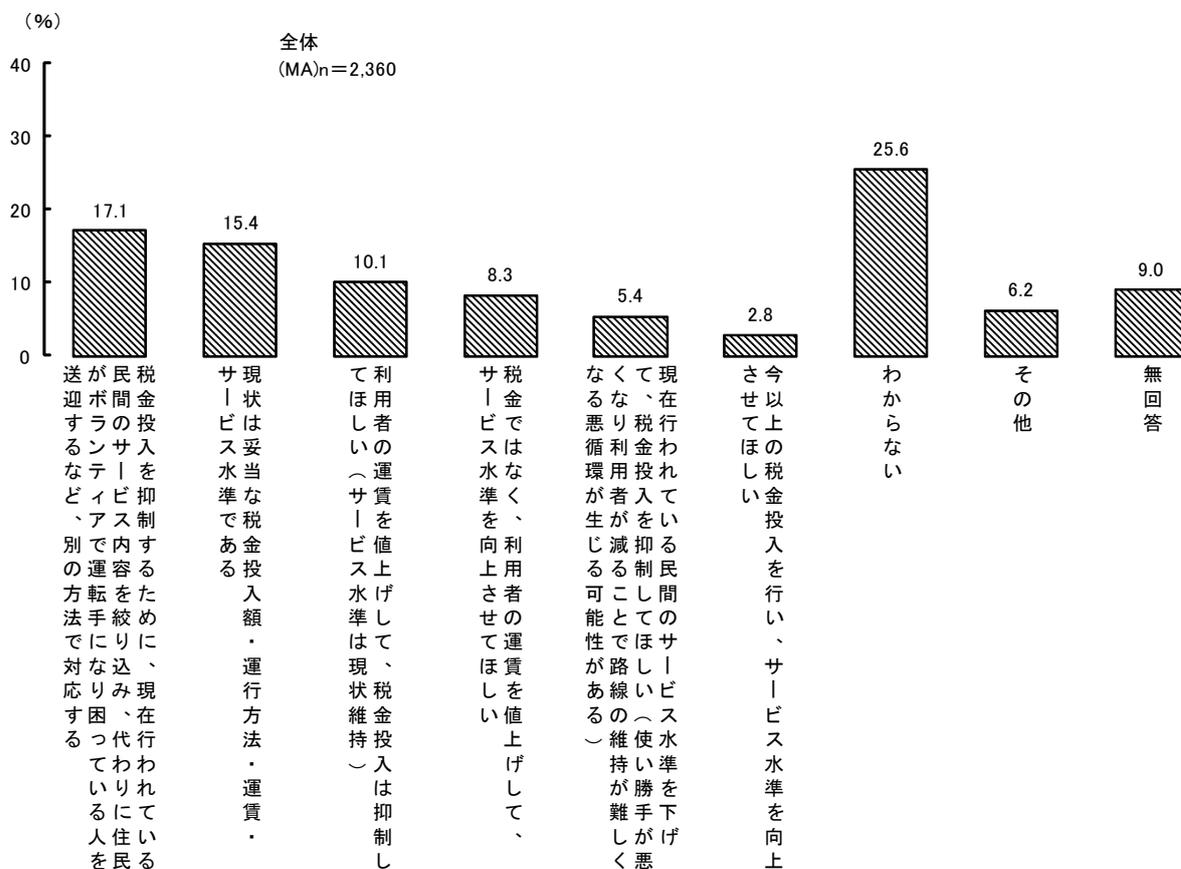
図表6-5-1 路線バスを維持するための年間約3,500万円の税金投入について
 (年齢別・居住地別)



問6-6. 今後の税金投入とこれからの公共交通サービスの水準のあり方について

- 「わからない」が最も高く 25.6%を示し、次いで「税金投入を抑制するために、現在行われている民間のサービス内容を絞り込み、代わりに住民がボランティアで運転手になり困っている人を送迎するなど、別の方法で対応する」17.1%、「現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である」15.4%、「利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい（サービス水準は現状維持）」10.1%と続く。
- 年齢別では、30歳未満、80歳代以上で「現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である」が比較的高い値を示している。
- 居住地別では、塩津校区、形原校区、西浦校区において「現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である」が比較的高い値を示している。

図表6-6-1 今後の税金投入とこれからの公共交通サービスの水準のあり方について



図表6-6-2 今後の税金投入とこれからの公共交通サービスの水準のあり方について
(年齢別・居住地別)

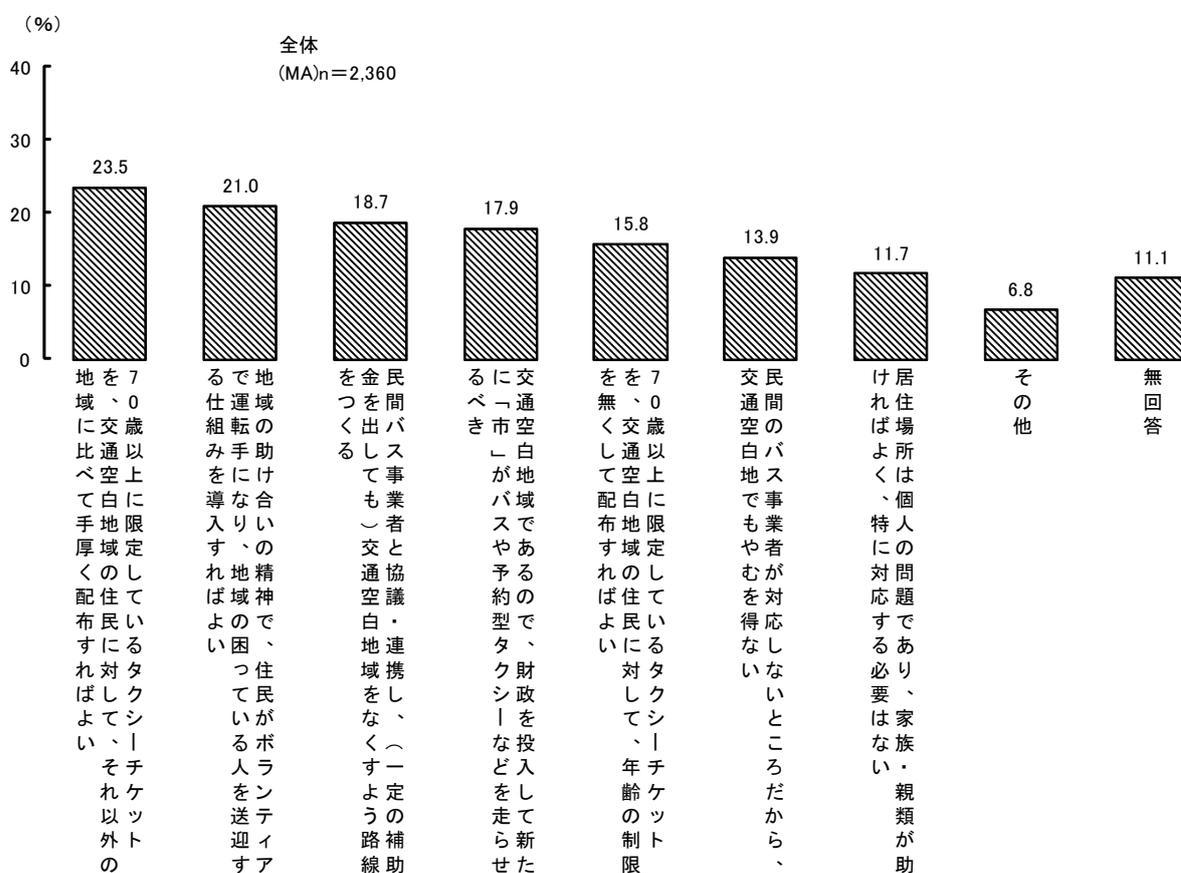
	税金投入を抑制するために、現在行われている民間サービスの内容を絞り込み、代わり住民が送迎するなどの方法で対応する	現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である	利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい(サービス水準は現状維持)	税金ではなく、利用者の運賃を値上げして、サービス水準を向上させてほしい	税金投入を減らすことで路線の維持が難しくなる悪循環が生じる可能性がある)	現在行われている民間サービスの水準を下げ、税金投入を抑制してほしい(使い勝手が悪くなり、利用者が減る可能性がある)	今以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させてほしい	わからない	その他	無回答	件数
全体	17.1	15.4	10.1	8.3	5.4	2.8	25.6	6.2	9.0	2,360	
年齢別	30歳未満	9.9	20.5	7.2	10.3	5.7	5.3	30.8	5.7	4.6	263
	30歳代	17.6	13.7	13.3	11.4	5.9	1.6	25.9	7.5	3.1	255
	40歳代	18.9	14.0	12.1	5.5	5.8	2.2	29.0	9.6	3.0	365
	50歳代	18.4	17.9	10.3	4.9	8.7	3.0	22.2	8.1	6.5	369
	60歳代	21.1	14.2	9.6	7.9	4.5	2.5	26.8	6.2	7.2	530
	70歳代	15.4	14.9	10.3	10.8	4.3	2.3	21.2	2.8	18.1	397
	80歳代以上	11.7	12.3	6.1	8.6	1.8	4.3	25.8	2.5	27.0	163
	無回答	22.2	22.2	5.6	11.1	5.6	5.6	5.6	0.0	22.2	18
中学校区	大塚	20.8	12.6	6.3	8.8	3.1	2.5	26.4	8.2	11.3	159
	三谷	15.4	12.0	12.0	10.9	4.6	1.4	25.7	6.3	11.7	350
	蒲郡	19.2	14.4	10.7	8.8	6.5	1.9	23.2	7.7	7.5	521
	中部	17.8	8.1	12.5	7.8	5.8	4.5	27.6	7.0	8.9	359
	塩津	14.8	18.5	9.7	10.1	5.7	2.0	29.2	3.4	6.7	298
	形原	16.6	20.8	9.5	5.3	5.5	3.2	24.6	5.0	9.5	505
	西浦	15.8	22.4	3.9	7.2	3.9	5.9	25.7	7.9	7.2	152
	無回答	6.3	25.0	12.5	6.3	6.3	6.3	12.5	0.0	25.0	16

全体(MA)単位=%

問6-7. 交通空白地に講じるべき対策

- 「70歳以上に限定しているタクシーチケットを、交通空白地域の住民に対して、それ以外の地域に比べて手厚く配布すればよい」が最も高く 23.5%を示し、次いで「地域の助け合いの精神で、住民がボランティアで運転手になり、地域の困っている人を送迎する仕組みを導入すればよい」21.0%、「民間バス事業者と協議・連携し、(一定の補助金を出しても)交通空白地域をなくすよう路線をつくる」18.7%と続く。
- 年齢別では、高齢になると「地域の助け合いの精神で、住民がボランティアで運転手になり、地域の困っている人を送迎する仕組みを導入すればよい」が比較的高くなる。
- 居住地別では、西浦校区において「交通空白地域であるので、財政を投入して新たに「市」がバスや予約型タクシーなどを走らせるべき」が 25.7%で最も高い値を示し、他校区との差異が見られる。

図表6-7-1 交通空白地に講じるべき対策



図表6-7-2 交通空白地に講じるべき対策（年齢別・居住地別）

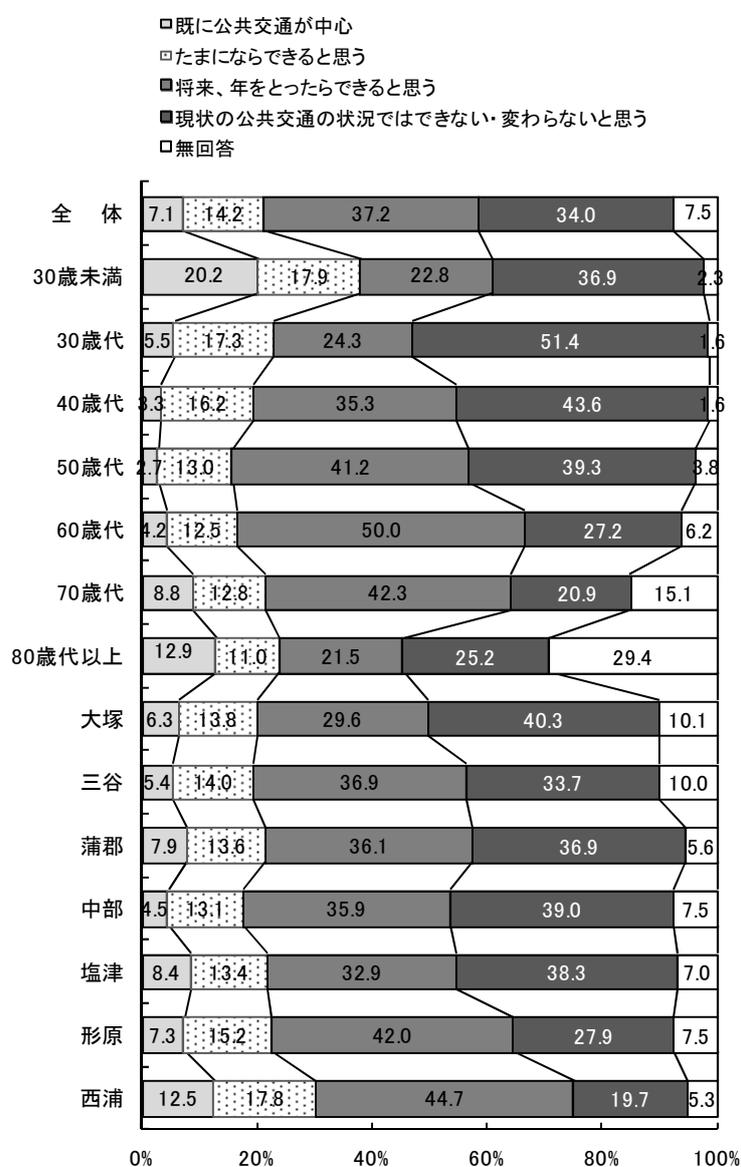
		厚く空白地域に配布すればよい	70歳以上に限定しているタクシードライバーを、交通空白地域の住民に対して、それ以外の地域に比べて手厚く配布すればよい	地域の助け合いの精神で、住民がボランティアで運転手になり、地域の困っている人を送迎する仕組みを導入すればよい	民間バス事業者と協議・連携し、（一定の補助金を出しても）交通空白地域をなくすよう路線をつくる	「交通空白地域であるので、財政を投入して新たに「市」がバスや予約型タクシーなどを走らせるべき	70歳以上に限定しているタクシードライバーを、交通空白地域の住民に対して、年齢の制限を無くして配布すればよい	民間のバス事業者が対応しないところだから、交通空白地でもやむを得ない	居住場所は個人の問題であり、家族・親類が助けられればよく、特に対応する必要はない	その他	無回答	件数
全体		23.5	21.0	18.7	17.9	15.8	13.9	11.7	6.8	11.1	2,360	
年齢別	30歳未満	26.2	13.7	17.1	16.0	19.0	17.9	9.9	5.7	6.5	263	
	30歳代	25.5	20.0	19.6	20.4	14.9	14.1	17.3	5.5	3.5	255	
	40歳代	26.6	20.0	17.8	18.4	16.7	17.0	11.8	7.1	2.7	365	
	50歳代	24.4	20.6	19.2	16.5	15.7	15.2	9.8	8.9	6.0	369	
	60歳代	19.8	25.3	19.4	19.8	14.0	12.8	10.2	8.5	11.7	530	
	70歳代	25.4	21.9	19.4	18.4	16.4	9.8	12.6	4.8	20.2	397	
	80歳代以上	15.3	20.2	17.8	12.3	14.7	11.0	11.0	4.3	35.6	163	
	無回答	16.7	33.3	5.6	11.1	11.1	11.1	22.2	5.6	22.2	18	
中学校区別	大塚	22.0	19.5	15.1	19.5	20.1	10.7	8.8	5.7	17.0	159	
	三谷	22.9	20.6	16.0	16.0	11.7	12.9	13.1	7.4	14.6	350	
	蒲郡	24.4	20.9	18.0	15.2	15.2	15.0	12.5	7.1	9.0	521	
	中部	25.9	21.7	20.3	19.5	19.2	16.4	12.5	7.0	8.9	359	
	塩津	21.8	23.2	18.8	15.8	14.8	10.7	12.4	5.7	9.1	298	
	形原	25.1	18.8	21.4	19.2	16.0	15.4	10.9	7.1	10.7	505	
	西浦	18.4	24.3	18.4	25.7	16.4	10.5	7.2	5.9	13.2	152	
	無回答	0.0	31.3	12.5	18.8	6.3	18.8	12.5	6.3	25.0	16	

全体(MA)単位=%

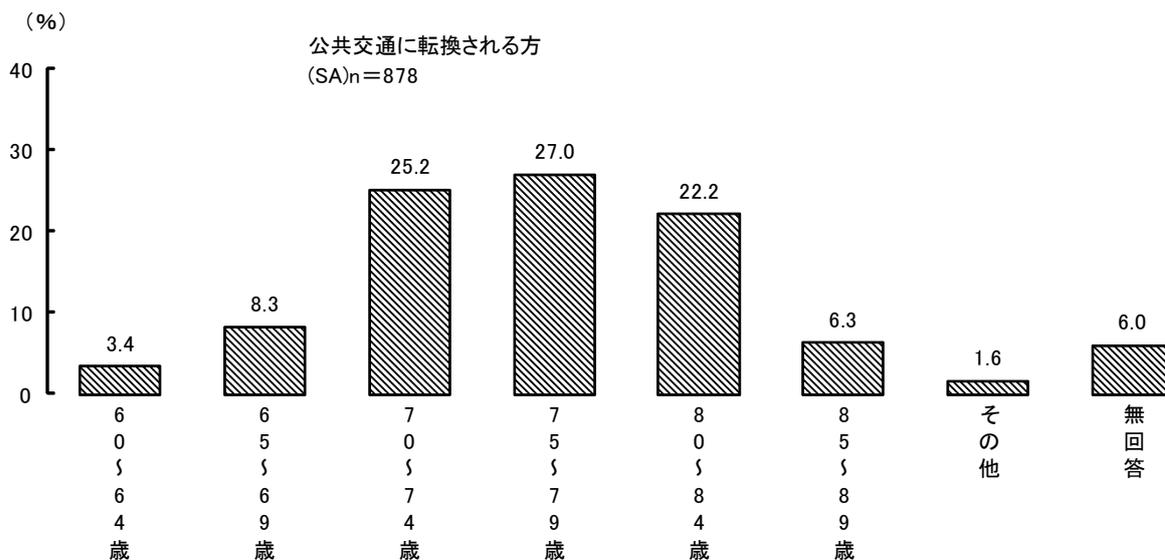
問6-8. 自家用車中心の生活から公共交通中心の生活への転換について

- 「将来、年をとったらできると思う」が最も高く 37.2%を示し、次いで「現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う」34.0%と続く。
- 年齢別では、40歳代までは「現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う」の割合が高いことがわかる。
- 居住地別では、三谷校区、形原校区、西浦校区では「将来、年をとったらできると思う」が最も高い値を示している。
- 公共交通に転換する年齢は、「75歳～79歳」27.0%、「70～74歳」25.2%、「80～84歳」22.2%に集中していることがわかる。また、若い世代ほど、公共交通への転換を考える年齢が低く、一方で高齢ほど、転換年齢も高いことがわかる。将来的には、免許を返納する意思はあるものの、現状では、免許が手放せない実態が想起される。

図表6-8-1 自家用車中心の生活から公共交通中心の生活への転換について
(年齢別・居住地別)



図表 6-8-2 何歳になったら公共交通に転換しようと思うか



図表 6-8-3 何歳になったら公共交通に転換しようと思うか (年齢別・居住地別)

		60歳	65歳	70歳	75歳	80歳	85歳	その他	無回答	件数
全体		3.4	8.3	25.2	27.0	22.2	6.3	1.6	6.0	878
年齢別	30歳未満	6.7	20.0	38.3	15.0	8.3	3.3	0.0	8.3	60
	30歳代	12.9	17.7	30.6	12.9	12.9	0.0	6.5	6.5	62
	40歳代	11.6	17.1	31.0	21.7	10.1	2.3	2.3	3.9	129
	50歳代	1.3	9.2	42.1	25.7	14.5	0.0	0.7	6.6	152
	60歳代	0.0	4.5	24.2	38.9	23.0	2.3	1.1	6.0	265
	70歳代	0.0	0.6	6.0	26.2	44.0	15.5	1.2	6.5	168
	80歳代以上	2.9	0.0	0.0	11.4	28.6	51.4	2.9	2.9	35
	無回答	0.0	14.3	14.3	28.6	28.6	0.0	0.0	14.3	7
中学校区別	大塚	2.1	4.3	17.0	27.7	21.3	12.8	6.4	8.5	47
	三谷	3.1	7.0	27.1	30.2	19.4	7.8	0.0	5.4	129
	蒲郡	2.7	8.5	28.2	26.6	21.8	3.7	1.6	6.9	188
	中部	1.6	4.7	27.1	24.0	23.3	10.9	2.3	6.2	129
	塩津	3.1	8.2	28.6	25.5	23.5	4.1	1.0	6.1	98
	形原	5.7	9.4	22.2	28.8	24.1	3.3	1.4	5.2	212
	西浦	4.4	16.2	22.1	23.5	19.1	7.4	1.5	5.9	68
	無回答	0.0	14.3	0.0	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0	7

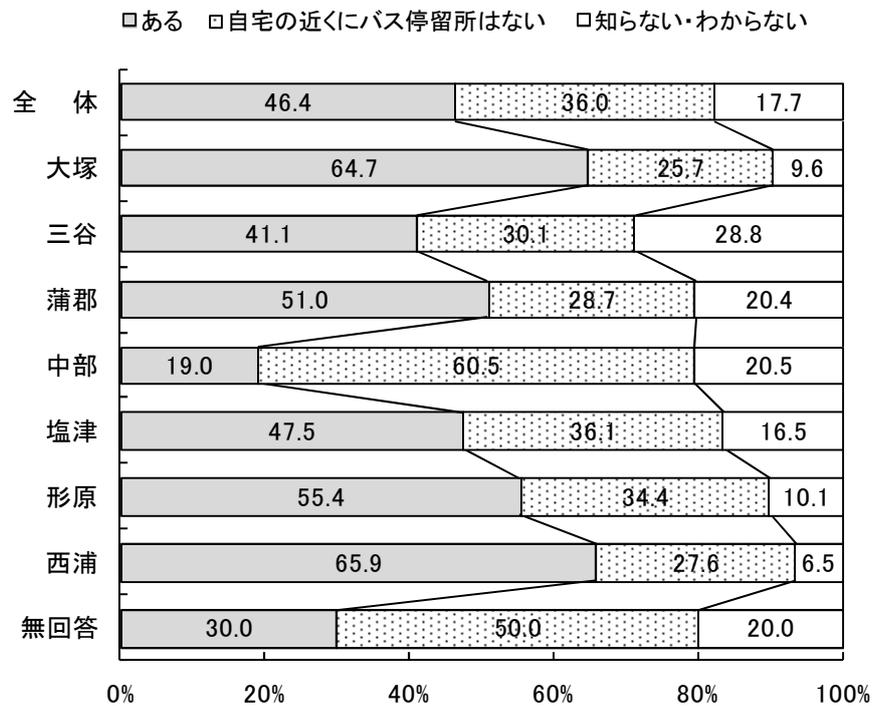
全体 (SA) 単位 = %

問7. バスを全く利用しない人の理由、利用可能性について

問7-1. 居住地近くにおけるバス停留所の有無

○「ある」が46.4%、「自宅の近くにはバス停留所はない」が36.0%を示している。
 ○居住地別に見ると、大塚校区、西浦校区では「ある」が6割を超える一方で、中部校区は「ある」が19%に留まる。

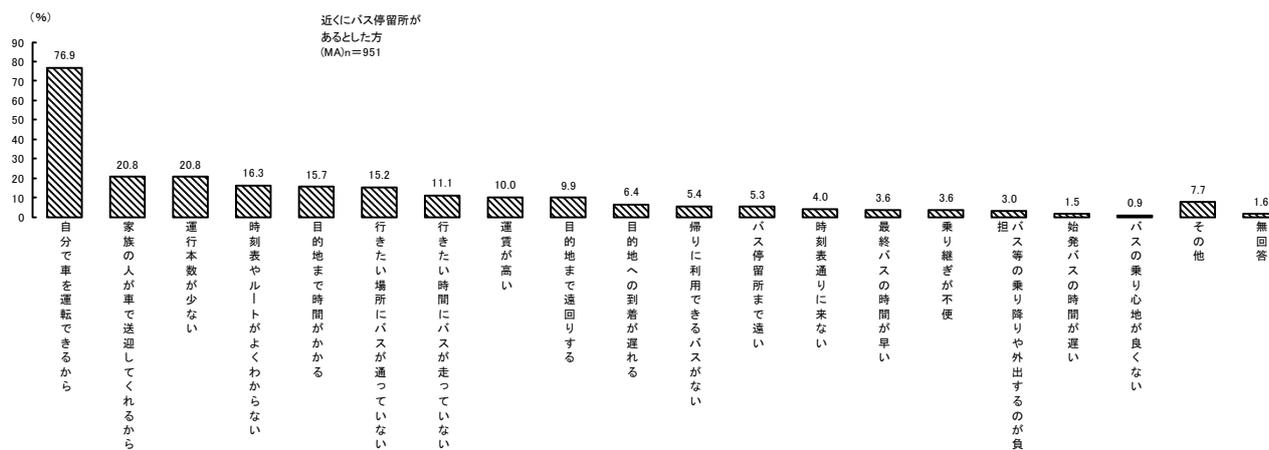
図表7-1 居住地近くにおけるバス停留所の有無（居住地別）



問7-2. 近くにバス停留所がある人で、バスを利用しない理由

- 「自分で運転が出来るから」が最も高く 76.9%、次いで「家族の人が来るまで送迎してくれるから」「運行本数が少ないから」がともに20.8%で続く。
- 年齢別では、30～70歳代は「自分で運転が出来るから」、それ以外は「家族の人が車で送迎してくれるから」が最も高い値を示し、いずれも自家用車の利便性を選択していることがわかる。
- 居住地別に見ると、いずれの校区も、「自分で車を運転できるから」が最も高い値を示している中、大塚校区では「運行本数が少ない」が30.7%、中部校区では「時刻表やルートがよくわからない」が22.2%を示していることが特徴的である。

図表7-2-1 近くにバス停留所がある人で、バスを利用しない理由



図表7-2-2 近くにバス停留所がある人で、バスを利用しない理由（年齢別・居住地別）

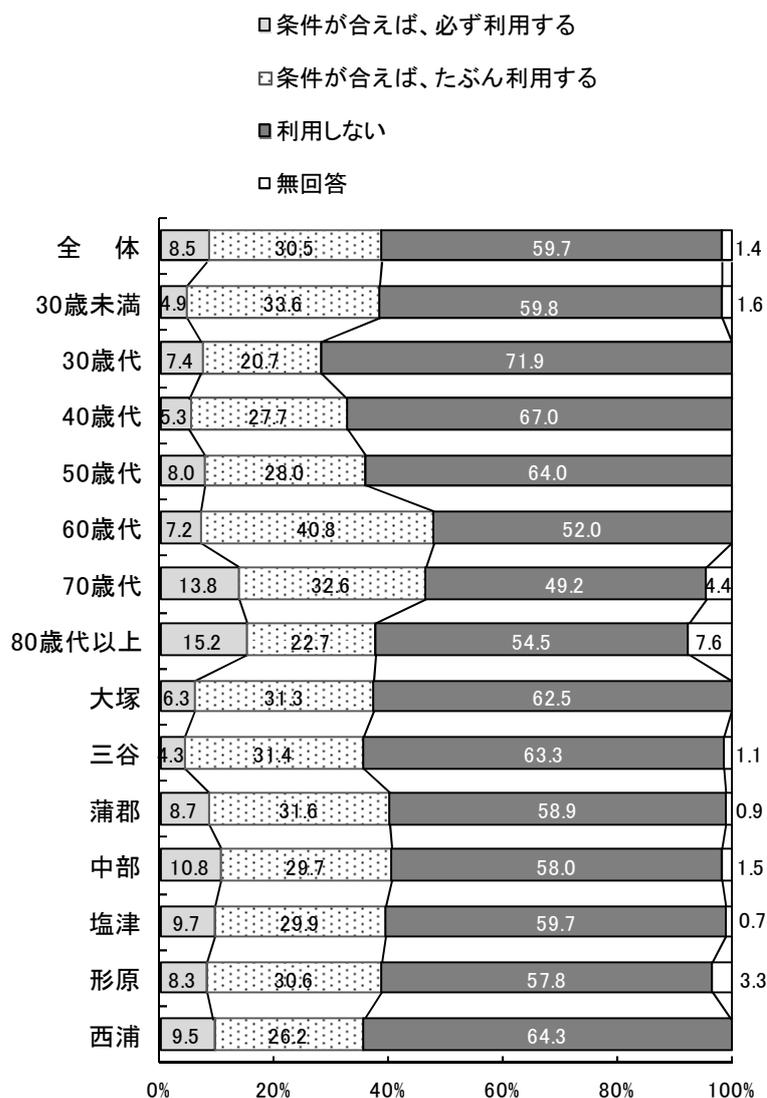
	自分で車を運転できるから	家族の人が車で送迎してくれるから	運行本数が少ない	時刻表やルートがよくわからない	目的地まで時間がかかる	行きたい場所にバスが通っていない	行きたい時間にバスが走っていない	運賃が高い	目的地まで遠回りする	目的地への到着が遅れる	帰りに利用できるバスがない	バス停留所まで遠い	時刻表通りに来ない	最終バスの時間が早い	乗り継ぎが不便	バス等の乗り降りや外出するのが負担	始発バスの時間が遅い	バスの乗り心地が良くない	その他	無回答	件数	
全体	76.9	20.8	20.8	16.3	15.7	15.2	11.1	10.0	9.9	6.4	5.4	5.3	4.0	3.6	3.6	3.0	1.5	0.9	7.7	1.6	951	
年齢別	30歳未満	54.8	32.3	12.9	21.0	13.7	14.5	11.3	13.7	11.3	7.3	3.2	4.8	1.6	2.4	3.2	4.0	0.8	1.6	16.9	0.0	124
	30歳代	90.4	15.4	22.1	23.1	20.2	16.3	7.7	8.7	16.3	5.8	4.8	3.8	4.8	2.9	5.8	3.8	0.0	1.9	8.7	0.0	104
	40歳代	87.4	13.9	21.2	17.9	15.9	15.2	11.9	10.6	7.9	7.3	6.0	5.3	4.0	7.3	2.0	2.0	2.6	0.0	11.9	0.0	151
	50歳代	88.2	11.8	32.5	20.1	24.9	21.3	15.4	9.5	10.1	8.9	7.7	7.1	4.1	4.7	2.4	3.6	2.4	0.6	4.7	0.6	169
	60歳代	84.8	18.0	22.1	12.0	12.9	13.4	10.6	8.3	10.1	5.5	5.1	5.1	4.1	3.2	5.1	0.9	0.9	0.0	5.1	1.4	217
	70歳代	63.0	29.9	14.2	11.8	11.0	10.2	11.8	13.4	7.1	4.7	7.1	4.7	7.1	0.8	3.1	1.6	2.4	1.6	2.4	3.9	127
	80歳以上	38.2	41.8	9.1	5.5	3.6	16.4	3.6	1.8	3.6	3.6	0.0	5.5	0.0	1.8	3.6	12.7	0.0	3.6	3.6	9.1	55
	無回答	75.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	4
中学校区別	大塚	80.7	12.5	30.7	18.2	17.0	17.0	13.6	6.8	12.5	2.3	4.5	3.4	2.3	5.7	2.3	1.1	1.1	0.0	5.7	0.0	88
	三谷	72.5	26.7	23.7	19.8	11.5	19.1	14.5	4.6	9.2	4.6	6.1	6.1	2.3	3.8	4.6	1.5	0.0	6.9	1.5	131	
	蒲郡	73.3	20.0	20.0	18.8	10.4	19.6	12.5	10.4	11.7	6.7	8.3	5.4	2.5	4.2	3.8	3.3	1.7	0.8	9.6	1.7	240
	中部	76.2	19.0	19.0	22.2	12.7	11.1	9.5	6.3	7.9	1.6	0.0	7.9	4.8	3.2	1.6	1.6	0.0	0.0	11.1	3.2	63
	塩津	77.7	19.8	20.7	11.6	16.5	15.7	7.4	7.4	8.3	5.8	1.7	7.4	4.1	0.8	3.3	4.1	0.8	2.5	4.1	0.8	121
	形原	80.8	22.3	20.5	14.3	23.7	11.2	9.8	12.9	7.6	9.4	6.3	4.5	4.0	5.4	5.4	2.7	2.2	1.8	5.8	1.8	224
	西浦	80.2	22.2	11.1	8.6	16.0	8.6	9.9	19.8	13.6	9.9	3.7	2.5	6.2	1.2	1.2	2.5	1.2	0.0	13.6	0.0	81
	無回答	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	3

近くにバス停留所があるとした方 (MA) 単位=%

問7-3. 自宅近くにバス（路線）が運行された際の利用

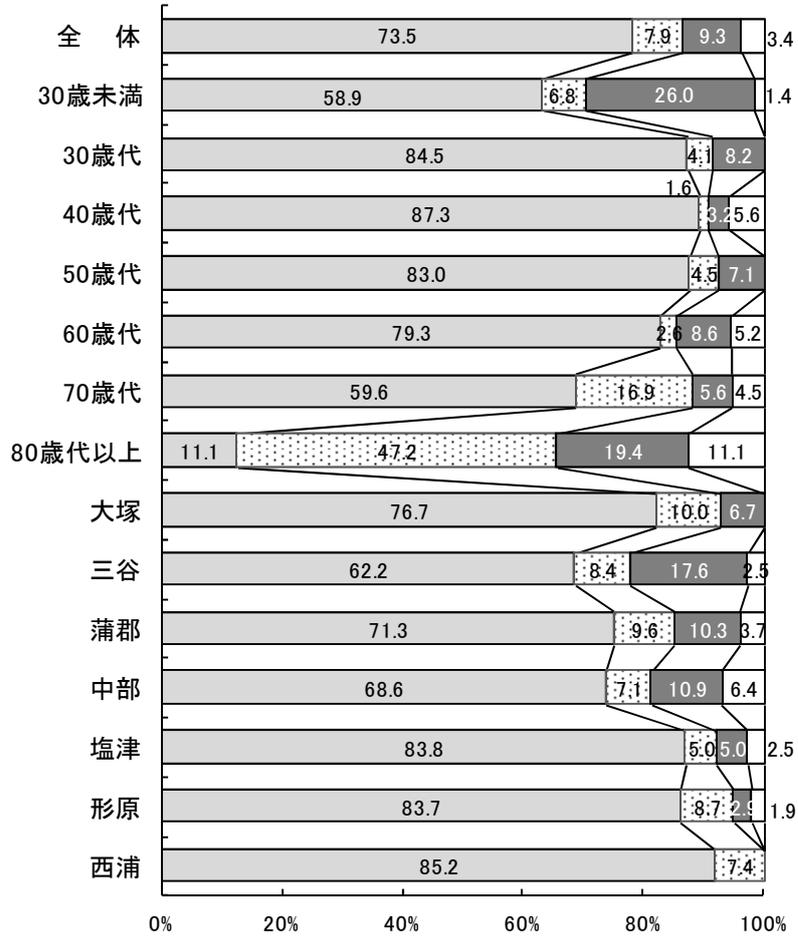
- 「利用しない」が 59.7%で最も高く、次いで「条件が合えばたぶん利用する」が 30.5%を示す。
- 年齢別では、30～50歳代は特に「利用しない」の割合が高い。
- 「利用しない理由」は、「自家用車での移動を優先する」が最も高く 73.5%を示している。年齢別では、高齢ほど「家族の人が車で送迎してくれる」の値が高く、30歳未満、80歳代以上では「徒歩や自転車がある」も比較的高い値を示している。

図表7-3-1 自宅近くにバス（路線）が運行された際の利用（年齢別・居住地別）



図表 7-3-2 利用しない理由（年齢別・居住地別）

- 自家用車での移動を優先する
- 家族の人が車で送迎してくれる
- 徒歩や自転車がある
- その他

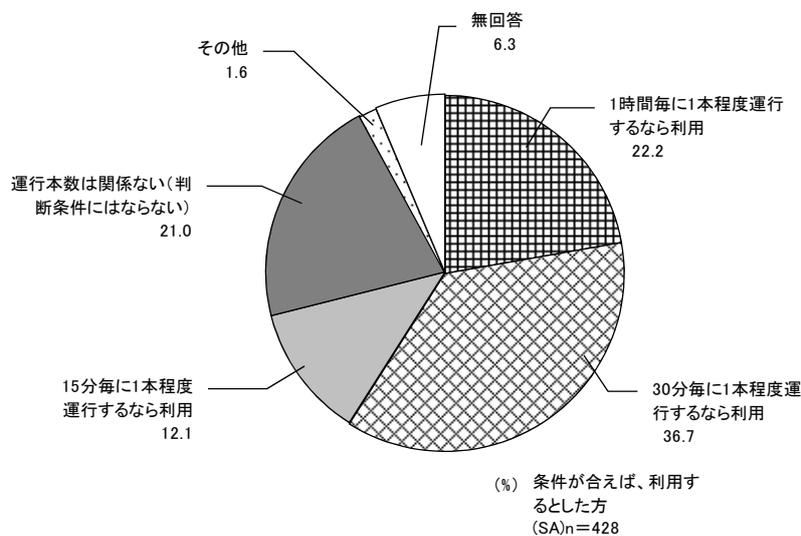


問7-4. 条件があれば利用する人について

(1) 運行本数に関する条件

- 「30分毎に1本程度運行するなら利用」が最も高く36.7%を示し、次いで「1時間毎に1本程度運行するなら利用」22.2%、「運行本数は関係ない(判断条件にはならない)」21.0%と続く。
- 年齢別に見ると、80歳代以上は「1時間毎に1本程度運行するなら利用」が最も高く、30～60歳代は「運行本数は関係ない(判断条件にはならない)」の割合が比較的高くなっている。
- 自家用車を運転する層については、運行本数はバスを利用するための判断材料にはなっていない。

図表7-4-1-1 運行本数に関する条件



図表7-4-1-2 運行本数に関する条件（年齢別・居住地別）

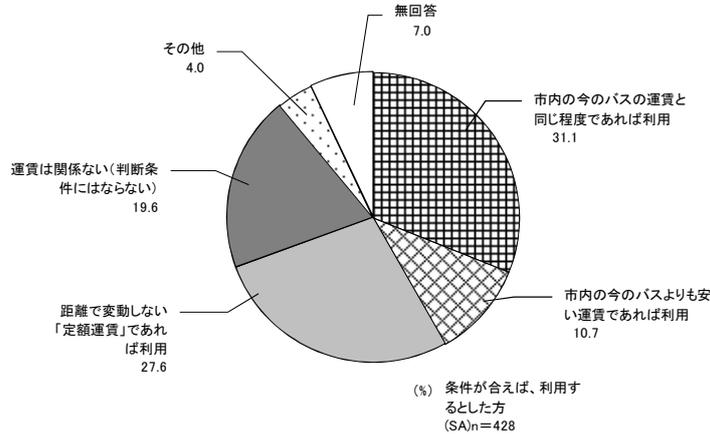
		運1 行時 間 す る 毎 に ら 1 利 本 用 程 度	運3 行0 分 す る 毎 に ら 1 利 本 用 程 度	運1 行5 分 す る 毎 に ら 1 利 本 用 程 度	な い （ 運 行 本 数 は 関 係 な い ）	そ の 他	無 回 答	件 数
全 体		22.2	36.7	12.1	21.0	1.6	6.3	428
年 齢 別	30歳未満	17.0	38.3	25.5	8.5	4.3	6.4	47
	30歳代	2.6	50.0	5.3	36.8	2.6	2.6	38
	40歳代	11.3	37.1	25.8	25.8	0.0	0.0	62
	50歳代	20.6	36.5	14.3	22.2	1.6	4.8	63
	60歳代	24.3	38.3	6.5	25.2	0.0	5.6	107
	70歳代	29.8	36.9	6.0	14.3	2.4	10.7	84
	80歳代以上	60.0	8.0	4.0	8.0	4.0	16.0	25
	無回答	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	2
中 学 校 区 別	大塚	16.7	50.0	0.0	22.2	5.6	5.6	18
	三谷	23.9	35.8	17.9	14.9	3.0	4.5	67
	蒲郡	17.2	43.0	11.8	23.7	1.1	3.2	93
	中部	28.4	35.8	11.9	15.6	0.9	7.3	109
	塩津	24.5	34.0	5.7	28.3	1.9	5.7	53
	形原	18.6	31.4	14.3	24.3	0.0	11.4	70
	西浦	20.0	33.3	20.0	20.0	0.0	6.7	15
	無回答	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	3

条件が合えば、利用するとした方(SA)単位＝%

(2) 運賃に関する条件

- 「市内の今のバスの運賃と同じ程度であれば利用」が最も高く 31.1%を示し、次いで「距離で変動しない「定額運賃」であれば利用」27.6%、「運賃は関係ない(判断条件にはならない)」19.6%と続く。
- 居住地別に見ると、蒲郡校区と形原校区がともに「距離で変動しない「定額運賃」であれば利用」が最も高い値を示しているのが特徴的である。

図表 7-4-2-1 運賃に関する条件



図表 7-4-2-2 運賃に関する条件 (年齢別・居住地別)

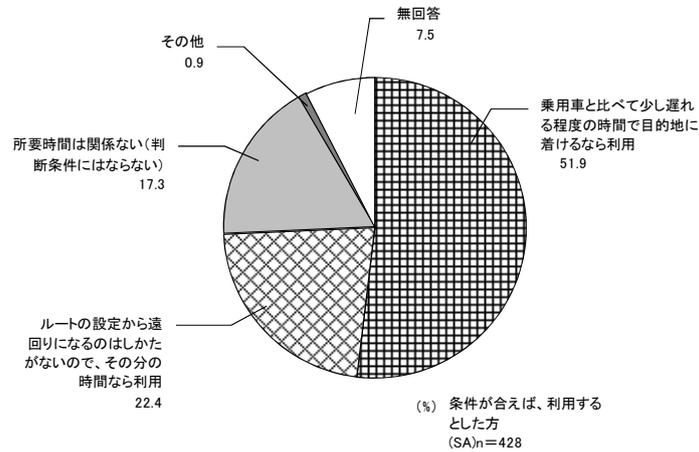
	市内の今のバスの運賃と同じ程度であれば利用	市内の今のバスよりも安い運賃であれば利用	距離で変動しない「定額運賃」であれば利用	運賃は関係ない(判断条件にはならない)	その他	無回答	件数
全体	31.1	10.7	27.6	19.6	4.0	7.0	428
年齢別	30歳未満	34.0	25.5	23.4	8.5	2.1	47
	30歳代	44.7	7.9	34.2	10.5	0.0	38
	40歳代	29.0	8.1	29.0	21.0	9.7	62
	50歳代	38.1	15.9	22.2	15.9	4.8	63
	60歳代	26.2	8.4	29.0	26.2	2.8	107
	70歳代	22.6	7.1	29.8	23.8	3.6	84
	80歳代以上	44.0	4.0	20.0	20.0	4.0	25
	無回答	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
中学校区別	大塚	38.9	5.6	27.8	16.7	5.6	18
	三谷	31.3	11.9	28.4	13.4	9.0	67
	蒲郡	23.7	10.8	31.2	23.7	5.4	93
	中部	40.4	5.5	29.4	15.6	1.8	109
	塩津	32.1	7.5	22.6	26.4	1.9	53
	形原	22.9	18.6	27.1	20.0	1.4	70
	西浦	33.3	26.7	6.7	26.7	6.7	15
	無回答	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0

条件が合えば、利用するとした方(SA)単位=%

(3) 目的地までの所要時間に関する条件

○「乗用車と比べて少し遅れる程度の時間で目的地に着けるなら利用」が最も高く 51.9%を示し、次いで「ルートの設定から遠回りになるのはしかたがないので、その分の時間なら利用」22.4%、「所要時間は関係ない（判断条件にはならない）」17.3%と続く。

図表 7-4-3-1 目的地までの所要時間に関する条件



図表 7-4-3-2 目的地までの所要時間に関する条件（年齢別・居住地別）

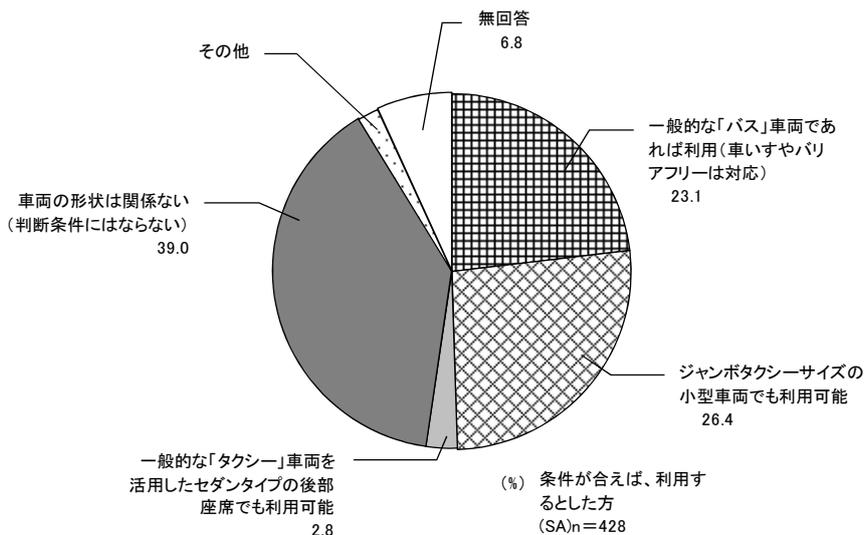
	乗用車と比べて少し遅れる程度の時間で目的地に着けるなら利用	ルートの設定から遠回りになるのはしかたがないので、その分の時間なら利用	所要時間は関係ない（判断条件にはならない）	その他	無回答	件数	
全 体	51.9	22.4	17.3	0.9	7.5	428	
年 齢 別	30歳未満	63.8	23.4	8.5	0.0	4.3	47
	30歳代	55.3	15.8	26.3	0.0	2.6	38
	40歳代	45.2	29.0	22.6	1.6	1.6	62
	50歳代	57.1	23.8	15.9	0.0	3.2	63
	60歳代	49.5	21.5	17.8	0.9	10.3	107
	70歳代	48.8	19.0	16.7	2.4	13.1	84
	80歳代以上	52.0	24.0	12.0	0.0	12.0	25
	無回答	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	2
中 学 校 区 別	大塚	55.6	11.1	22.2	5.6	5.6	18
	三谷	50.7	22.4	19.4	1.5	6.0	67
	蒲郡	57.0	23.7	14.0	1.1	4.3	93
	中部	48.6	24.8	17.4	0.0	9.2	109
	塩津	54.7	20.8	15.1	1.9	7.5	53
	形原	50.0	18.6	20.0	0.0	11.4	70
	西浦	46.7	33.3	13.3	0.0	6.7	15
	無回答	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	3

条件が合えば、利用するとした方 (SA) 単位

(4) 車両の形状に関する条件

- 「車両の形状は関係ない(判断条件にはならない)」が最も高く 39.0%を示し、次いで「ジャンボタクシーサイズの小型車両でも利用可能」26.4%、「一般的な「バス」車両であれば利用(車いすやバリアフリーは対応)」23.1%と続く。
- 年齢別に見ると、70歳代、80歳代以上は「ジャンボタクシーサイズの小型車両でも利用可能」の割合が最も高いことがわかる。
- 居住地別では、大塚校区、西浦校区で「ジャンボタクシーサイズの小型車両でも利用可能」の割合が比較的高い。

図表 7-4-4-1 車両の形状に関する条件



図表7-4-4-2 車両の形状に関する条件（年齢別・居住地別）

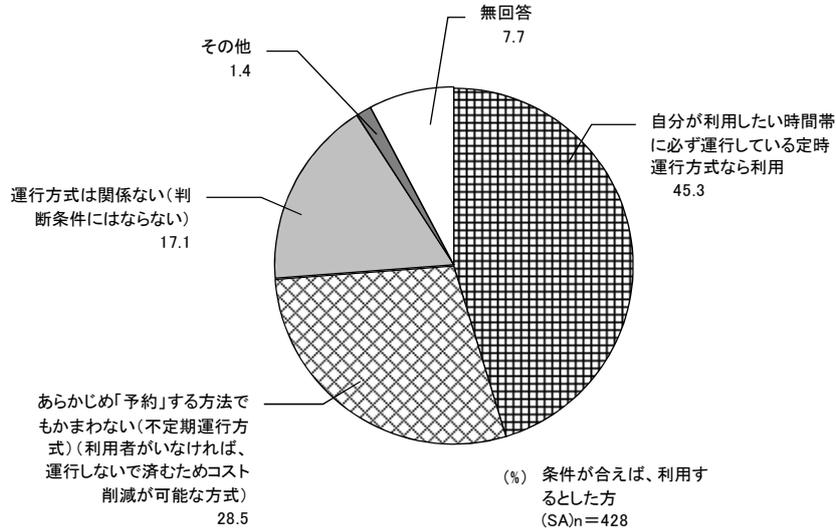
		（一般的な「バス」車両であれば対応）	ジャンボタクシーサイズの小型車両でも利用可能	一般的な「タクシー」の後部座席でも利用可能	車両の形状は関係ない（判断条件にはならない）	その他	無回答	件数
全 体		23.1	26.4	2.8	39.0	1.9	6.8	428
年 齢 別	30歳未満	29.8	25.5	4.3	36.2	0.0	4.3	47
	30歳代	39.5	10.5	5.3	44.7	0.0	0.0	38
	40歳代	17.7	16.1	3.2	61.3	0.0	1.6	62
	50歳代	20.6	33.3	1.6	38.1	1.6	4.8	63
	60歳代	18.7	29.0	2.8	43.0	1.9	4.7	107
	70歳代	21.4	32.1	1.2	25.0	4.8	15.5	84
	80歳代以上	28.0	32.0	4.0	16.0	4.0	16.0	25
	無回答	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
中 学 校 区 別	大塚	11.1	38.9	11.1	33.3	0.0	5.6	18
	三谷	22.4	23.9	1.5	41.8	4.5	6.0	67
	蒲郡	24.7	24.7	3.2	41.9	1.1	4.3	93
	中部	18.3	33.0	2.8	40.4	0.0	5.5	109
	塩津	24.5	17.0	1.9	45.3	3.8	7.5	53
	形原	25.7	21.4	2.9	34.3	2.9	12.9	70
	西浦	40.0	40.0	0.0	13.3	0.0	6.7	15
	無回答	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3

条件が合えば、利用するとした方(SA)単位=%

(5) 運行方式に関する条件

- 「自分が利用したい時間帯に必ず運行している定時運行方式なら利用」が最も高く 45.3%を示し、次いで「あらかじめ「予約」する方法でもかまわない(不定期運行方式)」28.5%、「運行方式は関係ない(判断条件にはならない)」17.1%と続く。
- 年齢別での大きな差異は見られず、居住地別では、大塚校区のみ「あらかじめ「予約」する方法でもかまわない(不定期運行方式)」が最も高い値を示している。

図表 7-4-5-1 運行方式に関する条件



図表7-4-5-2 運行方式に関する条件（年齢別・居住地別）

		自分が利用したい時間帯に必ず運行している	あらかじめ「予約」する（不定期運行方式）（利用者でもかまわれない）（判断条件にはならない）	その他	無回答	件数	
全 体		45.3	28.5	17.1	1.4	7.7	428
年 齢 別	30歳未満	48.9	29.8	14.9	0.0	6.4	47
	30歳代	39.5	36.8	23.7	0.0	0.0	38
	40歳代	40.3	30.6	25.8	1.6	1.6	62
	50歳代	47.6	28.6	19.0	0.0	4.8	63
	60歳代	42.1	31.8	18.7	1.9	5.6	107
	70歳代	46.4	25.0	9.5	2.4	16.7	84
	80歳代以上	64.0	8.0	4.0	4.0	20.0	25
	無回答	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2
中 学 校 区 別	大塚	22.2	61.1	5.6	5.6	5.6	18
	三谷	43.3	25.4	16.4	3.0	11.9	67
	蒲郡	47.3	32.3	17.2	0.0	3.2	93
	中部	45.9	26.6	20.2	1.8	5.5	109
	塩津	39.6	28.3	20.8	1.9	9.4	53
	形原	52.9	21.4	12.9	0.0	12.9	70
	西浦	46.7	26.7	20.0	0.0	6.7	15
	無回答	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	3

条件が合えば、利用するとした方(SA)単位=%

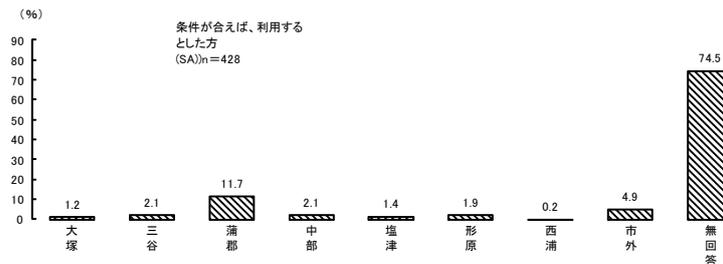
(6) バスを利用することが考えられる目的地

①通勤・通学

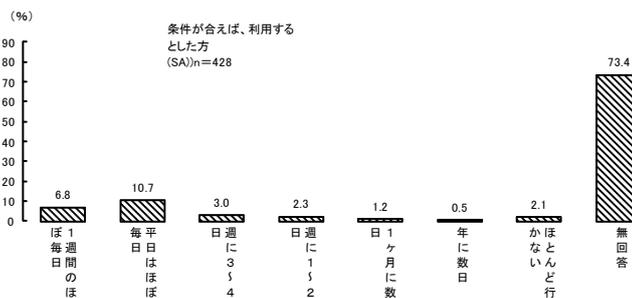
○目的地は、中学校区では「蒲郡」が最も高く 11.7%を示した。
 ○外出頻度は、「平日はほぼ毎日」が最も高く 10.7%を示している。年齢別では、高齢になるほど頻度が減る傾向にある。
 ○出発の時間帯は「7 時台」が最も高く 10.0%を示し、帰宅の時間帯は「18 時台」が最も高く 5.1%を示している。

図表 7-4-6-1 通勤・通学

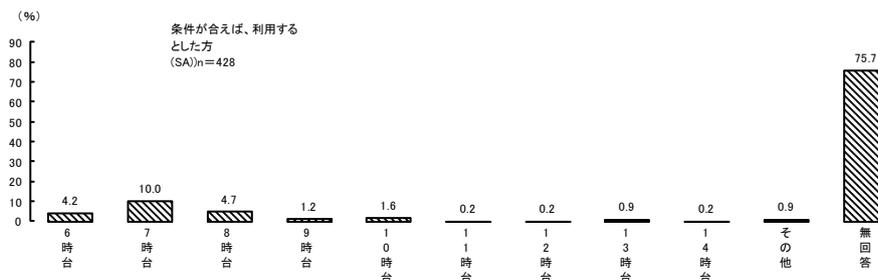
【目的地】



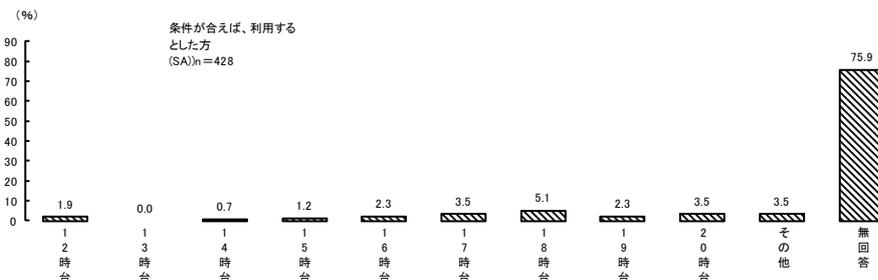
【外出頻度】



【出発】



【帰宅】

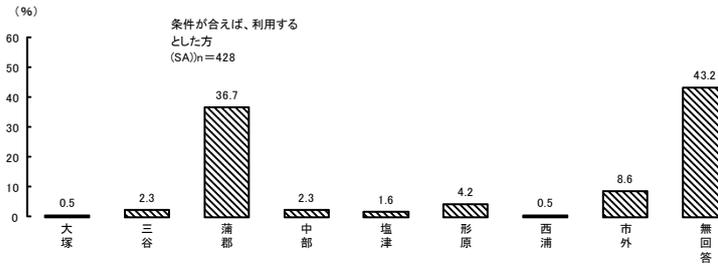


②買い物や娯楽

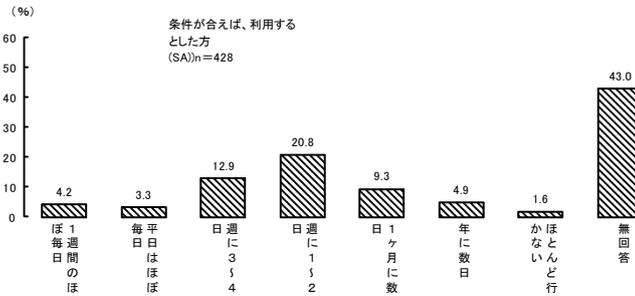
- 目的地は、中学校区では「蒲郡」が最も高く 36.7%を示した。
- 外出頻度は、「週に1~2日」が最も高く 20.8%を示している。
- 出発の時間帯は「10時台」が最も高く 22.0%を示し、帰宅の時間帯は「12時台」が最も高く 11.0%を示している。

図表 7-4-6-2 買い物や娯楽

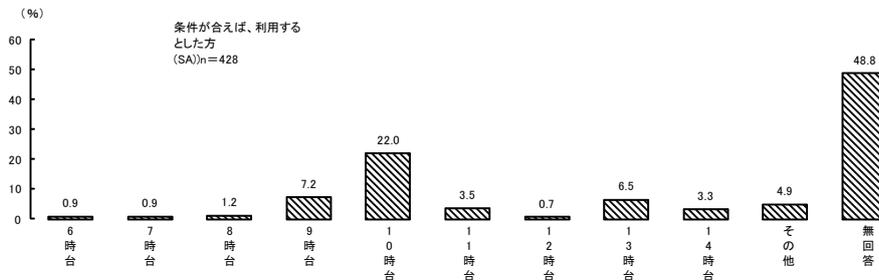
【目的地】



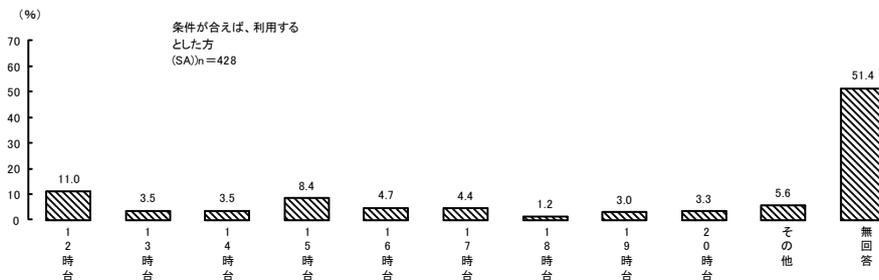
【外出頻度】



【出発】



【帰宅】

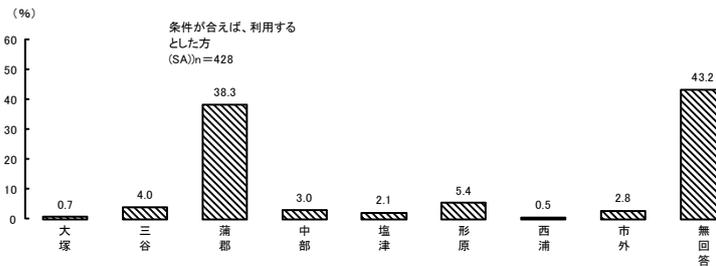


③病院

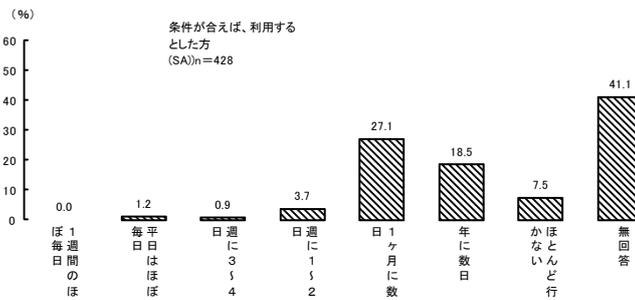
- 目的地は、中学校区では「蒲郡」が最も高く 38.3%を示した。
- 外出頻度は、「1ヶ月に数日」が最も高く 27.1%を示している。
- 出発の時間帯は「9時台」が最も高く 19.4%を示し、帰宅の時間帯は「12時台」が最も高く 23.1%を示している。

図表 7-4-6-3 病院

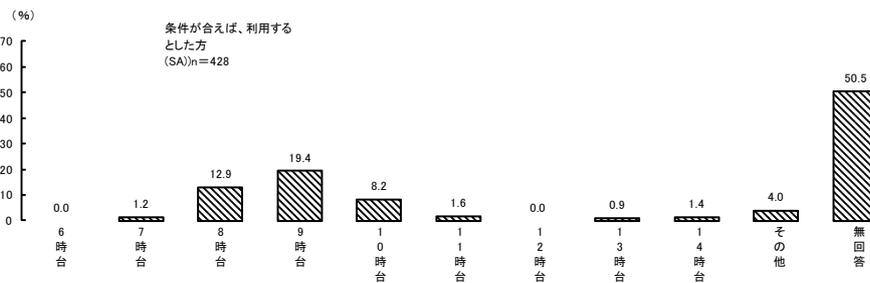
【目的地】



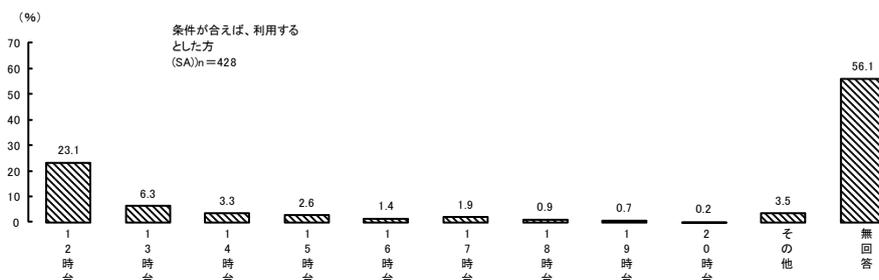
【外出頻度】



【出発】



【帰宅】

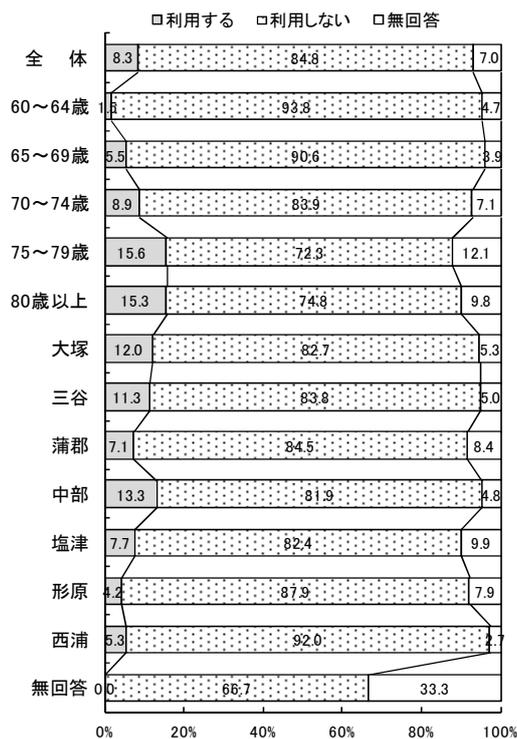


問 8. 60歳以上の「寿楽荘」の利用状況について

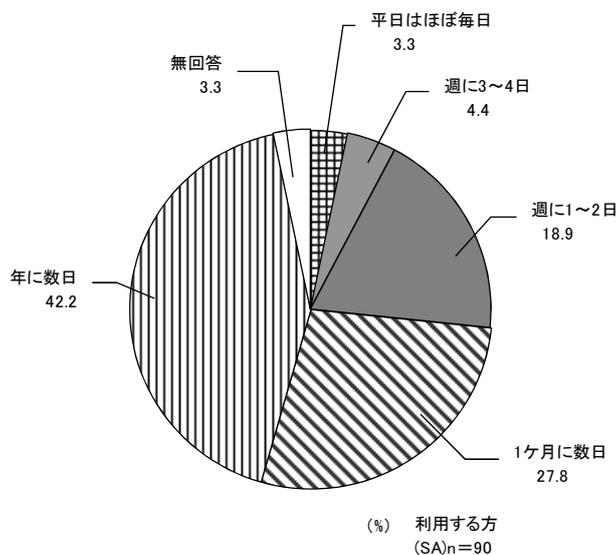
問 8-1. 寿楽荘の利用について

- 「利用しない」が最も高く 84.8%を示し、「利用する」は 8.3%に留まる。
- 年齢別に見ると、75～79歳で 15.6%、80歳代以上で 15.3%を示している。
- 利用する頻度は、「年に数回」が最も高く 42.2%、次いで「1ヶ月に数日」27.8%、「週に1～2日」18.9%と続く。

図表 8-1-1 寿楽荘の利用について（年齢別・居住地別）



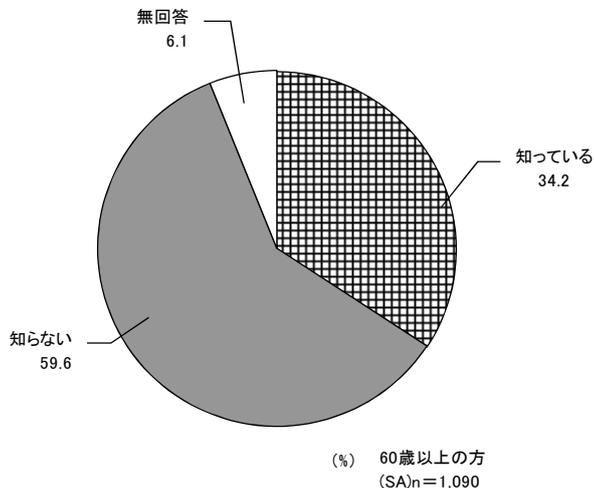
図表 8-1-2 寿楽荘の利用について（利用頻度）



問 8-2. 毎週水曜日の無料送迎バスについて

○「知らない」が最も高く 59.6%を示し、「知っている」は 34.2%を示している。
 ○年齢別に見ると、75～79 歳は「知っている」と「知らない」が同数である。高齢ほど「知っている」の割合が高まる傾向にある。

図表 8-2-1 毎週水曜日の無料送迎バスについて



図表 8-2-2 毎週水曜日の無料送迎バスについて (年齢別)

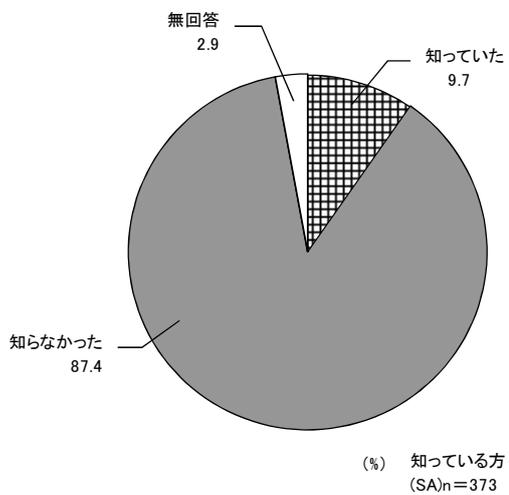
		知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答	件 数
全 体		34.2	59.6	6.1	1,090
年 齢 別	60～64歳	23.6	72.0	4.4	275
	65～69歳	31.0	66.3	2.7	255
	70～74歳	38.8	54.9	6.3	224
	75～79歳	44.5	44.5	11.0	173
	80歳以上	39.9	50.9	9.2	163

60歳以上の方 (SA) 単位=%

問 8 - 3 . 実験的に市民病院へ送迎バスを運行したことについて

○「知らなかった」が最も高く 87.4%を示し、「知っていた」は 9.7%に留まる。

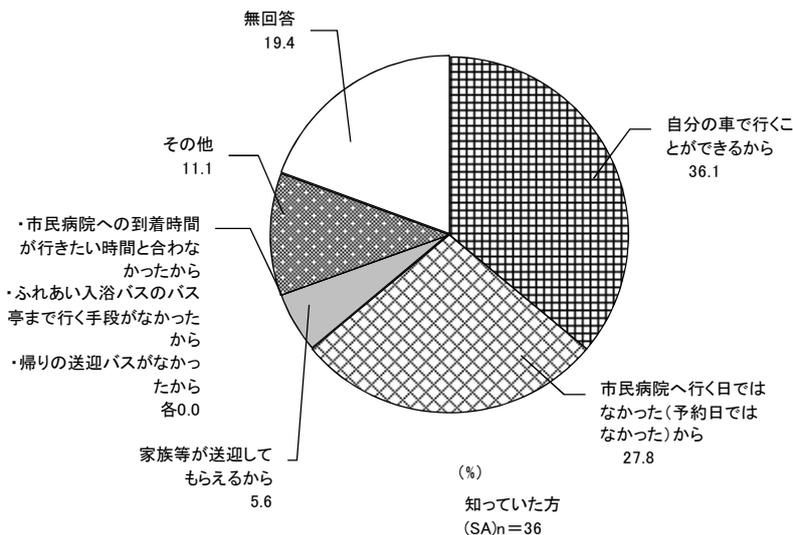
図表 8 - 3 実験的に市民病院へ送迎バスを運行したことについて



問 8-4. このとき、送迎バスを利用しなかった理由

○「自分の車で行くことができるから」が最も高く 36.1%を示し、次いで「市民病院へ行く日ではなかった（予約日ではなかった）から」27.8%と続く。
 ○年齢別では、60歳代までは、「自分の車で行くことができるから」の割合が高く、高齢になるほど「市民病院へ行く日ではなかった（予約日ではなかった）から」の割合が高い傾向にある。

図表 8-4-1 送迎バスを利用しない理由



図表 8-4-2 送迎バスを利用しない理由（年齢別）

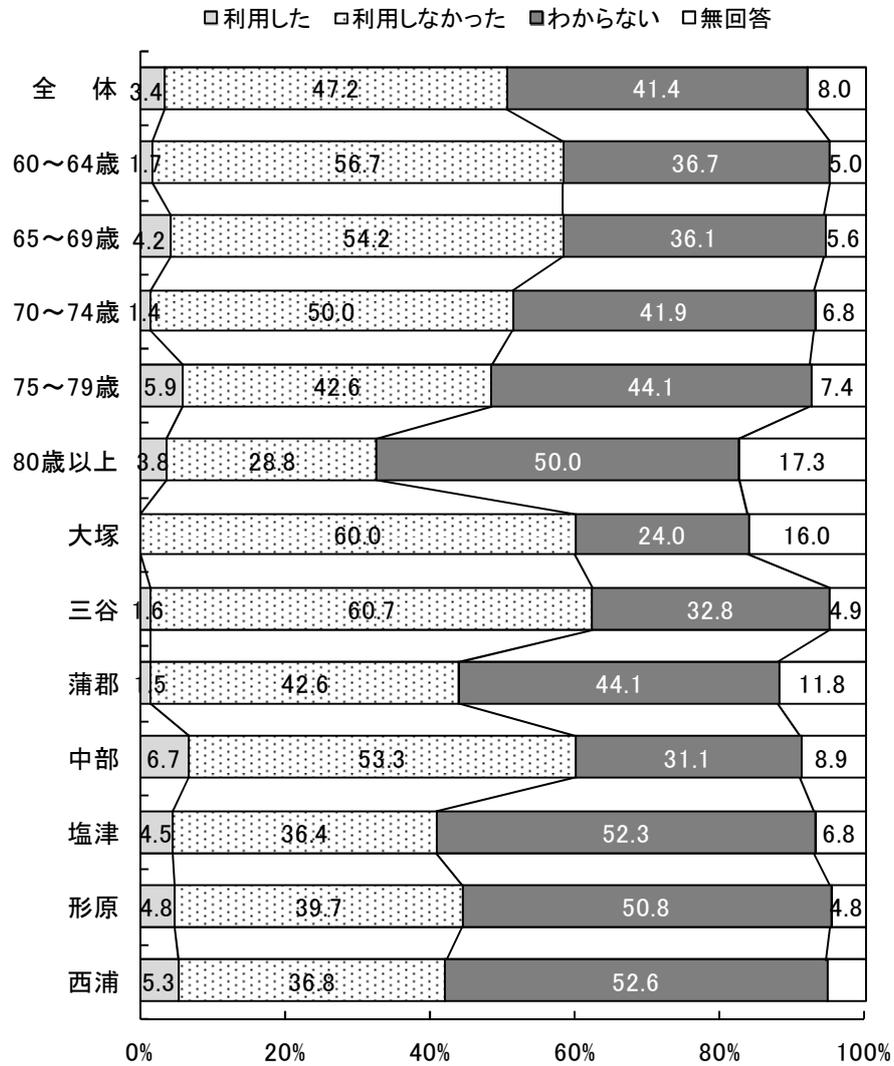
年齢別	自分の車で行くことができるから	市民病院へ行く日ではなかった(予約日ではなかった)から	家族等が送迎してもらえるから	帰りの送迎バスがなかったから	ふれあい入浴バスのバス亭まで行く手段がなかったから	市民病院への到着時間が行きたい時間と合わなかったから	その他	無回答	件数
全 体	36.1	27.8	5.6	0.0	0.0	0.0	11.1	19.4	36
60～64歳	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5
65～69歳	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	6
70～74歳	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	40.0	10.0	10
75～79歳	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	6
80歳以上	11.1	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	9

60歳以上の方 (SA) 単位 = %

問 8 - 5. 送迎バスが市民病院に立ち寄ることを知っていたら利用したか

○「利用しなかった」が最も高く 47.2%を示し、「利用した」は 3.3%に留まる。

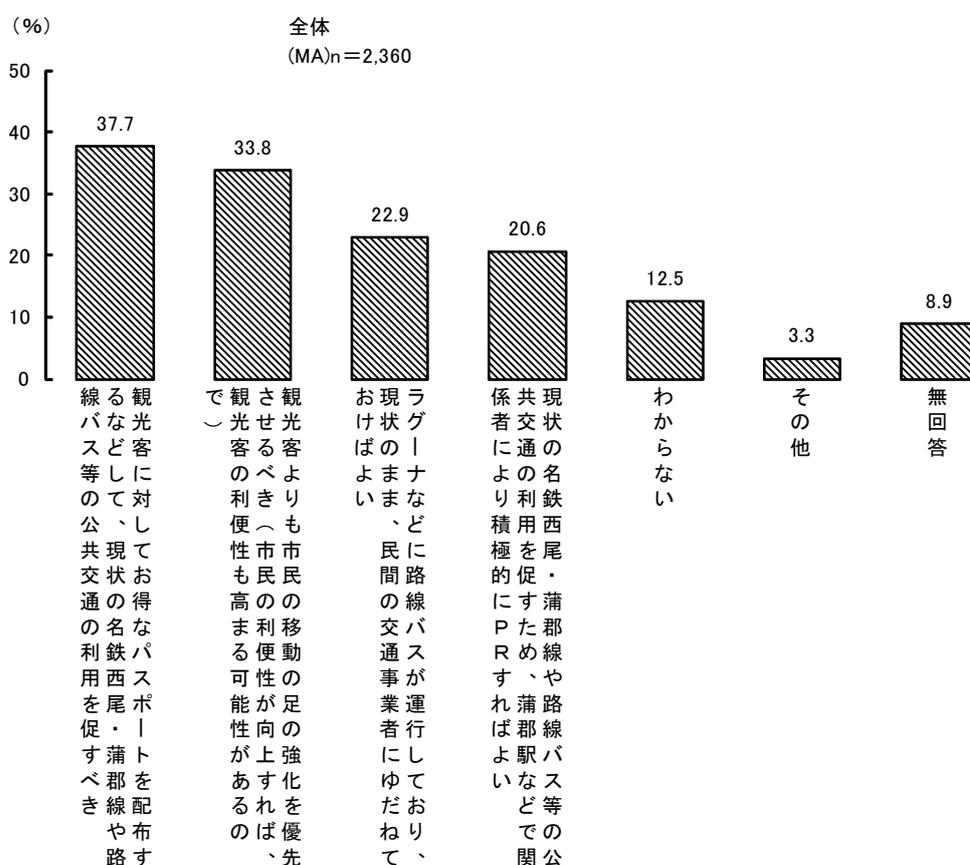
図表 8 - 5 利用しない理由（年齢別・居住地別）



問9. 蒲郡市の「観光振興」における公共交通の利用可能性について

- 「観光客に対してお得なパスポートを配布するなどして、現状の名鉄西尾・蒲郡線や路線バス等の公共交通の利用を促すべき」が最も高く 37.7%を示し、次いで「観光客よりも市民の移動の足の強化を優先させるべき（市民の利便性が向上すれば、観光客の利便性も高まる可能性があるのでは）」33.8%、「ラグーナなどに路線バスが運行しており、現状のまま、民間の交通事業者にゆだねておけばよい」22.9%と続く。
- 年齢別に見ると、高齢になるほど、「観光客よりも市民の移動の足の強化を優先させるべき（市民の利便性が向上すれば、観光客の利便性も高まる可能性があるのでは）」の割合が高くなることわかる。

図表9-1 観光客向けの公共交通の充実について



図表 9-2 観光客向けの公共交通の充実について（年齢別・居住地別）

		通て、観 の光 利用客 を状に を対 促すし す名 べき鉄 き西 尾・ 蒲 郡 線 や 路 線 バ ス 等 の 公 共 交	高き観 ま（光 る市客 可民の 能利 性も が便 有性 の市 の民 の移 の動 の足 の強 ば、化 観を 光優 客先 の利さ 便せ 性る もべ	まラ 、グ 、民イ 間のナ の交など 通に 事路 業業 者線 にバ ゆス だが ね運 て行 おし けお ばけ ばよ い、 現 状の ま	に利 用現 を状 促の す名 ば鉄 よ西 い尾 、 蒲 郡 線 や 路 線 バ ス 等 の 公 共 交 通 的 の	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答	件 数
全 体		37.7	33.8	22.9	20.6	12.5	3.3	8.9	2,360
年 齢 別	30歳未満	43.3	20.2	26.6	22.1	7.6	0.8	8.7	263
	30歳代	44.7	35.3	15.3	12.5	12.2	6.3	2.7	255
	40歳代	44.9	35.1	24.1	18.6	8.2	4.7	5.2	365
	50歳代	41.2	32.5	20.3	18.7	10.8	3.5	8.1	369
	60歳代	36.6	37.7	25.3	22.6	14.5	3.4	4.9	530
	70歳代	28.0	38.0	24.7	25.4	14.1	1.8	16.1	397
	80歳代以上	22.1	31.3	19.0	20.2	23.3	3.1	22.1	163
	無回答	22.2	27.8	27.8	27.8	11.1	5.6	22.2	18
中 学 校 区 別	大塚	34.6	30.8	25.8	10.1	15.7	3.8	8.8	159
	三谷	33.7	32.3	20.6	19.7	13.4	3.7	8.9	350
	蒲郡	43.2	32.6	22.8	19.6	11.7	3.5	7.1	521
	中部	34.8	33.4	24.0	21.2	13.6	5.6	7.8	359
	塩津	34.9	29.2	22.5	19.5	14.8	2.3	10.7	298
	形原	40.0	37.8	23.6	24.6	10.3	2.6	10.1	505
	西浦	37.5	41.4	21.1	25.0	9.2	1.3	8.6	152
	無回答	18.8	31.3	25.0	18.8	12.5	0.0	18.8	16

(MA) 単位 = %

参考資料：アンケート調査票

公共交通に関するアンケート 回答用紙

問1. はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。(1つに○)

性別は？	1: 男性 2: 女性
年齢は？	1: 20歳未満 2: 20歳代 3: 30歳代 4: 40歳代 5: 50歳代 6: 60～64歳 7: 65～69歳 8: 70～74歳 9: 75～79歳 10: 80歳以上
お住まいは？ 町単位です。	1: 相楽町 2: 大塚町 3: 海陽町 4: 三谷町 5: 三谷北通 6: 平田町 7: 豊岡町 8: 五井町 9: 水竹町 10: 清田町 11: 坂本町 12: 神ノ郷町 13: 府相町 14: 新井形町 15: 蒲郡町 16: 堀込町 17: 新井町 18: 八百富町 19: 神明町 20: 本町 21: 上本町 22: 中央本町 23: 元町 24: 宝町 25: 御幸町 26: 宮成町 27: 緑町 28: 旭町 29: 丸山町 30: 竹島町 31: 松原町 32: 港町 33: 栄町 34: 柏原町 35: 竹谷町 36: 西迫町 37: 拾石町 38: 鹿島町 39: 浜町 40: 一色町 41: 金平町 42: 形原町 43: 形原町北浜 44: 形原町春日浦 45: 西浦町 46: その他 (_____)
職業は？	1: 自営業 2: 会社員 3: 公務員 4: パート・アルバイト 5: 主夫・主婦 6: 学生・生徒 7: 無職 8: その他 (_____)
自動車免許はお持ちですか？	1: 持っている 2: 持っていない
自家用車はお持ちですか？	1: 自由に使える車がある 2: 家族で共有している 3: 持っていない
外出(通勤・通学含む)については？	1: 外出には困難を感じない 2: 杖などを使用して外出 3: 介助を必要とする 4: 外出は困難な状況である

問2. 外出(通勤・通学含む)の頻度や目的についてお伺いします。

問2-1. あなたは、どの程度の頻度で「外出」しますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|------------|-----------|
| 1: 1週間のほぼ毎日 | 2: 平日はほぼ毎日 | 3: 週に3～4日 |
| 4: 週に1～2日 | 5: 1ヶ月に数日 | 6: 年に数日 |
| 7: その他 | | |

問2-2.「通勤・通学」「買い物や娯楽」「通院」の時の、それぞれの最も行く目的地について、頻度、交通手段、名前・場所、外出の時間帯を教えてください。
 (「通勤」には、自営・農業等を含みます)

		外出する頻度は？ (1つに○をつけてください)		その時の「交通手段」は？ (該当するすべての番号に○をつけてください)	
「通勤・通学」 の場合		1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (次の問へ)		1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス 7: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 8: 鉄道(JRなど) 9: その他()	
「買い物や 娯楽」 の場合		1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (次の問へ)		1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス 7: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 8: 鉄道(JRなど) 9: その他()	
「病院や 福祉施設」を 利用する場合		1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3～4日 4: 週に1～2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (次の問へ)		1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス 7: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 8: 鉄道(JRなど) 9: その他()	

「目的地」はどこですか？ 施設の名前・場所を教えてください		➡	外出の「時間帯」は？	
施設の名前	場所(中学校区)		出発の時間帯	帰宅の時間帯
例：〇〇会社、〇〇高校、等 ()	1: 大塚 2: 三谷 3: 蒲郡 4: 中部 5: 塩津 6: 形原 7: 西浦 8: 市外 ()	➡	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 () 時	1: 12時台 2: 13時台 3: 14時台 4: 15時台 5: 16時台 6: 17時台 7: 18時台 8: 19時台 9: 20時台 10: その他 () 時
()	()		()	()
例：商業施設(店舗名)、 図書館等 ()	1: 大塚 2: 三谷 3: 蒲郡 4: 中部 5: 塩津 6: 形原 7: 西浦 8: 市外 ()	➡	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 () 時	1: 11時台 2: 12時台 3: 13時台 4: 14時台 5: 15時台 6: 16時台 7: 17時台 8: 18時台 9: 19時台 10: その他 () 時
()	()		()	()
例：蒲郡市民病院、 老人福祉センター等 ()	1: 大塚 2: 三谷 3: 蒲郡 4: 中部 5: 塩津 6: 形原 7: 西浦 8: 市外 ()	➡	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 () 時	1: 11時台 2: 12時台 3: 13時台 4: 14時台 5: 15時台 6: 16時台 7: 17時台 8: 18時台 9: 19時台 10: その他 () 時
()	()		()	()

※「施設の名前」について、具体名を記入することに支障がある場合は、「〇〇にある会社」、「〇〇にある病院」等、大まかな場所と目的をお答えください。

問3. 公共交通に対する評価についてお伺いします。

問3-1. 日常の公共交通での移動に不便を感じていますか？ (1つに○)

1: 感じている 2: やや感じている 3: あまり感じていない 4: 感じていない

→ 上記問3-1で、1・2を選択した、不便に感じている人にお伺いします。
不便を感じる理由は何ですか？ (3つまでに○)

- 1: 自宅から鉄道やバス停留所までが遠い
- 2: 利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない
- 3: 通常のタクシーが利用できるが、料金が安い
- 4: 家族等に送迎してもらう必要があり、家族等に遠慮がある
- 5: 介助や杖を必要とする・外出そのものが困難な状況である
- 6: 車の方が公共交通と比べて便利
- 7: その他 ()

問3-2. 公共交通(鉄道・バス・タクシー等)が「ない」あるいは「利用しづらい」ために、
外出を控えたことがありますか？ (1つに○)

1: よくある 2: たまにある 3: ない

問4. バスの利用実態とその満足度についてお伺いします。

問4-1. 市内のバスの利用状況についてお伺いします。

(1)あなたはバスをどの程度利用されますか？ (1つに○)

1: 週に3日以上 2: 週に1~2日 3: 1ヶ月に数日 4: 年に数日
5: ほとんど乗らない (問5へ)

(2)主なバスの利用目的をお答えください。 (2つまで○)

1: 通勤 2: 通学 3: 買い物 4: 塾・習い事 5: 趣味・娯楽
6: 通院 7: 福祉施設の利用 8: その他公共施設の利用
9: その他 ()

問4-2. 現状のバスのサービス水準(運行本数、ルート、車両等)について、
 満足していますか？ (1つに○)
 また、その満足・不満の理由をお答えください。

1: 満足 2: おおむね満足 3: やや不満 4: 不満 5: バスを必要としない (わからない)	
-------------------------------------------------------------------	--

満足な理由は？ (3つまで○)

不満な理由は？ (3つまで○)

1: 目的地に直接行ける 2: 目的地まで早く行ける 3: 自宅から停留所までが近い 4: 乗りたい時間に運行している 5: 運賃が安い 6: 座れる 7: 時間通りに来て予定が組みやすい 8: 利用方法が簡単 9: バス以外に交通手段がない 10: その他()	1: 目的地に直接行けない 2: 目的地まで早く行けない(時間がかかる) 3: 自宅から停留所までが遠い 4: 乗りたい時間に運行していない 5: 運賃が高い 6: 座れない 7: 時間が読めない。予定が組みにくい 8: 利用方法を知らない・難しい 9: 車などのバス以外の交通手段がある 10: その他()
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

問5. 「名鉄西尾・蒲郡線」の利用実態とその満足度についてお伺いします。

問5-1. 名鉄西尾・蒲郡線の利用状況についてお伺いします。

(1)あなたは名鉄・西尾蒲郡線をどの程度利用されますか？ (1つに○)

1: 週に3日以上	2: 週に1~2日	3: 1ヶ月に数日
4: ほとんど乗らない (次頁の問5-2へ)		

(2)あなたが「名鉄西尾・蒲郡線を利用する理由」をお聞かせください。

(問5-1で、1~4を選択した人) (あてはまるものすべてに○)

- 1: 目的地に行くのに便利
- 2: 自宅から駅までが近い
- 3: 乗りたい時間に運行している
- 4: 運賃が安い
- 5: 名鉄が最も速い交通手段である
- 6: 名鉄以外に交通手段がない
- 7: 車を持っていない(運転できない)
- 8: その他(_____)

(3)名鉄西尾・蒲郡線の主な利用目的をお答えください。(2つまで○)

- 1: 通勤
- 2: 通学
- 3: 買い物
- 4: 塾・習い事
- 5: 趣味・娯楽
- 6: 通院
- 7: 福祉施設の利用
- 8: その他公共施設の利用
- 9: その他(_____)

問5-2. 名鉄西尾・蒲郡線を利用しない人にお伺いします。

(1)あなたが「名鉄西尾・蒲郡線を利用しない理由」をお聞かせください。

(あてはまるものすべてに○)

- 1: 行きたい場所に名鉄が通っていない
- 2: 行きたい時間に名鉄が運行していない
- 3: 自分で車を運転できるから
- 4: 家族の人が車で送迎してくれるから
- 5: 駅まで遠い
- 6: 電車の乗り降りや外出するのが負担
- 7: 運行本数が少ない
- 8: 運賃が高い
- 9: 目的地まで時間がかかる
- 10: 目的地まで遠回りする
- 11: 始発の時間が遅い
- 12: 最終の時間が早い
- 13: 吉良吉田駅で乗り継ぎがあり不便
- 14: バスなどとの乗り継ぎが発生し不便
- 15: 時刻表がわからない
- 16: 鉄道の利用方法がわからない
- 17: その他(_____)

(2)あなたが名鉄西尾・蒲郡線を利用するためには、どのような改善を望みますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1: 自宅から最寄り駅までのバス等の公共交通を運行してほしい
- 2: 駅周辺に駐車場や駐輪場を整備してほしい・駅名は?(_____)
- 3: 電車の運行本数・運行時間を見直してほしい
- 4: マナカの導入など駅舎環境を整備してほしい
- 5: 平成27年度までの運行は決定しているが、以降の長期の運行継続を保証してほしい
- 6: 特に改善は求めない
- 7: その他(_____)

問5-3. 蒲州市では、各種団体や市民の皆さんと一緒に「名鉄西尾・蒲郡線」の利用促進を図っています。こうした活動について、あなたの考えに近いものをすべて選んでください。（あてはまるものすべてに○）

- 1: 生活に必要な路線であるので、積極的に利用するなどの協力を行いたい
- 2: 路線を存続させるために、今以上に利用促進を図るべき
- 3: 廃線の危機にあることを、もっと地域で共有するようにPRすべき
- 4: 廃線になったときの影響（地価の下落など）をもっと地域住民が知るべき
- 5: 路線が廃止にならないよう税金投入の維持拡大を継続すべき
- 6: 利用が拡大しないのなら、これ以上の税金投入をやめ、代替の交通手段に切り替えるべき
- 7: その他（_____）

問5-4. 名鉄西尾・蒲郡線は、後述のバス路線図で示すように、民間の路線バスが名鉄と並行してルートが設定されています。

現状、名鉄にも路線バスにも税金投入を行い、維持している状況です。

名鉄と路線バスの相互に利用者が乗り換えて、お互いの利用者増加に貢献している一方で、利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性もあります。こうした状況に対して、あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

（あてはまるものすべてに○）

- 1: 名鉄も路線バスも民間の交通事業者がそれぞれの考えで運行している事業であるため、事業者任せにすればよい
- 2: 名鉄と路線バスが相互に接続することで、お互いの利用者の増加に貢献しており、現状のままでよい
- 3: 利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、路線バスの運行内容の見直しを行い、名鉄に利用者が集中するように促すべき（路線バスへの税金投入額の削減も行う）
- 4: 利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、名鉄と路線バス両方の運行内容を見直し、路線バスに利用者が集中するように促すべき
- 5: 税金投入額を増加して、名鉄も路線バスも現在のサービス水準から向上させることで、それぞれの利用者の増加を促し、運賃収入の拡大を目指すべき
- 6: 名鉄に対する税金投入額を増加して、名鉄のサービス水準を向上させることで、それぞれの利用者の増加を促すべき
- 7: 路線バスに対する税金投入額を増加して、路線バスのサービス水準を向上させることで、それぞれの利用者の増加を促すべき
- 8: どんな対応をすべきかわからない
- 9: その他（_____）

問6-3. 蒲郡市内の「民間の路線バス」は、運賃収入だけでは運行できないため、税金を投入して維持しています。

これら「民間の路線バス」は、走行している路線により、利用者数や運賃収入、周辺の居住者数などに違いがあるため、路線ごとに投入する税金の額が異なっています。この違いに対して、あなたの考えに近いものすべてを選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

- 1: 収支率の悪い(税金投入額の高い)路線は、運行本数を減らしてコストを下げたり運賃を高くして、収支状況の改善を行うべき
- 2: 収支率の悪い(税金投入額の高い)路線は、予約制にして利用者がいない時は走らないようにするなど、コストを削減できる別の方法に変えるべき
- 3: 収支率の悪い(税金投入額の高い)路線は、周辺住民や周辺企業からの寄付などによる支援を仰ぐことで、収支の改善を図るべき
- 4: 一定の税金投入額を超えてしまう路線は、廃止すべき
- 5: 駅や市民病院を中心に蒲郡市全体のネットワークを考えて民間の交通事業者が構築したものであり、路線毎に評価などせず、現状のまま維持すべき
- 6: その他()

問6-4. 改めて、財政投入に対するあなたの意見をお伺いします。

鉄道や路線バスを維持するために年間約1億1,400万円の税金を投入しています。この投入額を、どう思いますか？ (1つに○)

- 1: 多すぎる 2: やや多すぎる 3: 妥当 4: やや少なすぎる 5: 少なすぎる

問6-5. 「蒲郡市内の路線バス」を維持するために年間約3,500万円の税金を投入しています。この税投入額をどう思いますか？ (1つに○)

- 1: 多すぎる 2: やや多すぎる 3: 妥当 4: やや少なすぎる 5: 少なすぎる

問6-6. 蒲郡市内の鉄道やバスの維持のため、今後の税金投入とこれら公共交通サービスの水準(運行方法、運賃設定や運行本数等)のあり方について、どのように考えるべきですか？ (1つに○)

- 1: 現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である
- 2: 今以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させてほしい
- 3: 税金ではなく、利用者の運賃を値上げして、サービス水準を向上させてほしい
- 4: 利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい(サービス水準は現状維持)
- 5: 現在行われている民間のサービス水準を下げて、税金投入を抑制してほしい(使い勝手が悪くなり利用者が減ることで路線の維持が難しくなる悪循環が生じる可能性がある)
- 6: 税金投入を抑制するために、現在行われている民間のサービス内容を絞り込み、代わりに住民がボランティアで運転手になり困っている人を送迎するなど、別の方法で対応する
- 7: わからない。
- 8: その他()

問6-7. 別紙、挨拶文「ご協力のお願い」の「蒲郡市のバス路線図」をご確認ください。
蒲郡市には、鉄道駅やバス停留所から遠く、鉄道や民間の路線バスの利用が難しい、山間部等の「交通空白地域」を抱えています。

あなたは、こうした「交通空白地域」に対して、どのような対策を講じる必要があると思いますか？ あなたの考えに近いものすべてを選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

- 1: 民間のバス事業者が対応しないところだから、交通空白地でもやむを得ない
- 2: 交通空白地域であるので、財政を投入して新たに「市」がバスや予約型タクシーなどを走らせるべき
- 3: 70歳以上に限定しているタクシーチケットを、交通空白地域の住民に対して、それ以外の地域に比べて手厚く配布すればよい
- 4: 70歳以上に限定しているタクシーチケットを、交通空白地域の住民に対して、年齢の制限を無くして配布すればよい
- 5: 地域の助け合いの精神で、住民がボランティアで運転手になり、地域の困っている人を送迎する仕組みを導入すればよい
- 6: 居住場所は個人の問題であり、家族・親類が助ければよく、特に対応する必要はない
- 7: 民間バス事業者と協議・連携し、(一定の補助金を出しても)交通空白地域をなくすよう路線をつくる
- 8: その他 ()

問6-8. 公共交通の維持のためには、たくさんの方が利用する必要があります。

あなた自身は、自家用車中心の生活から、公共交通中心の生活に転換できると思いますか？ (1つに○)

- 1: 既に公共交通が中心
- 2: たまにならできると思う
- 3: 将来、年をとったらできると思う
※何歳になったら公共交通に転換しようと思いますか？
ア) 60~64歳 イ) 65~69歳 ウ) 70~74歳 エ) 75~79歳
オ) 80~84歳 カ) 85~89歳 キ) その他 (歳)
- 4: 現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う

問7. バスを「まったく利用しない人だけ」にお伺いします。

※バスを利用する人（当てはまらない人）は、次の問8にお進みください。

問7-1. あなたのお住まいの近くにバス停留所がありますか。（1つに○）

- | | | |
|-------------------|-------|------------------|
| 1: ある | | 問7-2を回答ください |
| 2: 自宅の近くにバス停留所はない | } |問7-3を回答ください |
| 3: 知らない・わからない | | |

問7-2. 上記問7-1で、1を選択した人にお伺いします。

あなたが「バスを利用しない理由」をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1: 自分で車を運転できるから | 2: 家族の人が車で送迎してくれるから |
| 3: バス停留所まで遠い | 4: バスの乗り降りや外出するのが負担 |
| 5: 行きたい場所にバスが通っていない | 6: 行きたい時間にバスが走っていない |
| 7: 運行本数が少ない | 8: 運賃が高い |
| 9: 目的地まで時間がかかる | 10: 目的地まで遠回りする |
| 11: 時刻表通りに来ない | 12: 目的地への到着が遅れる |
| 13: 始発バスの時間が遅い | 14: 最終バスの時間が早い |
| 15: 帰りに利用できるバスがない | 16: 乗り継ぎが不便 |
| 17: 時刻表やルートがよくわからない | 18: バスの乗り心地が良くない |
| 19: その他（_____） | |

問7-3. 上記問7-1で、2・3を選択した、近くにバス停留所はない、知らない・わからない人にお伺いします。

自宅近くに、以下の条件のバス(路線)が運行されれば、あなたは利用しますか？（1つに○）

- | | | |
|----------------------|-------------------|------------------|
| 1: 条件が合えば、必ず利用する | } |問7-4を回答ください |
| 2: 条件が合えば、たぶん利用する | | |
| 3: 利用しない | | |
| ※利用しない理由は？.....(問8へ) | | |
| ア) 自家用車での移動を優先する | イ) 家族の人が車で送迎してくれる | |
| ウ) 徒歩や自転車がある | ロ) その他（_____） | |

問7-4. 条件があれば利用すると回答された方にお伺いします。

(1)「**運行本数**」に関する条件はありますか？ (1つに○)

- ア) 1時間毎に1本程度運行するなら利用
- イ) 30分毎に1本程度運行するなら利用
- ウ) 15分毎に1本程度運行するなら利用
- エ) 運行本数は関係ない(判断条件にはならない)
- オ) その他()

(2)「**運賃**」に関する条件はありますか？ (1つに○)

- ア) 市内の今のバスの運賃と同じ程度であれば利用
- イ) 市内の今のバスよりも安い運賃であれば利用
- ウ) 距離で変動しない「定額運賃」であれば利用
- エ) 運賃は関係ない(判断条件にはならない)
- オ) その他()

(3)「**目的地までの所要時間**」に関する条件はありますか？ (1つに○)

- ア) 乗用車と比べて少し遅れる程度の時間で目的地に着けるなら利用
- イ) ルートの設定から遠回りになるのはしかたがないので、その分の時間なら利用
- ウ) 所要時間は関係ない(判断条件にはならない)
- エ) その他()

(4)「**車両の形状**」に関する条件はありますか？ (1つに○)

- ア) 一般的な「バス」車両であれば利用(車いすやバリアフリーは対応)
- イ) ジャンボタクシーサイズの小型車両でも利用可能
- ウ) 一般的な「タクシー」車両を活用したセダンタイプの後部座席でも利用可能
- エ) 車両の形状は関係ない(判断条件にはならない)
- オ) その他()

(5)ダイヤ(時刻表)に設定された時間に必ず運行する方法を「**定時運行方式**」と呼びます。「**運行方式**」に関して条件はありますか？ (1つに○)

- ア) 自分が利用したい時間帯に必ず運行している定時運行方式なら利用
- イ) あらかじめ「予約」する方法でもかまわない(不定期運行方式)
(利用者がいなければ、運行しないで済むためコスト削減が可能な方式)
- ウ) 運行方式は関係ない(判断条件にはならない)
- エ) その他()

(6)バスを利用することが考えられる目的は何ですか？

①通勤・通学、②買い物、③病院(通院)・娯楽、④その他から選んでください。

また、その目的の目的地(場所)、利用頻度、出発時・帰宅時の時間帯について回答ください。

	目的地の場所は？ (1つに○)	外出する頻度は？ (1つに○)	外出の「時間帯」は？ (それぞれ1つに○)	
			出発の時間帯	帰宅の時間帯
① 通勤 通学	1: 大塚 2: 三谷 3: 蒲郡 4: 中部 5: 塩津 6: 形原 7: 西浦 8: 市外 ()	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3~4日 4: 週に1~2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 ()時	1: 12時台 2: 13時台 3: 14時台 4: 15時台 5: 16時台 6: 17時台 7: 18時台 8: 19時台 9: 20時台 10: その他 ()時
② 買い物 娯楽	1: 大塚 2: 三谷 3: 蒲郡 4: 中部 5: 塩津 6: 形原 7: 西浦 8: 市外 ()	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3~4日 4: 週に1~2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 ()時	1: 12時台 2: 13時台 3: 14時台 4: 15時台 5: 16時台 6: 17時台 7: 18時台 8: 19時台 9: 20時台 10: その他 ()時
③ 病院	1: 大塚 2: 三谷 3: 蒲郡 4: 中部 5: 塩津 6: 形原 7: 西浦 8: 市外 ()	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3~4日 4: 週に1~2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 ()時	1: 12時台 2: 13時台 3: 14時台 4: 15時台 5: 16時台 6: 17時台 7: 18時台 8: 19時台 9: 20時台 10: その他 ()時
④ その他	1: 大塚 2: 三谷 3: 蒲郡 4: 中部 5: 塩津 6: 形原 7: 西浦 8: 市外 ()	1: 1週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に3~4日 4: 週に1~2日 5: 1ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない	1: 6時台 2: 7時台 3: 8時台 4: 9時台 5: 10時台 6: 11時台 7: 12時台 8: 13時台 9: 14時台 10: その他 ()時	1: 12時台 2: 13時台 3: 14時台 4: 15時台 5: 16時台 6: 17時台 7: 18時台 8: 19時台 9: 20時台 10: その他 ()時

問8. 60歳以上の方に「寿楽荘」についてお伺いします。

問8-1. 老人福祉施設「寿楽荘」(大塚町)を利用しますか？ (1つに○)

- 1: 利用する
※利用する頻度は？
ア) 平日はほぼ毎日 イ) 週に3~4日 ウ) 週に1~2日
エ) 1ヶ月に数日 オ) 年に数日
- 2: 利用しない

問8-2. 毎週水曜日に無料の送迎バス(ふれあい入浴送迎バス)があるのをご存知ですか？ (1つに○)

- 1: 知っている
2: 知らない・・・(問9へ)

問8-3. 実験として平成25年3月27日(水)の1日だけ、形原・西浦方面と山間部方面のふれあい入浴送迎バスが「市民病院」に立ち寄ったことをご存知でしたか？ (1つに○)

- 1: 知っていた・・・(問8-4へ)
2: 知らなかった・・・(問8-5へ)

問8-4. このとき、市民病院への足として利用しなかったのはなぜですか？ (1つに○)

- 1: 市民病院へ行く日ではなかった(予約日ではなかった)から
2: 市民病院への到着時間が行きたい時間と合わなかったから
3: ふれあい入浴バスのバス亭まで行く手段がなかったから
4: 帰りの送迎バスがなかったから
5: 自分の車で行くことができるから
6: 家族等が送迎してもらえるから
7: その他()

問8-5. ふれあい入浴送迎バスが市民病院に立ち寄ることを知っていたら利用しましたか？ (1つに○)

- 1: 利用した
2: 利用しなかった
3: わからない

問9. 蒲郡市の「観光振興」における公共交通の利用についてお伺いします。

蒲郡市には、ラグーナや温泉など観光資源が豊富にあり、県内でも有数の観光地となっています。しかし、観光客の多くは自家用車で訪れるため、海水浴など観光シーズンなどは渋滞の要因ともなっています。また、高齢化社会を迎えるにあたり自家用車利用が減少し、公共交通(鉄道・バス)の利用が増加すると考えられます。

問9-1. あなたは、蒲郡市の観光振興のため、観光客向けに、「公共交通」の充実を図るべきだと思いますか？ あなたの考えに近いものすべてをお選びください。

(あてはまるすべてに○)

- 1: ラグーナなどに路線バスが運行しており、現状のまま、民間の交通事業者にゆだねておけばよい
- 2: 現状の名鉄西尾・蒲郡線や路線バス等の公共交通の利用を促すため、蒲郡駅などで関係者により積極的にPRすればよい
- 3: 観光客に対してお得なパスポートを配布するなどして、現状の名鉄西尾・蒲郡線や路線バス等の公共交通の利用を促すべき
- 4: 観光客よりも市民の移動の足の強化を優先させるべき(市民の利便性が向上すれば、観光客の利便性も高まる可能性がある)
- 5: わからない
- 6: その他(_____)

以上でアンケートは終了です。

公共交通(バス等)への、ご意見などがありましたらお書きください。

同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずに、平成25年9月25日(水)までに投函してください。